



高知大学
Kochi University

2013

大学案内



五感で学ぶ高知大学

人文学部

医学部

教育学部

農学部

理学部

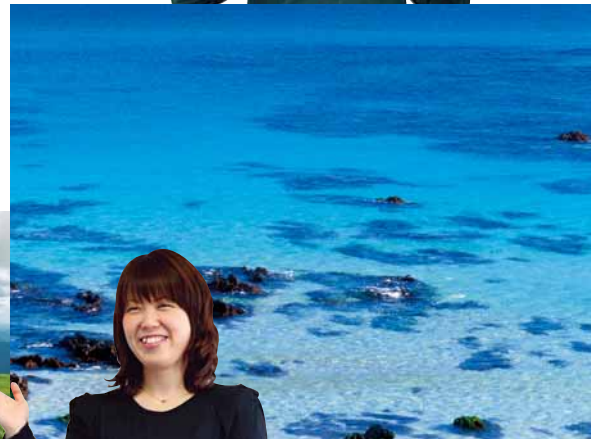
Faculty of Humanities and Economics

Faculty of Education

Faculty of Science

Medical School

Faculty of Agriculture



最高のフィールド、高知へようこそ!

興味を持ったら、とことんやる。現場があれば、どこへでも飛び出す。

授業だけで物足りなければ、自分たちで次のアクションを起こす。

そんな自由で主体的な学びが、高知大学の特徴です。

学ぶことは、生きること。

学生たちは、学内外での様々な出会いや経験をきっかけに

新しい自分を発見し、本物の学びの世界へと羽ばたいていきます。

さあ、次はあなたの番。

五感のすべてをアンテナにして、高知というこのすばらしいフィールドに

一步踏み出してみてください。



受験生の皆さんへ

高知大学 学長

脇 宏



高知大学を目指している受験生の皆さん、私たち教職員一同は、皆さんの入学を心から待っております。高知は南に太平洋を臨み、北に四国山地を背負う風光明媚で人情味豊かな土地柄です。人生で最も重要かつ実り多い青春時代に、維新の志士を多数輩出した高知で自律的に学ぶことは、皆さんを新たなステージへと導くことでしょう。今、この国が求めているリーダー像は、時代の先駆者として、社会が求める変革を絶好の好機Chanceと捉え、自己改革Changeを継続しながら挑戦Challengeし、その成果Createを世に問う実行力と協働力を兼ね備えた若者です。高知の風土は、そのようなリーダーを育成するのに最も適しており、高知大学の教育体制は、21世紀の智を創造する社会で活躍できる次代のリーダーの育成を見据えて常に進化し続けております。この高知大学で私たちと共に学び成長しましょう。



INDEX

学びの構造	05
共通教育	07
▶ 各学部の情報や特徴は?	
学部紹介	
人文学部	15
教育学部	21
理学部	27
医学部	33
農学部	39
土佐さきがけプログラム	45
教員紹介	47

▶ もっと学びたい時は?	
大学院	53
国際交流	55
▶ 学びの設備や環境は?	
教育研究施設	58

▶ 大学生活について詳しく知りたい!	
キャンパスライフ	
年間スケジュール	63
朝倉キャンパス(人文・教育・理学部)	65
岡豊キャンパス(医学部)	67
物部キャンパス(農学部)	69
サークル活動	71
学生の暮らし	75
入学金・授業料・奨学金制度	77

▶ 就職に関する情報	
就職活動支援	78
▶ 入試に関する情報	
入試データ	83
▶ ようこそ、高知大学へ	
理念・組織図	87
オープンキャンパス	88



学生も発掘調査「朝倉古墳」



学生が店舗支援「日曜日」

楽しいのスイッチが、学びのスイッチ

与えられるのではなく、自分で掴みとる。
限界を決めるのではなく、
可能性を広げていく。
それを可能にする最大の秘訣は、
大学4年間をめいっぱい楽しむこと。
あなたのスイッチ、もう入りましたか？



学生と教員の距離が近いのも高知大学の特徴



様々な機関と連携「臨地実習」



高知は多彩な自然環境に恵まれています



貴重な標本類も多数所有





決して海水浴を楽しんでいる訳ではありません。これも立派な実習です



学生も多数参加「よさこい祭り」



フィールドとラボが隣接しています！



地元資源を活かす「キャンドルナイト」



地域文化との触れ合い「そば打ち体験」



缶でお米を炊くなんて授業も?!



食は生命力の源。学食人気メニュー「カツオのたたき」

学びの構造

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

共通教育

■初年次教育

大学基礎論
課題探求実践セミナー
学問基礎論
大学英語入門
英会話
情報処理

■教養科目

人文分野
生命・医療分野
外国語分野
社会分野
自然分野

■共通専門科目

基礎科目
キャリア形成支援科目

学びのポイント

人間と世界についてしっかりと
した考え方をくり上げ、自律的
な能力の基盤を形成します。
講義形式から体験型まで多様
なテーマが用意されており、実
践の中で自分の幅を広げなが
ら、専門教育へのプロセスを踏
んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者
の考えを理解し、自らの考えを
他者に伝えることができる力
や、責任感と協調性を持って粘
り強く考え行動できる力を育み
ます。

専門教育

分野のキーワード

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 地域社会

15p

学科/課程/コース

- 人間文化学科
 - 人間基礎論コース
 - 地域変動論コース
 - 言語表象論コース
- 国際社会コミュニケーション学科
- 社会経済学科
 - 総合地域政策コース
 - 経済企業情報コース

人文学部



教育学部



理学部



医学部



農学部



土佐きかけプログラム



- 教育学と心理学、理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 障害のある子どもへの教育支援
- 美術工芸と音楽による芸術表現
- 基本的な実技とスポーツ諸科学
- 生活環境問題、多角的な学習

21p

- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- 科学の基礎法則
- 資源、エネルギー、レアメタル、化石
- 生物の多様性、環境、生命現象
- 防災、南海地震
- コンピュータ、情報理論

27p

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

33p

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

39p

- 化学を基礎とした環境技術開発
- 語学力と異文化理解で国際貢献
- スポーツ科学で地域に貢献する

45p

- 学校教育教員養成課程
 - 教育科学コース
 - 国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育・技術教育・家庭科教育の各コース
 - 特別支援教育コース
- 生涯教育課程
 - 芸術文化コース
 - スポーツ科学コース
 - 生活環境コース
- 理学科
 - 数学コース
 - 物理科学コース
 - 化学コース
 - 生物科学コース
 - 地球科学コース
- 応用理学科
 - 情報科学コース
 - 応用化学コース
 - 海洋生命・分子工学コース
 - 災害科学コース

医学科

看護学科

農学科

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

スポーツ人材育成コース

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文・社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
-
- 教育学・心理学理論に基づく教育実践力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 児童生徒の状況に応じた個別指導力
 - 芸術全般にわたっての知識・技術
 - スポーツの専門家としての教育・研究能力
 - 生活環境の創造に必要な知識・技術
-
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
-
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
-
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
-
- 環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術
 - 高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
 - スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

進路

進学 53p

大学院（総合人間自然科学研究科）

- 修士課程
- 人文社会科学
 - 教育学
 - 理学
 - 医科学
 - 看護学
 - 農学
- 博士課程
- 応用自然科学
 - 医学
 - 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年みの博士課程です。

就職 78p

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、デザイン・印刷・衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科: 病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学科: 看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通: 国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など

民間企業開発部門、公的研究機関

国際企業、国連、NGO

スポーツ振興に関わる指導者や審判員

目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

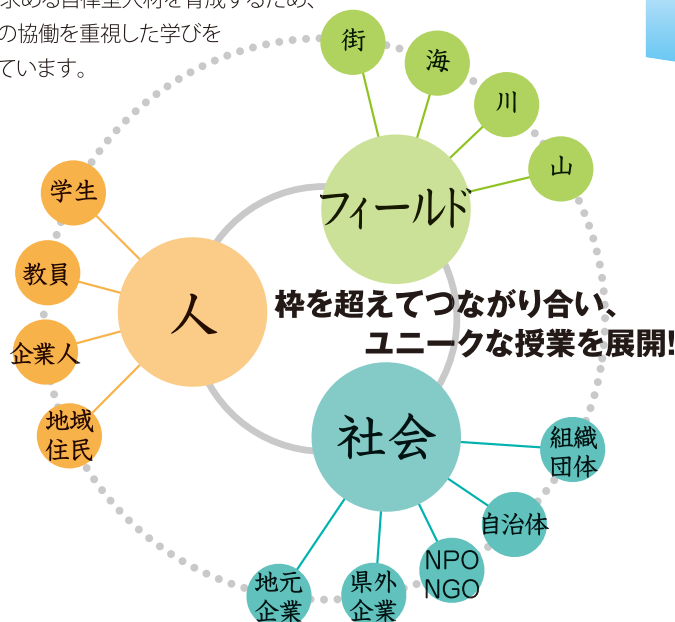
教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」「共通専門科目」の3つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

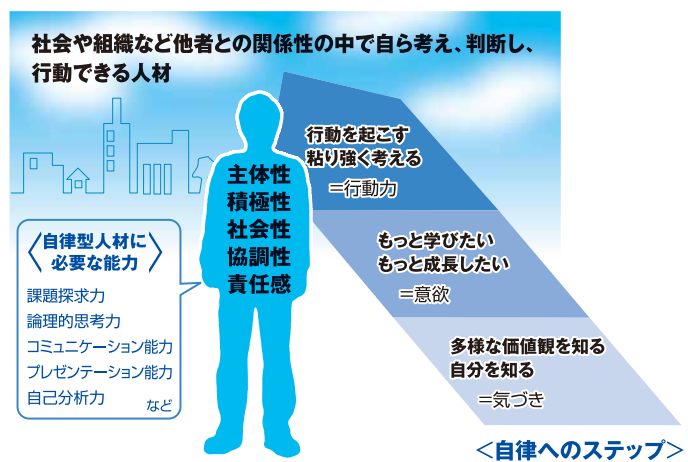
自律性を育む、独自のプログラム

キーワードは、“**枠を超える**”

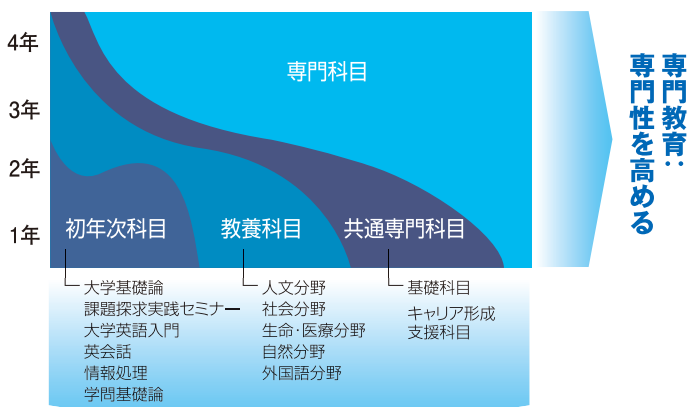
社会が求める自律型人材を育成するため、社会との協働を重視した学びを実践しています。



高知大学の考える自律型人材



4年間の履修の流れ



共通教育: 自律的な力を育む

- 人** 学生や教員は学部という枠を超えて、企業人や地域で生きる人々はその立場を超えて、互いに協働しながら授業や活動に参加します。
- フィールド** 形式にとらわれず、学びの“現場”には積極的に出ていきます。山、川、海、街...それぞれのフィールドの懐に入り込んで学びます。
- 社会** 社会は様々な組織やネットワークのつながり合い。そこで、企業やNPO、自治体などと協働し、社会に貢献しながら学んでいきます。



1 program

大学基礎論

学びの転換をはかる。

大学基礎論は、入学後すぐの1年生1学期に開講される授業です。その最大の目的は、“学ぶ姿勢を学ぶ”こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、“教わる”から“掴みとる”へと学びの姿勢を転換します。

与えられる学びから、掴みとる学びへ

授業例1. 理学部

人

フィールド

社会

授業では、教員や社会人講師の話を聞いて、感じたこと、知り得たことを少人数グループで討論をします。自分の意見を伝え、相手の考えを理解することを通して、学生自身を成長させます。



▶ この授業のねらいは

1. 何事にも“疑問”を持つこと
2. 自分と違う考え方に触れること
3. 自ら学ぶ姿勢に気づくこと

大坪 義夫 理学部教授

近頃の学生は素直であるが、内向的で受動的である傾向が強いといわれています。物事に疑問を抱き、時には批判的な見方をすることは、主体的な学びの姿勢において重要です。この授業では、論理的思考の中で協働実践力とコミュニケーション能力を身につけ、主体的に考え行動できる能力を養います。

授業例2. 教育学部

人

フィールド

社会

自らの学びをデザインする力を養うこと。これが本授業の目的です。この力が大学における学びの基礎となります。と同時に、自身の学びづくりを体験すること、そして他の仲間たちとの協同作業によって成り立つという原理を経験することが、将来、児童・生徒の学びづくりを支援する学校教員としての第一歩になると考えています。



▶ この授業のねらいは

1. 学びをデザインする体験をする
2. 協同的な学びの創造を経験する
3. 学びづくりを支援することについて考える

柳川 平太郎 教育学部准教授

課程別にそれぞれの専門に応じた授業が用意されています。教員養成課程では、10人ずつの班別に担当教員とともに文献検索・発表・討論を重ねながら、30人程度の中規模編成で3回にわたるプレゼンテーションを行います。生涯教育課程では、課程全体の講義・図書館学習・地域教育委員会提携講座の後、専門のコース別に調査・討論・発表活動を試み、主体的学習の基礎を築くことを目指します。

1 program

大学基礎論

授業例3. 医学部

人
フィールド
社会

最大の目的は、医療人になるとはどういうことかを考え続けていく基盤づくり。外来患者さん付き添い実習での体験や現場の医療スタッフによる講演をもとにグループ討論と全体討論を繰り返します。将来のチーム医療を見据え、授業は医学科・看護学科合同で行います。



▶ この授業のねらいは

1. 何のために学ぶのか、今後どう学んでいくかを考える
2. 自分とは異なる視点に気づく
3. コミュニケーション・スキルを養う

三木 洋一郎 医学部准教授

医学部の「大学基礎論」は、附属病院での外来患者さん付き添い実習※から始まるのが特徴です。自らの体験の共有を端緒として、グループディスカッションと全体討論を繰り返しながら、医学部で学ぶ意義を一人ひとりが考えていきます。この合同授業を通して、様々な立場や考え方の人々と協働する大切さに気づいてもらえることを期待しています。

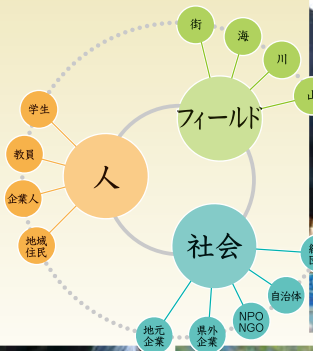
※医学科では、「大学基礎論」と並行する授業「EME初期臨床医学体験」の一環として付き添い実習を行います。「EME」は、医療人となる心構えや態度を身につけることを目的に、入学直後から病院や施設で医療の実際に触れる授業です。

2 program

課題探求実践セミナー

社会と関わり自律性に目覚める。

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



多くの他者と共感し、自分自身と深く向き合う

自律協働入門

人
フィールド
社会

授業の目玉は、夜通し人生談義をする「入門合宿」。社会人師匠から様々な話を聞き、そこから自分の人生観について考えていきます。本質にたどりつくまで議論を掘り下げ、4年間を変えるきっかけとします。



▶ この授業のねらいは

1. 何のために学ぶのか、今後どう学んでいくのかを考える
2. 自分と違う視点に気づく
3. チームワークを体験する

塩崎 俊彦 総合教育センター大学教育創造部門教授

社会においては他者と共感し合って人を集団化し、コラボレート(協働)していくことが重要となります。高知大学では「他者と共感する」機会、「なぜ?」と考える機会を1、2年生の早い段階で取り入れ、学びの“文化”とすることで学生の自律性を育てていますが、自律協働入門もそのプログラムの一つ。社会人の持っている人生観や幸福感に触れることで学生自身が自分の想いに気づき、成長への意欲につなげることを目指しています。

フィールドに出て、自分の目でものごとを見る

地域協働入門

人
フィールド
社会

フィールドは、「山」「街」「海」の3つに分かれています。それぞれの現場でスタディツアーを行いながら、「本当の課題は何か」「それはなぜなのか」をチームで考えていきます。



▶ この授業のねらいは

1. 地域でがんばる人と出会う
2. 知らない世界を肌で感じる
3. 人とのつながりから想像力を広げる

中澤 純治 人文学部准教授

この授業で大切にしているのは、現場に出て地域の人や地域の暮らしに出会うこと。自分の目でものごとを見て、知らなかった世界を肌で感じることです。そこで得た実感や人とのつながりは、学生の想像力を広げてくれます。想像力があれば、例えば「不便でかわいそうだ」などと自分の感覚だけでものを語るのではなく、相手の立場に立って考えたり、本当の問題に気づいたりすることができます。そういう経験が、学びを大きく変えていくのです。

多様性に気づきながら、答えの一つを考えていく

国際協力入門

人
フィールド
社会

まずは社会人講師による講義とワークショップで“固定観念”を取り払った後、夏休みの「宿題」として個々が様々な角度から国際協力を実践。報告会で振り返りを行い、理解を深めます。



▶ この授業のねらいは

1. 固定観念を取り去る
2. 様々な価値観を理解する
3. 想いを行動に移す力を養う

石筒 覚 人文学部准教授

国際協力は国境を越えていることに目が向けられがちですが、いざ現地に入ればそれは私たちの身近にあるのと同じくローカルな問題になります。そういう気づきを得た学生たちは、夏休みの活動でも地域の花壇に花を植えたり、要らなくなった服をリメイクしたりと、かなり幅広く課題を見つけて取り組んでいました。ここでの講義は基本的に情報提供。それをどう活かすかは自分次第です。そこに気づけば大学はもっとおもしろくなる。その転換の機会になればと思っています。

3 program

学問基礎論

自律的な学びの土台を築く

1年生2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



自発的な思考プロセスを育む 授業例 農学部

- 人 ■ プログラムの流れ
- フィールド 共通講義(5回) 農学科8コースからそれぞれの分野に関する話題提供
- 社会 その中から受講したい希望テーマを2つ選択
- 社会 課題解決型グループ学習1(5回)・課題解決型グループ学習2(5回)
1チーム5~6名に分かれて自分たちで課題を設定。その課題解決のための方法を情報収集やディスカッションなどグループワークを通じて導き出し、プレゼンテーションする

村松 久司 農学部准教授

彼らはまだ1年生。グループワークでいきなり正しい答えにたどりつくことはありません。しかし最終的な答えに結びつかなくても、考える過程で疑問に思ったこと、感じたことを大事にしてほしい。それを持った上で専門科目に入っていければ、いずれ答えを見つけ出してくれるのではないかと思います。今の豊かな感受性を大切にしながら、専門科目で学術的な知識を学ぶ。そうすれば、困難な課題に対しても自由な発想で乗り越えて行けると思いますね。

4 program

キャリア形成支援科目

首都圏で行う社会協働インターンシップ(CBI^{※1})で自律性と現実感覚を体得する

「本気」と「覚悟」。自律性^{※2}醸成には不可欠の気質です。

本学が全国に先駆け開発し、いまだ他大学には類を見ないCBI授業^{※3}。『実習期間は半年間、実習先は首都圏の企業等』という設定も、「本気」と「覚悟」を持ってインターンシップを行うための装置です。CBIは決して職業体験ではありません。大学での学びの質を高め、社会で活躍するために必須の自律性と現実感覚を体得するためのものなのです。



- ※1 Collaboration Based Internship
- ※2 社会や組織が目指す方向を理解した上で自ら考え行動する資質能力
- ※3 CBI授業は、1年生2学期~2年生9月の期間に実施するもので、CBI企画立案(2単位)、CBI実習(8単位)、CBI自己分析(2単位)、キャリア開発講座(2単位)の授業群(計14単位)から成る。受入企業は、社会の幸福実現のために活動している企業を選定

“共感の場”に出て自分の基盤づくりー長期インターンシップ

CBI授業

社会

Voice 鎌倉 詩野 人文学部社会経済学科2年(高知県立仁淀高校出身)
マテックス株式会社(東京都)にて6ヶ月間のインターンシップを経験

私がCBIにチャレンジしたのは、受け身な自分を変えたいと思ったからです。行かせていただいたのは、ガラス卸販売の会社。そこで、断熱性能を高めた「エコ窓」という商品のイベント展示などを考える仕事に取り組みました。みなさんとても親切でしたが、仕事に関しては決して答えは教えてくれなくて、自分で考えることが求められました。しんどい時もあったけれど、それが自分を見つめ直す機会にもなり、とても勉強になりましたね。



この経験を経て私は、人に言われたからではなく自分がやりたいと思ったことをやろうと考えるようになりました。今は農業について活動している学生団体で新しい企画を考え、準備をはじめています。目標だった主体性が、少しは身についたかなという気がしています。



学びを支える様々な制度や取り組み

高知大学では、個々の学生の学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な支援や取り組みを行っています。

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生生活全般における相談役として助言や指導を行います。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。アドバイザー教員や授業担当教員のオフィスアワーをシラバスなどで確認し、予約を入れて質問や相談に行きます。授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽に行けるシステムです。



オフィスアワー

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

入学前教育

人文学部社会経済学科では、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題発見する力を養うための入学前教育を実施しています。

大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。さらに高校までの学習時間が十分でなかった学生のために、通年開講の補習クラスにより、大学生として必要な英語基礎力の修得を図っています。また共通専門科目では理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。



リメディアル教育(入学前教育)

ティーチング・アシスタント

共通教育・専門教育の実験や演習の科目では、きめ細かい指導により学生の理解をサポートするため、優秀な大学院生が授業の補助業務を行っています。

他大学との単位互換

協定が結ばれている他の大学であらかじめ定められている科目を履修し単位を修得した場合は、本学の単位として認定を受けることができます。

早期卒業

本学に3年以上在学し、卒業の要件として所属する学部ので定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、本人の申請により早期卒業が認められます。(医学部を除きます)



ティーチング・アシスタント講習会



もうひとつの学びの場

学生の課外活動 1

自律的な力が育まれるのは授業だけではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。



メディアでも紹介されています!

記事提供:高知新聞社

やる気とアイデアをかたちにする

コラボ考房 H23年度コラボ考房プロジェクト

様々な授業や経験と出会う中で「もっと何かしたい」という気持ちが学生の心に芽生えた時、その気持ちをかたちにするしくみとして始まったのが「コラボ考房」です。3人以上のグループでアイデアを考え応募し、それが採択されれば支援教員がつきます。その後は、支援教員とコラボレーションしながら活動を実践していきます。

国際茶屋 国際茶屋

国際交流、地域交流のできる交流会などの場を作り、人とのつながりを築く



U.T.Mマルシェ Team☆ARUPAKA

雑貨市の企画・運営・実行や高知県内の雑貨屋サイトの立ち上げ



Let's FFP ユニプロ

遊びキーワードにいろんな年齢層の人との交流を生み出し、地域の輪を広げる



インプットこうち はちきんチェルシー

高知を説明できる高知大生を増やすためにブログを立ち上げ、情報発信中



地域活性化パラダイスへお華だらけのKOCHI～ MIV(エムフォー)

お華だらけの高知を目指し、ハロウィンキャンドルナイトなどを企画



学生による学生や地域のサポート活動

S・O・S認定活動支援 H23年度認定活動

学生が学生を支援するピア・サポート活動や、地域貢献活動など学生が自主的に行っているプロジェクトについても大学が認定し、支援しています。

※この6団体の他にも、「高知子ども守り隊守るんジャー」(P14で紹介)や「さぼると」、「学生団体FAN」があります。

献血促進プロジェクト いのちのリボン

若年層へ献血の重要性のアピール活動



Welcome to まうんてん あぐりいへず

地域で環境整備や農業体験活動



フェアトレードによる国際協力 すきっぷ

途上国の貧困解決のためのフェアトレード活動



ちょっとオイシイ高知大ライブJam Boshipan

キャンパス情報誌「Jam」の制作・発行



高知長寿いきいきプロジェクト 百遊会

地域の保健福祉センターで高齢者と定期的に交流



こらぱ〜祭り こらぱ〜祭り実行委員会

高知県の各地域と大学のつながりを強めるイベントを企画





地域に認められた学生生活動

学生の課外活動 2

最初は小さな一歩でも、活動を継続していく中で成長し、今では地域になくてはならない存在として認知されている学生団体があります。その中から、2つの団体の活動についてご紹介します。

記事提供:高知新聞社



小・中・高校への防災授業や防災マップ作り

高知大学防災すけっと隊



マスコットキャラクター「ニゲロン」

2008年に、コラボ考房の支援のもと発足。現在活動5年目、隊員約20人。県内各地の学校で防災授業を企画・運営するとともに、大学内や地域の防災意識向上に向け活動を行う。特に工夫を凝らした防災授業は教育機関からの評価も高く、現在、年10校以上で実施している。

主な活動

▶ 地域の学校での防災授業

大事にしているのは、子どもたちの心に防災意識を育むこと。そして地域に応じた防災課題を把握すること。防災クイズや防災ゲームで楽しく学ぶ、防災マップ作成や災害メカニズムの学習を行うなど、学年に応じたやり方で授業を行っています。



▶ 大学内での防災活動

学内では、防災訓練や朝倉キャンパス周辺の防災マップ作成、物部キャンパスの災害時行動マニュアル作りなどのお手伝いをしています。また防災パックの企画販売や募金活動など、今の自分たちができることには何でも全力で取り組んでいます。



隊長からのメッセージ

リーダー 長倉 基樹 理学部2年
すけっと隊にはいろんな学部の学生が集まっています。防災には真剣ですが、活動は楽しくがモットー。県内各地に出かけ、様々な人と関わるので、とても充実した時間を過ごせますよ。

小学校区でパトロール活動を実施

高知子ども守り隊「守るんジャー」



活動は7府県8大学に広がっている
香川:四国学院大学
愛知:中京大学
岡山:岡山大学
京都:京都橘大学
福岡:北九州州立大学
愛媛:愛媛大学
高知:高知大学、高知県立大学

主な活動

▶ パトロールと見守り活動

大学近くの朝倉小学校と朝倉第二小学校の通学路を月替わりでパトロールしています。学生は自分が行ける曜日を事前に選んでシフトを組み、平日に活動を行っています。子どもたちの笑顔が見られるだけでなく、注意の仕方など関わり方の勉強にもなっています。



▶ 地域のコミュニティに参加

見守り活動をしながら見えてきたのは、地域とつながる大切さ。子どもは家庭、学校、そして地域の中で育まれます。私たち大学生も地域の一人として清掃活動や地域の行事やお祭りに参加し、コミュニティを元気にする一端を担えたらと思っています。



2005年、下校中の児童が狙われる事件が多発したことを受け、子どもの命を事件・事故から守ろうと発足。現在活動8年目、隊員約40人。大学近くの小学校の通学路をパトロールし、下校中の児童の安全を見守っている。2011年にSYDボランティア奨励賞文部科学大臣賞を受賞。

代表からのメッセージ

代表 菅谷 満里絵 教育学部2年
岩野 雄太 教育学部3年
教育学部を中心に、将来教員を目指す学生が多く活動しています。子どもたちの普段の姿が見られるし、地域の方とも仲良くなれて楽しいですよ!

人文学部

Faculty of Humanities and Economics

学科・コース

人間文化学科

人間基礎論コース

地域変動論コース

言語表象論コース

国際社会コミュニケーション学科

社会経済学科

総合地域政策コース

経済企業情報コース



地域と関わりながら疑問や課題を発見!



知的好奇心の前では教員も学生も対等



“現場”があれば、どこにでも出かけていく

世界最大の謎である「人間」に挑戦する

先輩にきく

成長のきっかけが、いっぱいです!

五藤 真世 国際社会コミュニケーション学科3年(高知県立安芸高校出身)

人文学部は文系のあらゆる分野を網羅していて、学びたいことがぎゅっと凝縮されているような学部です。3つの学科でテーマは分かれています、その垣根は低く、やる気さえあれば何にでも挑戦できます。入学当初は私も国際協力の授業をとり、サークルでもフェアトレード※活動(写真)に取り組んでいました。また1年生の2学期、CBI授業に出会ったことで視野が広がり、現在は社会経済系の科目も広く学んでいます。CBIは、大学と企業が協働で行う長期インターンシップ。私は東京の株式会社ワーク・ライフバランスで2年生と3年生の2回、インターンシップを行いました。そこでは、社会貢献という使命に向かって社員一人ひとりが強い思いを持って働いていて「こんな世界があるんだ!」ととても刺激を受けました。実は震災の影響で3年生のインターンシップは高知から在宅で行ったのですが、産休・育休後の女性の職場復帰を支援するサイトの管理を任せ、育児について一から自分で勉強しながら情報収集・情報発信を行いました。この時の経験で、人に喜んでもらう、自分が役に立っているという実感を得ることができ、また次のステップへ進もうという自信もつきました。私にとってはCBIが始まりでしたが、きっかけは人それぞれ。人文学部にはそんなチャンスがたくさん転がっていると思いますね。



途上国の貧困解決の一助になりたいと集まった「すきっぷ」の仲間

やりたいことが見つかった時、先生が手厚くサポートしてくれたのも、ありがたかったです!



※フェアトレード：途上国と公正な貿易を行い現地の生活改善を目指す活動

知の消費者ではなく、学問共同体での知の生産者であれ

岩佐 和幸 国際社会コミュニケーション学科 教授

大学における学びは、まず自分で疑問や問いを見つけ、その上で答えを探求していくというスタイル。つまり、受け身ではなく「自ら学びを創る」ことが大切です。そのため人文学部では、早い段階から少人数での演習形式の授業を重視し、主体的な学びの獲得を促しています。また地域や企業での実践的学びや海外スタディツアーなど、現場を“体感”する機会を多く設け、気づきや新たな学びの動機へとつなげています。高知大学——特に人文学部のいいところは、学生と教員の関係がフラットなこと。一緒に学び合う“研究者仲間”のような関係性があります。また、ゼミや研究室の中で上級生が下級生に教え、その下級生が翌年は教える側に回るという学びの循環も起きています。そういう環境の中で自律性や積極性が育まれているのです。

教員にきく



カリキュラム例

人間文化学科では合わせて150以上もの多彩な科目の中から興味の方に添った履修が可能。国際社会コミュニケーション学科は6つのプログラムの中から関心領域を体系的に学びます。社会経済学科では少人数演習を4年間継続して受けながら学びを深めていきます。

人間文化学科	国際社会コミュニケーション学科	社会経済学科
<p>■人間基礎論コース 西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、西洋思想史、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学、感情心理学</p> <p>■地域変動論コース 日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学</p> <p>■言語表象論コース 平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学</p>	<p>異文化間コミュニケーション論、比較文化論(日英米独仏中)、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章構成研究、第二言語習得論、日本語教育法、英語音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、社会言語学、メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国経済社会論、大衆文化論、日本文化表現法、世界経済論、西洋経済史</p>	<p>■総合地域政策コース 経済政策論、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公共経済学、国際経済論、開発経済論、地域社会学、憲法、民法、刑法、行政法、経済法、政治学、地域の産業と経済、地域ジャーナリズム論</p> <p>■経済企業情報コース ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、人事管理論、競争戦略論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論</p>

人間文化学科 Department of Human Culture

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の枠にとらわれることなく、柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会の中で生じてくる様々な課題に対処し、よりよい将来を自らの手で築きうる、活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

●人間基礎論コース

社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。



●地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の産業・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。



●言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化事象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



国際社会コミュニケーション学科 Department of International Studies

「異文化」と「グローバル社会」にアプローチする

今、グローバル社会の波が大きく押し寄せています。本学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「言語」「社会」「情報」をベースに、多角的な観点から「グローバル社会」にアプローチし、外国語の会得、異文化への深い理解、グローバル社会に対する批判的考察を通じて、幅広い問題意識と視野を持った人間の育成を目指しています。

異文化を学ぶ、現代社会における様々な問題を研究する、そして外国語の力を伸ばす。国際社会コミュニケーション学科では、これらを結びつけて多面的に学んでいこうとする学生が育ってほしいと思っています。そのために用意されているのが、「プログラム」と「ゼミナール」です。

まず、「何を学ぶのか」を明確に意識した複数の「プログラム」を軸に授業は構成されています。このプログラムには、<「言語・コミュニケーション」の理論や実践を学ぶ>、<「文化」を多方面から総合的に学ぶ>、そして<「グローバル社会」の中での人・モノ・情報などの動きとそれに関する問題を学ぶ>という三つの核が用意されています。さらにそのもとの、「ヨーロッパ」、「南北アメリカ」、そして「アジア・オセアニア」といった地域を絞った勉強もできます。

また、この「プログラム」制を支えるのが少人数での「ゼミナール」です。2年生になると皆さんは各教員の「ゼミナール」に所属します。ゼミの学生数は平均で5~6名程度。卒業まで所属することになるゼミでは、卒業論文の作成を視野に入れた上で、学生一人ひとりの必要に応じた、長期的かつ綿密な指導を行います。



幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。

社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。

特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

●総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。



●経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。高度情報化社会では、経済、企業活動に新しいルール、課題が生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



+α 個性が競い合う3科3様の魅力

人文学部

人間文化学科 ▶



中内 大佑 地域変動論コース3年(徳島県立池田高校出身)
人間文化学科の魅力は、まず自分の関心ある分野について深く学ぶことができるということです。そして、人間文化学科では、とくに卒業論文の作成と完成が重要になります。卒論は今まで関心を持って学んできたことを自ら考え、表現する場であり、卒論こそが学生生活の集大成と言えるでしょう。



◀ 国際社会コミュニケーション学科

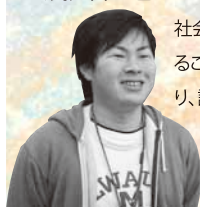
大河原 真紀 国際社会コミュニケーション学科3年(岡山県立瀬戸高校出身)

国際社会コミュニケーション学科の最大の魅力は、グローバルな視点から文化や言語の特徴、経済の動きを学び、将来、国際交流、海外での国際協力を携わることも可能な教養が身につけられることです。実際、私は、充実した留学制度を利用した韓国留学で、異文化について学ぶことができました。



社会経済学科 ▶

浅川 直也 経済企業情報コース3年(高知県 私立土佐高校出身)
社会経済学科では学生それぞれの興味で活動や研究をすることができます。特に1年生の時からゼミ形式の授業があり、議論やプレゼンの経験をたくさん積むことができます。社会で実際に起きている問題の解決にチャレンジする中で、理論を勉強していくことができます。



■就職先一覧 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人間文化学科

IBU(四国アイランドリーグplus)、イトキン、伊予銀行、NTT西日本、ABC Cooking Studio、愛媛トヨベット、遠州中央農業協同組合(静岡)、香川セキスイハイム、給湯システム(福岡)、倉吉信用金庫、KDDI、高知銀行、高知電子計算センター、さなる、四国銀行、JAいずも、JA全農 高知県支部、JAびほく(岡山)、地域情報センター くまもと経済(熊本)、チムニー、東海労働金庫(愛知)、虎屋、日本食研、日本放送協会(NHK)、乃村工藝社、百十四銀行、平田病院(高知)、ブックオフコーポレーション、宮脇書店、モリチップ(高知)、四電工、四国地方更生保護委員会、兵庫県庁、高知県庁、寝屋川市役所、瀬戸内市役所、高知市役所、土佐清水市役所、阿久比町役場(愛知)、那智勝浦町役場(和歌山)、神石高原町役場(広島)、埼玉県警、石川県警、和歌山県警(事務)、広島県警、高知県警、高知県立学校教員、高知県私立学校教員、四国中央市(教育支援員)

▶大学院進学先

広島大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、立命館大学大学院

国際社会コミュニケーション学科

味匠(香川)、ANA sales、イーオン、イズミ、イッティージャパン(愛知)、伊予銀行、大分県信用組合、岡山県国民健康保険団体連合会、花王カスタマーマーケティング、学校法人 関西語言学院(日本語教師)、がんこフードサービス、きのくに信用金庫、高知県園芸農業協同組合連合会、高知信用金庫、JA岡山、JALエクスプレス、サニーマート、山陰合同銀行、四国ガス、四国銀行、神姫バス、スカイネットアジア航空、セキスイハイム山陽、第一生命保険、高松三越、竹内製作所(長野)、デイリー・インフォメーション、東京海上日動火災保険、ドウシヤ、土佐塾、鳥取県信用保証協会、トヨタカローラ高知、西日本シティ銀行、西松屋チェーン、日本生命、日本通運、日本トラスティ・サービス信託銀行、日本放送協会(NHK)、ヒワサキ、ビッグエス ケーズデンキ、ファイブフォックス、福助工業株式会社(愛媛)、富士通四国システムズ、マキタ、ランゲージハウス外国語学校、岡山県庁、高知県庁、美作市役所、木曾町役場(長野)、徳島県立学校教員、高知県私立学校教員

▶大学院進学先

東北大学大学院、宇都宮大学大学院、名古屋大学大学院、高知大学大学院

社会経済学科

あわしま堂、伊予銀行、NTT西日本、愛媛銀行、王将フードサービス、大分銀行、カイトック、高知銀行、高知新聞社、西京銀行(山口)、JA淡路日の出、JA岡山、JA香川県、JA四万十、JA徳島市、JAとさし、JAバンク高知信連、JAバンク滋賀信連、JAひだ(岐阜)、JTB関東、四国銀行、十八銀行、四変テック、住友生命保険、スルガ・スタッフサービス(静岡)、関(高知)、損害保険ジャパン、第一高周波工業、中国銀行、東海澱粉、東京海上日動火災保険、東京ガス山梨、東邦銀行(福島)、徳島銀行、鳥取信用金庫、トヨタカローラ高知、日本銀行、日本新薬、日本生命、幡多信用金庫、百十四銀行、マックスバリュ西日本、宮崎銀行、もしもしホットライン、ヤマト運輸、郵便事業、吉本興業、リソな銀行、国土交通省、広島国税局、徳島県庁、高知県庁、名古屋市役所、下関市役所、高松市役所、高知市役所、香南市役所、諫早市役所、余市町役場(北海道)、岐阜県警、岡山県警、香川県警、千葉県立学校教員、京都府立学校教員、愛媛県立学校教員、国立印刷局(岡山)、大分県民の森管理事務所

▶大学院進学先

北海道大学大学院、岡山大学大学院、鳴門教育大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院

[一般入試 備考]

- [大学入試センター試験の利用教科・科目名]について:「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。「英語」についてはリスニングを含む。(社会経済学科の前期日程を除き、地歴・公民、数学及び理科から高得点の1科目の成績を用いる(※印)。ただし地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。)
- [個別学力検査等]について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等	
		科目名等	教科等	科目名等
人間文化学科	推薦入試 I	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 [必須]
国際社会コミュニケーション学科	推薦入試 I (A選抜) (B選抜)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 [必須]
社会経済学科	推薦入試 I	大学入試センター試験は課さない	その他	面接 [必須]

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 特別支援教育コース

生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース
(生活系、環境情報系)



海浜スポーツ実習

こんな授業あるの?! ...スポーツ科学コース



教材づくりも、まずは楽しむことから

それぞれの分野の専門家から“本物”を学ぶ!



「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

先輩にきく

地域や子どもと触れ合うチャンスが多い!

日野 美久 学校教育教員養成課程1年(大分県立大分雄城台高校出身)

高知大学の魅力は、何といても地域と関わる機会がたくさんあるということ。周りを見回しても、授業でも課外活動でもとにかく地域に出て行って子どもたちと触れ合ったり、いろいろな立場の人々と関わって何かしているという人が多いですね。

私もこの1年間、様々な学びや体験をしました。フレンドシップ事業という授業で1学期には高知市内のつづ橋小学校に出向き、「環境ボランティア活動」を行いました。これは、子どもたちと一緒に通学路のゴミ拾いをしたり、遊びながら環境問題を学んだりする取り組みで、青少年育成協議会の方々や先生方のサポートを受けながら、自分たちでプログラムを企画・進行しました。また、2学期には「地域・学校ボランティア活動」として、大学の体育館で小学生向けのイベントを企画・実施。私は活動の代表として全体のとりまとめを担当しました。どちらの活動でも子どもたちが喜んでくれたことがうれしかったし、失敗の中から

これまで気づかなかった多くのことに気づくことができました(例えば役割分担の大切さや、リハーサルの重要性です!)。今、一年を振り返ってみると、自分でもよく代表なんかやったなあと思ふな気がしますが、大学は自ら行動しなければ何も起こらないところ。積極的にチャレンジすることが大切だと実感しています。



授業以外にも、サークルやボランティアで地域の学校に入って活動している人が多い!



実践しては振り返る、「省察」が鍵

教員にきく

内田 純一 学校教育教員養成課程 教授

私たちが大事にしているのは、大学で学んだ知識と社会の現実とを出会わせて、学びを振り返る「省察」のサイクルです。今、社会に求められているのは「省察的実践家」といわれる教育者。実践しては考え、また実践する、臨機応変力を持った教員です。そのため4年間を通しての様々な実習系授業と専門授業との往還を重視し、省察的実践力を高めています。

大学に入學すると、皆さんの世界は“おぼえる”から“わかる”へと一変します。“わかる”というのは、“わからないことがわかる”ということでもあり、「なぜ?」「どうして?」という疑問が思いもよらない発見や新たな興味へとつながったりします。そういう学びの経験をたくさんすることが、教育者としての土台です。4年間でぜひ有意義な「学びづくり」をしてください。

カリキュラム例

理論と実践の統一を重視したカリキュラムが特徴。「教職ポートフォリオ」で1年次からの学びの成果を確認したり、地域と関わりながら総合的な力を高めています。



学校教育教員養成課程	生涯教育課程
<ul style="list-style-type: none"> ■教職に関する科目 教職入門、同和教育論、道徳教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼) ■小学校教科に関する科目 小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育 ■中学校教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目 ■特殊教育に関する科目 特別支援教育学概論、知的障害心理学、知的障害生理・病理学、肢体不自由心理・生理・病理、病弱心理・生理・病理、知的障害教育課程論、知的障害教育の理論と実際、肢体不自由教育指導法、病弱教育指導法、特別支援教育実習 ■課程共通科目 教育情報演習、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ■芸術文化コース サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、中国芸術・文化、書道、西洋画、日本画、デザイン、木工芸、彫刻、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱 ■スポーツ科学コース 生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、スポーツ社会学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習 ■生活環境コース 被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、鉱物科学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

子どもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。

そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。1年生2学期より、12のコースに分かれて学習と研究を深めます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または特別支援学校一種免許の取得が必要です。

●教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などを通して学習と研究を深めます。



●国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育／技術教育／家庭科教育の各コース

これらの10コースでは、小学校だけでなく、中学校及び高等学校の各教科の教員免許を取得できるよう学習します。各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築及び学習指導法などについての専門的な理論と実践を学び、教科指導にすぐれた実践力をもった学校教員の養成を目指します。さらに各教科の内容を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身につけることを目指します。



●特別支援教育コース

本コースは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する教員の育成を目的としています。また視覚障害や聴覚障害、重度・重複障害、発達障害についても学びます。学校は大きく変わり、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行するなど「特別支援教育」が導入されました。通常学級においても特定の学習だけが著しく遅れていた、授業が始まって10分もしないうちに席を離れてしまったり、こだわりがあったりなどの理由で、一斉指導では教えることが難しい児童生徒に、その子にあった適切な指導をする「個別的教育支援」ができる仕組みが整えられ、全教員が関わることとなります。これらの動向を踏まえて本コースでは、学習や生活上の困難を正確に理解するための理論や、児童生徒に応じた適切な指導法を学びます。



4年間一貫した実習系授業	
1年次 フレンドシップ事業、観察実習	3年次 教育実習、特別支援教育実習(特別支援教育コース)
2年次 介護等体験、支援実習	4年次 教育実習(特別支援教育コース)、応用実習、幼稚園実習

+α 正課外の活動も、貴重な省察の場

教育学部
学校教育教員養成課程

新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところに転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

理科の楽しさを伝えたい! 「科学の祭典」で子どもに感動体験を

邊見 由美 学校教育教員養成課程3年(徳島県立脇町高校出身)



「青少年のための科学の祭典」高知大会は、地域の子どもたちに科学の楽しさを体感してもらうイベントです。最初の年は、先生のお手伝いで水棲生物のコーナーを担当。前日に大学近くの鏡川に生物採取に行き、それを展示して子どもたちに手に取ってもらいました。みんなとても楽しそうで、「これは高知では〇〇と呼ぶよ」と教えてくれました。このようなふれあいから、生活の中に息づく科学の芽を感じることもできました。2年目の今年はもっと深く関わりたいと、イベントの運営から参画しています。

私が理科教員を目指すきっかけとなったのは、2年生の授業「環境教育」。そこで小さい頃の川遊び体験がよみがえり、一気に理科の世界に引き込まれました。私が得たのと同じような体験、「実際に見て触れて感じ取る学び」を子どもたちにも体感してほしい——そんな想いで、いろいろな活動に取り組んでいます。



「科学の祭典」の様子

幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会を迎えた今、私たちには多くの課題があります。

芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立がますます重要になってきています。

また、私たちは、地球環境、生活環境をめぐるいろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

●芸術文化コース

本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。



●スポーツ科学コース

本コースは、競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネジメントに関わる指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進行とともに少人数体制のもとで各人の関心や興味を深め、スポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。



●生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。2年次より「生活系」と「環境情報系」に分かれます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私たちをとりまく自然界に目を向け、さらに私たちの生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



+α 自分たちができることを、行動に移す

教育学部

生涯教育課程

2011年は、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われた年でした。日本中で多くの人々が心を合わせ立ち上がる中、高知大学でも学生や教員が現地に入り、また高知からできる支援を行いました。その取り組みは、現在も継続されています。

被災地に元気を送ろう！ 手作りノート2万冊、いわき市へ

矢野 聡珠 生涯教育課程芸術文化コース3年(愛媛県立大洲高校出身)



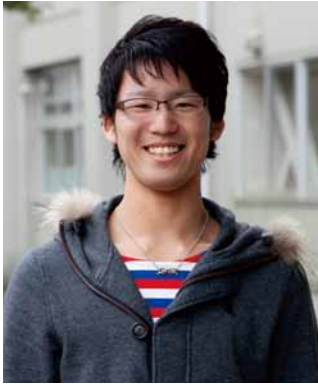
3.11の後、『何かしたい。けれど今の自分たちに何ができる?』と考えていた時に、ゼミで交流のあった地元の印刷会社さんから「形が不ぞろいの紙がある。これをノートにして被災地の子どもたちに送ってはどうか」とお話をいただきました。半端な紙は機械が使えません。そこで、一枚一枚自分たちで折り畳み、手作業で製本を行っています。

目標の2万冊は、ちょうど福島県いわき市の児童数と同じ数。教育学部長が学生と一緒に現地にボランティアに入った際につながりができ、受け取っていただけることになりました。交換ノートなど、人と人がつながるツールになったらうれしいですね。このノートを作りながら私たちはずっと被災地のことを考えてきました。今後も継続して応援していきたいし、そういう想いもノートと一緒に届けられたらと思っています。



手作業で製本する学生たち

Voice! 内定者の声



野村 法弘 (高知県 私立土佐高校出身)

高知県立学校教員(小学校)採用 学校教育教員養成課程4年

高知大学は4年間を通じて常に子どもたちと触れ合いながら学べる環境があり、それが何より大きかったと感じています。学校現場に出て学ぶ実習は、学年が上がるにつれてより深い実践になり、失敗も喜びもいろいろ体験する中で教職への思いも高まっていきました。一番心に残っているのは3年生の教育実習。1ヶ月の期間の中で5回だけやらせてもらえる自分の授業を、寝る間も惜しんで考えました。しんどかったけれど、子どもたちが楽しく興味を持って学んでくれて、とてもうれしかったですね。

授業以外にも、地域の小学校の放課後学習の支援に入る学生チューターや幼稚園のボランティア活動を経験。ゼミの先生の紹介で高知県の小学校の外国語活動について考える研修などにも参加させてもらいました。4年間、幅広く活動したことが、教員への道につながったと感じています。

教員志望の学生向け
セミナーや学外研修の情報が
先生や就職室からたくさん入ってきて、
そのチャンスを
活かしていましたね。



教育実習は附属小学校と旭東小学校で行いました(写真は旭東小学校での実習の様子)

取得できる資格等

学校教育教員養成課程

小学校教諭一種免許状/中学校教諭一種免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)/高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・英語)/特別支援学校教諭一種免許状/幼稚園教諭一種免許状/学芸員

※卒業要件に含まれる免許状:小学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭一種免許状

※履修の仕方によって取得可能な免許状:中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状

生涯教育課程

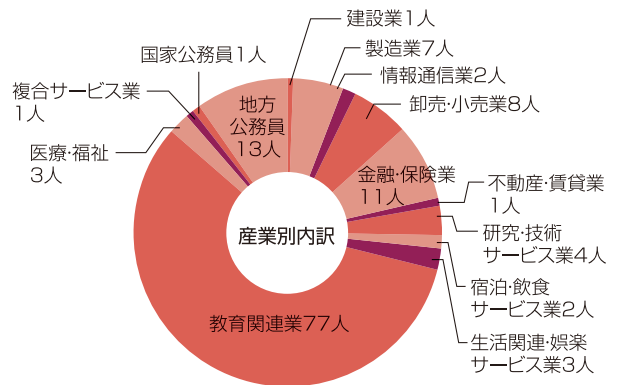
■芸術文化コース:中学校教諭一種免許状(音楽・美術)/高等学校教諭一種免許状(音楽・美術)/学芸員

■スポーツ科学コース:中学校教諭一種免許状(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(保健体育)/学芸員

■生活環境コース:中学校教諭一種免許状(家庭・理科)/高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)/学芸員

※以上の免許状取得のためには、卒業に必要な授業科目に加えて、免許状取得のための科目の履修が必要

就職データ 2011年3月卒業生



平成25年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

【●】は必須科目を表す。

【○】は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

【◇】は他教科との選択科目を表し、科目数欄に「※」を付して教科内で選択可能となる最大科目数を表示。

一般入試

学科名等	区分・日程	学力検査等の 教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																				個別学力検査等													
			国語	地歴・公民					数学					理科					外国語					教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や 必要科目数など											
			国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	理社	倫理	倫・政経	科目数	数I	数II A	数II B	工業数理	簿・会	情報	科目数	理総A	物理I	化学I	生物I	地学I	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数				
学校教育教員養成課程	前期	5教科7科目 又は	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	○	1	数 理 外 その他	<数学>数II・数B <理科>物I・物II、化I・化II、生I・生II、地I・地II <外国語>英(英I・英II・リーディング・ライティング) <その他>小論文 (1科目を選択必須)
	後期	6教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	○	1	—	個別学力検査等は課さない
生涯教育課程	芸術文化コース	前期	●	○	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1*	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	その他	実技 (必須)
		後期	●	○	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1*	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	その他	実技 (必須)
	スポーツ科学コース	前期	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1	その他	実技 (必須)
		後期	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1	その他	面接 (必須)
生活環境コース	前期	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	1	数 理 外 その他	<数学>数II・数B <理科>物I・物II、化I・化II、生I・生II、地I・地II <外国語>英(英I・英II・リーディング・ライティング) <その他>小論文 (1科目を選択必須)	
	後期	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1/2	○	○	○	○	○	○	1	—	個別学力検査等は課さない	

■就職先一覧 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

学校教育教員養成課程

阿波銀行、大分修学館、紀陽銀行、JA徳島市、百十四銀行、ファミリー高知、豊和銀行、北國銀行、本田技研工業、水島信用金庫、四電エナジーサービス、高知検察庁、福岡家庭裁判所、岡山市役所、四国中央市役所、阿南市役所、志摩市役所、中土佐町役場(高知)、高知県警、大阪府消防署、高知市消防局、島根県寄宿舍指導員、高知市教育研究所、岡山大学(法人職員)、福岡大学(法人職員)、福島県公立学校教員、さいたま市公立学校教員、千葉県・千葉市公立学校教員、東京都公立学校教員、神奈川県公立学校教員、横浜市公立学校教員、長野県公立学校教員、石川県私立学校教員、新潟市公立学校支援員、京都府公立学校教員、大阪府公立学校教員、堺市公立学校教員、兵庫県公立学校教員、神戸市公立学校教員、奈良県公立学校教員、奈良県私立学校教員、島根県公立学校教員、岡山県公立学校教員、広島県公立学校教員、山口県公立学校教員、徳島県公立学校教員、香川県公立学校教員、愛媛県公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、福岡市公立学校教員、長崎県公立学校教員、熊本県公立学校教員

▶大学院進学先

大阪教育大学大学院、兵庫教育大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院、高知大学大学院

生涯教育課程

■芸術文化コース

穴吹エンタープライズ、大分銀行、大塚包装工業株式会社、音感教育研究所、高新企業、高知銀行、高知新聞社、弘文印刷(高知)、サニーマート、JA山口宇部、JPホールディングス、ジェー・シー・スタッフ、新学社、スマイ印刷工業(滋賀)、創裕、中国銀行、塚本イズムジャパン、津山信用金庫、日本生命保険、浜幸(高知)、フェローシステム(愛媛)、フレンド商会、ヤングファッション研究所(福岡)、ヨドバシカメラ、高知市役所、東京都公立学校教員、岡山県公立学校教員、徳島県公立学校教員、香川県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶大学院進学先

東京学芸大学大学院、鳴門教育大学大学院、高知大学大学院、広島市立大学大学院

■スポーツ科学コース

大垣信用金庫(岐阜)、大塚製薬、技研製作所(高知)、紀陽銀行、京都中央信用金庫、TDCソフトウェアエンジニアリング、日本生命保険、日本トリム、田中食品興業所、浜松信用金庫、PGSホーム、百十四銀行、ヒマラヤ、水島信用金庫、ミズノ、カタール・富山(サッカー選手)、川崎フロンターレ(サッカー選手)、JFLツェーゲン金沢(サッカー選手)、モンテディオ山形(サッカー選手)、宇和島市役所、岡山県警、高知県警、加古川市消防、南国市消防、富山県公立学校教員、大阪市公立学校教員、京都府公立学校教員、兵庫県公立学校教員、和歌山県私立学校教員、岡山県公立学校教員、島根県公立学校教員、香川県公立学校教員、愛媛県公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員

▶大学院進学先

高知大学大学院

■生活環境コース

アイ・エム・シー、アイランド食品、穴吹興産、きのくに信用金庫、クロスカンパニー、高知生協病院、神戸ヤクルト販売、ザグザグ、JA香川県、鈴花、トリニティーアーツ、日本生命保険相互会社、ひがしの会(医療法人)、マルナカ、日本政策金融公庫、愛媛県庁、岡山県公立学校教員、香川県公立学校教員、沖縄県公立学校教員

▶大学院進学先

高知大学大学院

[一般入試 備考]

- [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について:「数学」の教科について「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。「英語」についてはリスニングを含む。(学校教育教員養成課程については、地歴・公民、数学及び理科から高得点の3教科5科目又は4教科5科目の成績を用いる。また、生涯教育課程(生活環境コース)については地歴・公民及び理科から高得点の2教科3科目又は3教科3科目の成績を用いる。ただし、いずれの課程(コース)も地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。生涯教育課程(芸術文化コース)については、地歴・公民、数学及び理科から高得点の1科目の成績を用いる。ただし、地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。)
- [個別学力検査等]欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試 [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、一般入試「備考」を参照のこと。

学科名等	区分 日程 学力 検査 等の 教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																				個別学力検査等															
		国語	地歴・公民						数学					理科				外国語					教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や 必要科目数など													
		国語 科目数	世 A	世 B	日 A	日 B	地理 A	地理 B	現 社	倫 理	政 経	倫 理 政 経	倫 理 政 経 科目数	数 I	数 II	数 III	工業 数理	簿 記 会 計	情 報 科 目 数	理 総 A	理 総 B	物 理 I	化 学 I	生 物 I	地 学 I	科目数	英 語	独 語	中 国 語	韓 国 語	科目数	教科等					
学校教育教員養成課程	推薦入試Ⅱ	5教科7科目 又は 6教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1 /2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接 [必須]
生涯教育課程	芸術文化コース	推薦入試Ⅰ																																その他	小論文、実技、面接 [必須]		
	スポーツ科学コース	推薦入試Ⅰ																																その他	小論文、実技、面接 [必須]		
	生活環境コース	推薦入試Ⅰ																																その他	小論文、面接 [必須]		

理学部

Faculty of Science

学科・コース

理学科

数学コース

物理科学コース

化学コース

生物科学コース

地球科学コース

応用理学科

情報科学コース

応用化学コース

海洋生命・分子工学コース

災害科学コース



講義、実習、実験など様々な授業のかたちがある



海洋実習などに対応できる施設・設備も充実



フィールド観察など体験型の授業も多い

壮大なスケールの世界を基礎から応用まで解き明かす

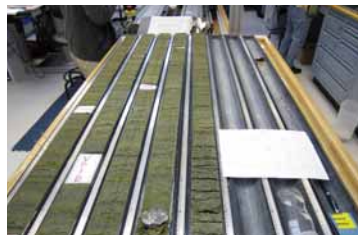
先輩にきく

恵まれた環境で、研究に没頭

小林 宗誠 理学科4年(愛知県出身)

高知県は、地形的・地質的にとても貴重なフィールドです。県東端の室戸は昨年、世界ジオパークにも認定されました。その環境を活かして、理学部ではフィールドに出て学ぶ授業をたくさん行っています。僕も1年生の夏、野外調査法という授業の室戸合宿に参加。2年生では海洋観測船で海に出ました。いろいろ体験しながら学んできた4年間でした。

僕はもともと恐竜が好きで地球科学を志望。でも残念ながら恐竜の研究室はなく(笑)、古生物の中でも微化石を研究している現在の研究室に入りました。卒業論文では、先生が南極から採取してきた堆積物に含まれる微化石——珪藻^{ケイソウ}という種類の群集を分析し、当時の海の水塊構造や生物生産などを考察しました。僕が扱った試料は一番古いところで650万年前、新しいところで300万年前ですが、これは地球上に最初の人類が登場したくらいの年代。その頃の地球環境を読み解く科学的ヒントが、海の堆積物に含まれているのです。



掘削船で採取した海底の堆積物



微化石の顕微鏡写真

卒論は本当に長い時間をかけて取り組みました。一日中顕微鏡を覗きながら、英語の文献も全て自分で読んで確かめていきました。つらかったけれど、終わった今の開放感、達成感はずごい!(大きな声では言えませんが、もうずっと研究室に寝泊まりしていましたからね…)

春からは大学院に進学し、さらに研究を深めていく予定です。先生、また当分よろしくお祈りします!

何でも挑戦できるのが大学。
僕も軽音サークルを
立ち上げました。
ライブ一回で
解散しましたが…



人間的成長と専門能力の修得を

大坪 義夫 理学科 教授

大学の学びに必要な不可欠なのは“自ら進んで学ぶ姿勢”です。そのため理学部では、初年時教育に引き続き専門教育でも「課題探求」「問題解決」型の授業をとり入れています。例えば、ある専門的なテーマに対してまず自分で課題を発見し、その解決のために様々な実験を行う…というような主体的な学びを繰り返す中で、協働実践力やコミュニケーション力も磨かれます。またネイティブスピーカーを講師に科学のグループワークを英語で行う「科学英語」の授業にも力を入れており、学生の国際性を育成しています。

大学は、様々な関わりの中で自分自身を成長させ、社会人としてあるべき姿に作り上げる場でもあります。その意味で、授業だけでなく課外活動や友達との交流もとても大切。人間的に成長しながら、自分の専門能力をしっかりと修得して行ってほしいと思います。

教員にきく



カリキュラム例

1年生では様々な分野を幅広く学び、2年生で主専攻を、3年生で副専攻を選択します。希望のコースに進むことができるのが理学部の特徴。4年生で研究室に配属されます。

理学科	応用理学科
<ul style="list-style-type: none"> ■数学コース 微積分学概論、線形代数学概論、解析学、幾何学、代数学、統計数学 ■物理科学コース 力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学 ■化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学 ■生物科学コース 動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学 ■地球科学コース 地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学 	<ul style="list-style-type: none"> ■情報科学コース 計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能論 ■応用化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、量子化学 ■海洋生命・分子工学コース 生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物工学 ■災害科学コース 地球惑星科学、防災科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学

理 学 科 Department of Natural Science

知的文化の創造と人類進歩を目指して

理学部は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、数学的思考を基礎にとらえ、物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、そして、課題設定及び課題解決ができる職業人の養成を目指します。

●数学コース

数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れたさらに深い内容へと進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。



●物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子及びその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを取り扱います。このために、理論物理、量子物理学、物性物理学、物理化学などの諸分野を学んでいくことができます。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論、素粒子間の相互作用や電磁的非線形現象、固体の電気・磁気・光・熱的諸性質、物質合成法・構造解析法や結晶構造と物性との相関といった物質の持つ物理化学的諸性質などの理論を学び、実験によって確実な知識を習得できる教育を行います。



●化学コース

化学は、100種あまりの元素の組み合わせからなる物質の性質ならびに物質間の相互作用と変化を探求する学問分野です。本コースでは、これら様々な物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらには分析化学的手法などについて、原子・分子という基本的要素から複雑な先端化学物質までを対象として体系的に教育し、研究を行います。このことにより、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めるとともに、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献できる人材の育成を目指します。



●生物科学コース

原生動物や藻類の細胞生物学および分子生理学、昆虫や魚類の行動生理学、コケ植物、地衣類および魚類を対象とした分類学や形態学、河川、草原、里山などの植物生態学および動物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、生命現象を数学的に捉える理論生物学、有用藻類を対象とした海洋植物学などの教育と研究を行います。さらに、他コースの生物系講義題目も加え、分子レベルから生態系レベルに至る幅広い領域をカバーできるような充実した講義メニューを提供し、豊かな科学的素養と専門性を備えた人材の育成を目指します。



●地球科学コース

地球科学コースでは、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を目標とします。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程の解明を目指しており、また、地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球の様子や資源を、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを研究し、教育しています。幅広い地球科学現象の理解を通して、地球環境の諸問題を地球科学的視点から解決する力を備えた学生の養成を目指します。



+α

希少なコレクションがいっぱい！「サイエンスギャラリー」と「バーチャル自然史博物館」

理学部



地域に開かれた「サイエンスギャラリー」

理学部1号館の1階は、誰でも気軽に入室することができるサイエンスギャラリー。菌類・コケ類の標本写真や魚類、岩石、鉱物、化石、地震断層の標本など、自然科学分野の貴重なコレクションをたくさん展示しています。フェイスブックも開設しています。

魚類標本を紹介「バーチャル自然史博物館」

理学部の標本や自然史関連の情報を発信しています。魚類の分類や系統の研究を行う海洋生物学研究室では、登録数10万6千件、推定20万個体という膨大な魚類標本のデータベース化を進めながら、一部をHP上で公開しています。

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

●情報科学コース

本コースは、コンピュータに基づくソフトウェアやアルゴリズムの基礎から応用までの習得にとどまらず、コンピュータは何ができるのか、どのようにして動くのか、どうすればより良い計算システムが構築できるかを講義を通して指導し、学生はコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の研究成果は多くの研究分野で活用されており、また、新しい学問の創出にも貢献しています。情報科学コースは、コンピュータの理論から広範な応用までを担うものとして、高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



●応用化学コース

応用化学コースでは、分子レベルで物質の構造・性質及び反応性を明らかにするとともに、新しい物質の創造や機能材料の開発を目指した教育と研究を行うことで、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解し、さらに資源・生命・地球環境問題の解決などに向けた産業創出に関与する先導的学問領域の構築を目指します。このことにより、幅広い専門知識や高度な技術力に加え、豊かな人間性や崇高な倫理観をあわせ持った国際的な研究者・技術者の育成を目指します。



●海洋生命・分子工学コース

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな科学的教養を体得した専門職業人の養成を目指します。本コースは海洋生物などを対象とした遺伝子工学、発生工学、タンパク質・酵素工学、分子工学などの領域で教育と研究を行い、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。本コースには、分子生物学、生化学、天然物化学、有機合成化学などの分野が含まれています。



●災害科学コース

人間生活に多大な被害をもたらす自然災害に対し、効果的な防災対策を立案し災害の軽減をはかるには、自然現象の発生メカニズムを正しく理解し、次に人間生活を考慮した将来の予測を立てることが重要です。災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害を主な対象とし、大気科学、地球物理学、地盤科学、地震地質学などの講義・実験・野外調査を通じて、地球の営みとそれを解明するための調査手法を研究し、教育します。これにより、問題解決の能力を持ち、自然災害に対する実務や啓発活動の主体となる人材の育成を目指します。



コレクションの一部を紹介！・・・これ何だかわかりますか？



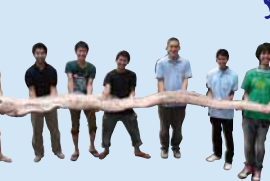
南極で風に浸食された角せん岩
(サイエンスギャラリーより)

ブリザードによって蜂の巣状にえぐられた南極固有の岩石。高知大学には南極調査に入った研究者がとても多い。



新生代の化石密集層
(サイエンスギャラリーより)

高知県は西日本の地質形成史を理解する上で貴重な岩石が露頭しており、化石も多い。これは貝の種類や大きさ、向きなどを一つひとつ調べ、密集層を厳密に復元したもの。



深海魚「リュウグウノツカイ」
(バーチャル自然史博物館より)

1984年に土佐湾の定置網に入った標本。最近この種は分類学的に再検討され、2012年にパリ自然史博物館から出版された論文で、この標本がネオタイプに指定された。



種に学名をつける時、唯一の基準標本「ホロタイプ」やそれに準ずる「パラタイプ」を指定し、その後これらが失われた時には必要に応じて「ネオタイプ」を1つ指定します。海洋生物学研究室には121種の貴重なタイプ標本があります！

Voice! 内定者の声



汐崎 由香 (和歌山県立新宮高校出身)
 地方公務員採用 (和歌山県東牟婁郡那智勝浦町) 応用理学科4年

私の生まれた那智勝浦町は雨による災害が多く、東南海地震の震源域でもあります。だから高校生の頃から防災や気象に興味があり、災害科学コースのある高知大学に進学しました。研究室ではプログラムを組んで気象場を画像化し、解析を行う研究に取り組みました。前半はプログラミングを勉強。そして、卒論の準備に取りかかろうという9月、地元那智勝浦町が台風で大きな被害を受けたのです。先生が被害調査で現地に入ることになり、私も迷わず同行。必然的にこの被害調査が卒論のテーマとなりました。

災害は、記録を残すことが大切です。詳細な記録が後々の防災の資料になるからです。そう思って現地に入ったものの、砂にまみれ全てが茶色くなった風景を前に、一体何を見ればいいのか…。町の元の姿も思い出せず、科学の目で町や物事を見ていなかった自分に気づきました。悔しかったですね。卒論は先生のアドバイスを受け、その場で見たこと感じたことのほかに、友人の聞き取り調査や地元紙の記事、さらにその時の気象場の解析をまとめて完成させました。この経験であらためて感じた、故郷の町への強い思い——高知で学んだことを働く中で還元していきたいと思っています。



土石流の写真。
調査は高知大と京大のチームが行った



痕跡線の写真

課外活動で「防災すけっと隊」にも参加。授業で理論を学び、すけっと隊で実践を学びました。

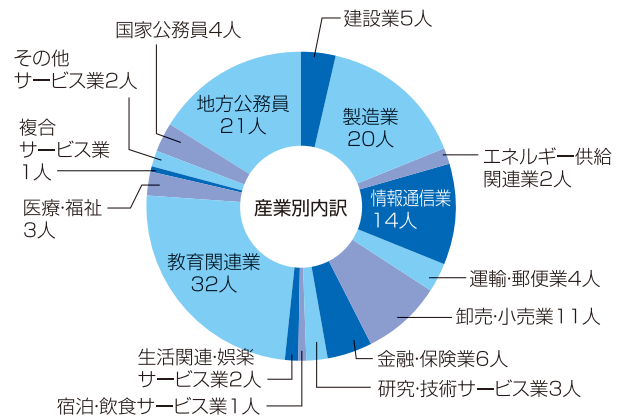


記事提供:高知新聞社

■取得できる資格等

- 数学・情報系**: 中学校教諭一種免許状(数学) / 高等学校教諭一種免許状(数学) / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 情報処理技術者[要試験]
- 物理系**: 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 化学系**: 毒物劇物取扱責任者[資格審査有] / 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験] / 環境計量士[要試験] / 有機溶剤作業主任者[要試験] / 特定化学物質取扱責任者[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 生物系**: 学芸員 / 生物分類技能検定[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 海洋生命・分子工学系**: 毒物劇物取扱責任者[資格審査有] / 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験] / 中級バイオ技術者[要試験] / 上級バイオ技術者[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 地学・防災科学系**: 学芸員 / 測量士補[要試験] / 技術士補[要試験] / 防災士[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)

■就職データ 2011年3月卒業生



平成25年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
 「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

一般入試

学科名等	区分・日程	学力検査等の教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																			個別学力検査等																	
			国語	地歴・公民						数学					理科					外国語			教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や必要科目数など															
			国語	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	倫政	倫政経	科目数	数I	数II A	数II B	工業数理	簿・会	情報	科目数	理総A	物理I	物理II	化学I	化学II	地学I	地学II	科目数	英語	仏語	中国語	韓国語	科目数	教科等				
理学部・応用理学科	前期	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	数	<数学>数I・数II・数III・数A・数B・数C (必須)	
	前期	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	理	<理科>物I・物II・化I・化II・生I・生II・地I・地II (1科目を選択必須)	
	前期	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	情報	<情報>情報 [必須]
	後期	4教科5科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	個別学力検査等は課さない

■就職先一覧 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学コース

ウィザス、NTT西日本、花王カスタマーマーケティング、技研製作所(高知)、高知銀行、JA高知電算センター、四国日立信報システムズ、セキスハイム東四国、ソフトウェア情報開発、トヨタカローラ鳥取、日本システム開発、ビックカメラ、富士通ソフトウェアテクノロジーズ、労働基準監督署、宮崎県庁、築上町役場(福岡)、鳥取県警、徳島県警、福岡県警、広島市消防局、愛媛大学(法人職員)、神奈川県公立学校教員、兵庫県公立学校教員、広島県公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、福岡県私立学校教員、佐賀県公立学校教員、鹿児島県公立学校教員

▶大学院進学先 鳴門教育大学大学院、高知大学大学院

物理科学コース

京セラ、協和エクシオ、コベルコ建機、GSP、四国ガス、ジャステック、日本圧着端子製造、日本システムデザイン、補助工業、富士通、別川製作所(石川)、三菱電機ビルテクノサービス、やしま(広島)、やまと印刷(愛媛)、ヤマト運輸、高知県庁、京都府公立学校教員、愛媛県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶大学院進学先 名古屋大学大学院、大阪大学大学院、広島大学大学院、高知大学大学院

化学、応用化学コース

アルパック、石原薬品、中セキ九州、大倉工業、大橋化学工業、京セラミタ、ケイ・アイ化成、神戸合成、三菱石油、三洋化成、山陽特殊製鋼、JA土佐あき、J.O.Cosmetics、四国化成工業、四国通建、星和電機、大和化成研究所、東洋シール工業、凸版印刷、日亜化学工業、ニチバンメディカル、日東電工、不二鋳材、広島県庁、愛南町役場(愛媛)、岩手県警、京都工芸繊維大学(法人職員)、高知県私立学校教員

▶大学院進学先 東京工業大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院

生物科学コース

赤塚植物園グループ(三重)、味匠、伊豆箱根企業、イズミ、イヨスイ(愛媛)、銀座コージーコーナー、高知銀行、サークルケイ四国、サンキン、JA香川豊南、四国情報管理センター(高知)、四国日立信報システムズ、生活協同組合おかやまコープ、大和グラビヤ、テンパール工業(広島)、島根県庁、高知県庁、福山市役所、高知市役所、土佐市役所、北九州市消防局、桂浜水族館(社団法人)、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、四国自然史科学研究センター

▶大学院進学先 北海道大学大学院、筑波大学大学院、大阪大学大学院、広島大学大学院、愛媛大学大学院、高知大学大学院

地球科学コース

アイエックス・ナレッジ、HBA(北海道)、エスアイエナジー、エプソン販売、京都信用金庫、サムソン(香川)、JA高知市、ダイニチ工業(新潟)、中央コンピューター、東京システムリサーチ、鳴門グランドホテル、日信システムソリューションズ(山形)、福山コンサルタント、不二貿易、増田地質工業、ヤギー、高知県庁、岡山市役所、国際協力機構(独)、北海道公立学校教員

▶大学院進学先 横浜国立大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院

情報科学コース

NTTデータ四国、NTTネオメイト、扇精光(長崎)、オークラ情報システム(香川)、高知電子計算センター、四国情報管理センター、大王製紙、大日本印刷、中央コンピューター(大阪)、トッパン・テクニカル・デザインセンター、中組、日本システム、パロマ工業、日立公共システムサービス、日立電子サービス、富士通、富士通エフサス、富士通鹿児島インフォネット、古河AS(滋賀)、三菱電機、三菱電機情報ネットワーク、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、宮崎銀行、高知県庁、大分県庁、土佐市役所、鹿児島県(教育支援員)、高知県私立専門学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院

海洋生命・分子工学コース

旭食品、アソボ・ラボ(大阪)、ANシステムズ(愛媛)、大倉工業、大阪製薬、香川証券、ジェイアール東日本情報システム、JA全農こうち、ジーンデザイン、篠原化学薬品、泰光油脂化学工業、WDB、中外製薬、東海製粉、東洋技研、トリケミカル研究所、日本メジフィジックス、ビック東海、不二家、プラチナム・バスポート、丸三(高知)、警視庁、宇和島市役所

▶大学院進学先 新潟大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、高知大学大学院、横浜市立大学大学院、兵庫県立大学大学院

災害科学コース

いけうち、エーザイ、エスイー、愛媛建設コンサルタント、応用地質、岡山医学検査センター、花王カスタマーマーケティング、気象工学研究所(大阪)、熊本ファミリー銀行、構管技術コンサルタント(高知)、JR九州、JR総研(鉄道総合技術研究所)、JA都城、ツネイシホールディングス(広島)、土質工学、名古屋製酪、日テレ・テクニカル・リソース、日本ヘルス工業、フジタ地質(岡山)、ポエック、ホープス、宮崎観光ホテル、ヤマダ電機、リアルテック、高知県庁、国立大学法人、長崎大学(法人職員)、滋賀県公立中学校教員

▶大学院進学先 東京大学大学院、京都大学大学院、高知大学大学院

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名欄]について:「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高専課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を優先して用いる。「英語」についてはリスニングを含む。(理科受験コース、情報受験コース及び後期日程については、数学は数I、数I・Aから1科目と数II、数II・B、工業数理、簿・会、情報から1科目計2科目選択とする。)
- (2) [個別学力検査等欄]について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等	教科等	科目名等	
理学科・応用理学科	数学分野	推薦入試 I	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接 [必須]
	理科分野	推薦入試 I	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]
	情報分野	推薦入試 I	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科



最先端の研究に関わり、リサーチマインドを育む



“生きる”ことを支える。看護の本質を学ぶ



医療人に大切なのは、自学自習の姿勢

人間とその病態の中に真理を見出す

先輩にきく

よさこいに地域医療—高知だから学べたこと

露口 恵理 医学科3年(大阪府立大手前高校出身)

医学部では、勉強にも部活にもみんな100%の力を注いでいます。私も勉強の傍ら、ダンス部とアジア僻地医療を支援する会の2つのサークルを掛け持ち。さらに今年は医学部踊り子隊醫-KUSUSHI-で、よさこい祭りにも参加しました。よさこいは本当に最高ですね!(笑)

高知大学医学部の特徴は、地域医療に力を入れていること。私は1年生と2年生の時「家庭医道場」という中山間地域の医療を体験する1泊2日の

課外活動に参加し、地域医療に尽力されているすばらしい先生方や大学の先輩に出会いました。活動の中ではお年寄りの肩をもむ機会をいただき、その触れ合いから元気ももらいました。ここで学べてよかったと心から思いましたね。ほかにも在宅医療に同行する実習では、医師が患者さん家族のふだんの生活を全部知った上で診察していてとても驚きました。医学を志す人にはぜひ体験してほしい授業です。

医学部の勉強は正直、本当に難しい!試験前は毎晩夜中の2時まで大学図書館で勉強し、その後また友達の家を集まって勉強しています。ここで学び始めて気づいたことはたくさんありますが、一つ挙げるなら感謝の気持ち。こうやって勉強に集中できる環境自体、幸せだと気がつきました。将来は患者さんだけでなくご家族にも信頼してもらえる医師になって、その思いを返していけたらと思っています。



いろいろなことを学んだ家庭医道場



よさこいは部活・勉強と並行して2ヶ月前から練習。本番は家族も見に来てくれて、いい思い出に!



研究心を持ち続けられる医療人に

橋本 良明 医学部長

医療人に必要なのは、生涯を通じて真理を探索し続ける心構え—研究心です。これは医学の発展においても、目の前の患者さんに対しても必要な力。それを身につけてもらうために医学科では、PBLコース、先端医療学コースという選択制の教育プログラムを導入しました。学生の研究心を高め、学び続けていける医療人を育成する新しい取り組みです。

また、看護学科でも附属病院と連携した特徴的な学びが行われています。例えば、医学と看護の接点領域を学べるのもその一つ。また地域の保健医療機関で臨地実習を行い、介護や福祉など多方面から命と暮らしを支える力を養っています。

近い将来、都市圏も含め日本全体が高齢化しますが、高知はその先行県。在宅医療や病気予防など、これからの社会に必要な医療を学ぶ上で実践的なフィールドといえるのです。

カリキュラム

医学科では6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL / 先端医療学の選択コース制を導入しています。看護学科では、4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。

医学科	看護学科
<p>6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。</p> <p>カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1~4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV[臨床実習・統合医学](5-6年)。</p> <p>さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身に付けるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目、各学生がある程度自由に選択できる教養科目と専門の基礎知識を学ぶ基礎科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師をめざす人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成をめざす人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭をめざす人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

教員にきく



医学科 Medical Course

新しき医学の真理ひたに極めん

【教育理念】

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見出す」人材を育成することを教育理念として掲げています。

【教育目的】

- (1) 豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2) 医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3) 国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4) プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5) 高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6) 社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7) 医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8) 上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

【教育目標】

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。



+α PBLと先端医療学。研究心を高める、新たな取り組み

医学部
医学科

これら2つのコースは、真理を探究し続ける医療人を育むための新たな取り組みです。学生は自分にあったコースを選び、自学自習の習慣やリサーチマインドを身につけていきます。

PBLコース (Problem Based Learning)

シナリオ上の架空の患者さんの健康問題を解決していくグループワークを通じて、「学び方」を学ぶと同時に知識やコミュニケーション力を磨きます。



先端医療学コース

最先端研究に携わる先生方のもと、その一端を担う実験など研究に取り組みます。遺伝子治療や再生医療など医学の最前線に触れ、研究心を高めます。



「何で？」が勉強のモチベーション

森本 暢 医学科3年(高知県 私立土佐高校出身)



PBLは、与えられたテーマに対して自学自習が基本。調べてきたことを持ち寄り、グループで議論して解決方法を探ります。調べてくらかこないかは自由ですが、やっこないとわからないし、グループの仲間からの刺激も大きい。自然とやる気に火がつかます。先生も高校までとは役割が違って、学生同士の議論が詰まった時にはじめて「こうじゃない?」とリードしてくれます。決して答えを教えてくれるわけではない。

大学では、覚えるだけではなく「何で?」と考える勉強が多くなります。医学部の勉強量は半端じゃないけれど、この「何で?」「何で?」と湧いてくる疑問が、今の自分のモチベーション。考えていくとどんどん楽しくなるし、わかった時のおもしろさは高校までの比ではありません。より奥深い学びを日々実感しています。

看護学科 Nursing Course

新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

[教育理念]

医学部看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活向上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

[教育目的]

- (1) 生命の尊厳に基づく倫理観を備え、人間を総合的に理解し、医療人としての能力を養います。
- (2) 豊かな人間性を身につけ、相手の立場に立って、物事を判断できる人材を育成します。
- (3) 学際的視野に立ち、自ら人々の健康問題を発見し、解決できる能力を養います。
- (4) 国際社会において、活躍できる人材を育成します。
- (5) 看護の実践・教育・研究者として、保健・医療・福祉に関連する他の職種とチームを組み、看護専門職としての役割を有効に発揮できる基礎的能力を養います。

[教育目標]

医学部看護学科の教育目標は、人々の健康状態の向上を目指して、生活や環境との関係で専門的立場で的確に判断し、人々の主体性や価値観を尊重する資質の高い看護実践者を育成し、あわせて将来の研究者・教育者及び指導者につながる教育を行います。

医学部看護学科は、以下の3講座より編成されています。

- 基礎看護学講座
- 臨床看護学講座
- 地域看護学講座



+α

4つの専門コースと、全国初・大学院「実践助産学課程」

医学部

看護学科

看護学科でも新たな取り組みがスタートします。一つは学部4年生での専門コース選択。もう一つは、国立大学で日本初となる大学院「実践助産学課程」の設置です。

4つのコースで専門力を修得

4年生になると希望する進路に応じてコースを選択。附属病院や地域の保健機関などと連携し、実践力を高めていきます。

- 看護師を目指す→看護師実践力育成科目選択
- 保健師を目指す→保健師科目選択
- 養護教員を目指す→教職選択(養護一種)
- 高等学校の看護教員を目指す→教職選択(高等看護一種)

国立大学で日本初! 大学院「実践助産学課程」

総合人間自然科学研究科看護学専攻の母子看護学分野に、実践助産学課程が誕生! 高度な助産の知識・技術を持ち、地域の中で母子や家族を支援できる自律した助産師の育成を目指します。

“自分だけの何か”を持った看護師に

池原 卓 看護学科4年(沖縄県立首里高校出身)



入院体験をきっかけに看護師を志しましたが、最初は父に猛反対されました。説得を重ね、最後は「やるからには一番の看護師になれ」と送り出してもらいましたが、その父が大学1年の夏に事故で他界。父の言葉を胸にがんばった4年間でした。

高知大学には全国から学生が集まってくるので、いろいろな人、考え方、文化に触られます。部活も盛んで、勉強が大変な中、みんなメリハリをきかせて両立していました。僕も剣道部で主将を務め、部活に励みましたが、そういう交流の中で視野も広がり成長できたと感じています。また、附属病院が隣にあって患者さんと医師や看護師が共にある姿を日常的に見ていたため、医療人になるんだという自覚も自然にできていったように思います。

将来は故郷に戻って沖縄の医療に貢献したいと思っていますが、そのためにも自分だけの“武器”を持ちたいと卒業後は東海大学医学部附属病院に勤務する予定です。そこで救急医療の経験を積み、ドクターヘリに乗るのが夢。離島が多く医療機関の少ない沖縄で、少しでも格差のない医療を実現できるよう、力をつけたいと思っています。

■就職先一覧 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。

医学科 初期研修機関

※診療に従事するには医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の研修機関のプログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を受けます(初期研修)。初期研修修了後、専門を決め本人の意思により臨床研修を続けます。初期研修も含め研修中は給料が支給されます。

▶高知県内の臨床研修機関

高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院、高知県立幡多けんみん病院、近森病院

▶卒業者が研修している県外の大学病院

自治医大、日本医科、東京慈恵会、東京、慶応義塾、名古屋市立、大阪市立、大阪医科、関西医科、神戸、奈良県立、和歌山県立、鳥取、岡山、広島、徳島、愛媛、九州、宮崎

▶卒業者が研修している県外のその他の病院

大崎市民病院(宮城)、船橋二和病院、佐久総合病院、一宮市立市民病院、神戸医療センター、岡山中央病院、長崎原爆病院

看護学科

▶看護師

北海道大学病院、NTT東日本札幌病院、東京湾岸リハビリテーション病院、国立国際医療センター、東京大学附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、京都大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪府立病院機構、神鋼病院、神戸市民医療センター、三菱神戸病院、明石市立市民病院、天理よろず相談所病院、鳥取大学医学部附属病院、島根県立中央病院、岡山大学附属病院、広島大学附属病院、JA尾道総合病院、徳島大学病院、国立病院機構四国がんセンター(愛媛)、細木ユニティ病院(高知)、近森病院(高知)、高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、済生会福岡第二病院、社会保険小倉記念病院(福岡)、長崎大学附属病院、琉球大学医学部附属病院

▶保健師

淡路市(兵庫)、島根県、四国電力、室戸市、安芸市、南国市、馬路村(高知)、仁淀川町(高知)、本山町(高知)、梶原町(高知)、三原村(高知)、大分県、高鍋町(宮崎)、南大隅町(鹿児島)、浦添市(沖縄)

▶養護教諭(非常勤、臨時講師を含む)

京都府公立学校養護教諭、岡山県公立学校養護教諭、高知県公立学校養護教諭、沖縄県公立学校養護教諭

▶大学院進学先

高知大学大学院、大分県立看護大学大学院、聖路加看護大学大学院

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。

なお一般入試「地域枠」及び推薦入試Ⅱ「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。詳細については、学生募集要項及び高知県HP (<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131301/>) をご覧ください。

[一般入試 備考]

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について:「数学」の教科について『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし地歴・公民及び理科に関しては第1解答科目の成績を用いる。「英語」についてはリスニングを含む。
- (2) [個別学力検査等]欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。
- (3) 医学科前期日程の一部は地域枠として募集する。

推薦入試 [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄については、一般入試「備考」を参照のこと。

※医学科推薦入試Ⅱは「四国・瀬戸内地域枠(四国4県と兵庫県、岡山県、広島県、山口県)」として募集する。

学科名等	区分・日程 学力検査等の	大学入試センター試験の利用教科・科目名																		個別学力検査等																
		教科・科目数	国語					地歴・公民					数学				理科				外国語				教科等	科目名等 ()は受験の選択・必須や必要科目数など										
			国語 科目数	世 A	世 B	日 A	日 B	地理 A	地理 B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数I A	数I B	数II A	数II B	工業数理	簿・会	情報	科目数	理総 A	理総 B			物理 I	化学 I	生物 I	地学 I	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語
医学科	推薦入試Ⅱ	5教科7科目	●	1	○	○	○								○	1	●	●				2			○	○	○	2	●					1	その他	面接 [必須]
看護学科	推薦入試Ⅰ	大学入試センター試験は課さない																		その他	総合問題、面接 [必須]															

農学部

Faculty of Agriculture

学科・コース

農学科

暖地農学コース

海洋生物生産学コース

食料科学コース

生命化学コース

自然環境学コース

流域環境工学コース

森林科学コース

国際支援学コース



現場からラボまで幅広く...農学は最先端の総合科学



豊かな太平洋が目前に広がるキャンパス



県下全域が学びのフィールド

人と自然が共存していく道を探求する

先輩にきく



フィールドも、研究も、全力で楽しむ!

山本 薫 農学科3年(大阪府立高津高校出身)

高知のよさは何といっても自然が豊かなこと! 海が大好きな私は入学後すぐ憧れのヨット部に入部し、毎週末、美しくも荒々しい太平洋を満喫。3年生では念願の国体にも出場しました。

研究面では高校時代から興味があった食料科学を専攻。2年生の後半から、サークルKサンクスとの協働企画「MOTゼミ」に参加しています。MOTゼミは、地域の余剰作物や規格外作物などを活かしてお弁当やスイーツを作るプロジェクト。企画、食材探し、試作、ネーミングなど商品開発の全工程を経験します。実はスタートしてすぐ3.11の震災が発生し、サークルKサンクスの方々がその対応に追われて一時開発が停止しました。高知県産のお米も品切れとなり、予定していた食材を変更。四国のマーケットにもこんなに影響があるんだと業界の仕組みに驚いたし、食の安心・安全な供給、その責任を実感しましたね。



商品化に向けて検討を重ねました

MOTゼミはまるでインターンシップのような授業ですが、農学部では他にもいろいろな学びが行われています。企業や自治体との共同研究に関わったり、地域のフィールドで野菜の試験栽培をしたり、みんなアクティブ! 自由に挑戦できる環境だと思いますよ。



高知では冬でもヨットが楽しめます!

海、山、川・・・自然と親しみ豊かさの意味を知ることができるのも高知ならではの!



恵まれた環境を活かした「現場主義」

教員にきく

松本 伸介 農学科流域環境工学コース 教授

農学部のある物部キャンパスは、隣に清流物部川が流れ、車で5分ほど行けば海、1時間ほど遊べば源流域の森林という恵まれた環境にあります。その特長を活かしてなるべくフィールドへ出て、自分の目で見て確かめながら問題に気づいていく「現場主義」を大切にしています。そのため、授業中いきなり「今から川に移動!」とか、研究のために山村に泊り込み、なんてことも当たり前前の光景の一つ。

農学は、始まりこそ農・林・漁など産業に基づいた学問でしたが、複雑化した現代社会においてはもっと俯瞰的な視点で問題を調和的に解決することが求められます。高校までは数学、生物、化学、物理、地学などと線引きして学んだことも、大学では重なり合いながら学びます。まずは何にでも興味を持つことが大事なのです。

カリキュラム例

1年次は、一般的な教養科目のほか、農学部全コースの教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」で自分の方向性を探ります。2年次以降はコースに所属し、より専門的に学びます。



農学科

■暖地農学コース

栽培学、植物生理学、農業気象学、農場実習Ⅰ・Ⅱ、食用作物学、植物育種学、家畜管理学、暖地園芸学概論、蔬菜園芸学、園芸管理学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農業経営学、食品流通論、施設生産学、植物・環境計測学、作物学実験、植物育種学実験、蔬菜花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、農業経営学演習、施設生産学実験

■海洋生物生産学コース

水産遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水産環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養飼料学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

■食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、食品分析学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通して、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

■生命化学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産・繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通して、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生産工学などの分野の研究に取り組みます。

■自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、生物多様性管理学、農業気象学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義。実験・実習として自然環境学実習Ⅰ～Ⅳ、自然環境学実験Ⅰ・Ⅱ、昆虫学実験があります。

■流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域水環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学・技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

■森林科学コース

林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹木学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

■国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英文文、沿岸環境学、栽培学、測量学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養魚実習、農場実習など

農 学 科 Department of Agriculture

「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

食料問題、資源問題及び環境問題は、ますます複雑に絡み合い現代社会の大きな課題となっています。

農学は、これらの問題を調和的に解決し、人類の未来を切り開く総合科学。

海・山・川・農地が近接する恵まれたフィールドを活かし、徹底した現場主義のもと

地域社会、国際社会に貢献できる新たな価値創造と先端技術に関する研究教育を行っています。

● 暖地農学コース

資源の少ない国といわれる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調節、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。



● 海洋生物生産学コース

海に取り囲まれた日本では、食料自給率を上げるためにも、海洋生物資源(魚介類)の生産と利用が今後ますます重要になります。本コースでは、海洋生物資源ならびにそれを育む海洋環境の重要性を認識し、その持続的生産・環境保全・有効利用に関して広く基礎知識を習得します。講義とともに、豊富な実験・実習を通じて応用力を身につけることにより、未来につながる海洋生物資源の保全と利用に関する思考力を備えた人材育成に努めています。



● 食料科学コース

未来志向の豊かな「食」づくり!

食料生産に関わる自然環境の理解と保全・修復、食品及び食品成分が生体に与える機能の食品化学的及び生化学的解明、付加価値の高い食品やバイオテクノロジーを応用した機能材料の開発など、食の科学に立脚した教育・研究を行うとともに、安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる食品の開発に貢献できる人材の養成を目指しています。



● 生命化学コース

化学で生命を探る

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ＝化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、植物は根から様々な化学物質を吸収し自分の体を作りあげます。また、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物も体内で作成した化学物質で病原菌や害虫を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。



● 自然環境学コース

自然界における化学、物理学、生物学、地学の諸法則を基礎とした自然環境の総合的な理解に立脚した、人間活動と自然環境との相互の影響と依存性を認識した人材や、それに立脚して持続可能な人間活動のための自然環境の制御と保全、及び環境との共生のために責任感を持って具体的に行動できる知識と能力を持った人材を育成します。



● 流域環境工学コース

流域環境工学コースは川でつながる森林・農地・市街地そして沿岸域までをフィールドとします。山地・里山の保全、水環境の保全、水の利用、水災害の防止、農村・都市での生活環境の改善などに関する教育・研究を通じて、流域に暮らす人間が水とうまく付き合い自然と共存するための理論と技術を学びます。当コースでは日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けた教育プログラムを展開しています。そのため、卒業生全員が技術士補相当の資格を取得でき、技術者にとって最も重要な資格である「技術士」の一次試験が免除されます。



● 森林科学コース

森林は環境を保全するとともに、様々な恵みを与えてくれます。地球環境に果たす森林の役割が理解されるようになってきましたが、自然環境の保全と循環型の資源利用システムの構築が重要な課題となってきています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。森林と環境及び人間との関わりを総合的に研究するのが森林科学コースです。



●国際支援学コース

熱帯・亜熱帯諸国を中心に、地域の環境保全を意識した持続的農林水産業の生産性の向上とそれに関わる資源管理についての問題の発掘、それらの解決に向けての技術開発ならびに技術移転を実践的に担う人材の育成を行います。そのために、本県の立地条件を活かして熱帯・亜熱帯の環境を再現した条件下での実習・実験に重きを置いた教育を実施するとともに、海外の大学間・学部間協定校との交流を促進し、現地での実習や卒業論文研究などを実施します。また国際舞台で活躍するための英語教育を行います。



+α 農学で、未来を拓く

農学部

農学科

農学部では、既存の枠にとらわれない感性豊かな人材の育成に力を入れてきました。

フィールドでの実体験を重視した自由度の高い学びが、どんな未来を拓くのか——。農学の最前線で活躍する先輩の話聞いてみました。

志を仕事にする。「島がまるごと博物館」構想を実現!

神田 優 NPO法人 黒潮実感センター長

大学時代は——「世界一楽しい苦学生」

私の学生生活におけるモットーは自給自足。畑では酒のつまみの枝豆やトマト、ナスなどの野菜を作り、海では魚を釣って干物を作り、余った分は良品市や大学で売るという、自他共に認める「世界一楽しい苦学生」でした(笑)。そして趣味と実益を兼ねてダイビングガイドのバイトをしながら海の生物の生き様に触れる日々。この時出会ったのが、私の一生の現場となった大月町柏島です。大学1年生から通い続け、修士課程では島に4ヶ月間住み込んで研究に没頭。恩師のおかげで本当に自由に学ばせてもらいましたね。

転機は——情熱が共感を呼び、出発点に

その後、廃校を控えた島の中学校の一室を拠点に、「島がまるごと博物館」構想を実現しようと活動を開始。若さと情熱だけじゃなかったけれど、体当たりしていくうちに当時の校長先生をはじめ、島の人達も共感してくれるようになりました。

高知の人は「いごっそう(頑固)」。でも一度心を開いたらとことん応援してくれます。その人情や島のすばらしい自然を守り活かしたいと、この12年がむしやらに突っ走ってきました。

「黒潮実感センター」も、当初は「実験センターですか?」とよく間違えられました。今ではみなさんいい名前だと言ってくれます。



人の都合に合わせて生き物を展示する水族館に対し、まるごと博物館は生態系の中に人が入らせてもらうもの。新しい発想で、理解してもらおうのが大変だったそう

農学としての視点——未来へのバトン

日本国内で確認される魚は約4,000種。柏島周辺ではその約1/4が確認されています。透明度も平均20m、最高時には30~40mまで上がり、これほど豊かな海は他にありません。この宝物を次世代に伝えていくためには、例えば漁業者とダイビング業者が協働して海を守ったり、海と森とがつながり合ったりと、俯瞰の視点、長いスパンでものを見て活動していくことが大切です。「この海が好きだ」という想いから始まった黒潮実感センター。これからも地域の価値を見だし情報発信しながら、未来へのバトンをつなげていきたいですね。

学生時代から、釣りの腕前は「レジャーじゃなくて漁だ!」と言われるほど。釣り、ダイビング、生態研究——「大学時代から遊びと学びに境界はなかった」と神田さん



高知大学では「柏島学」という現場実習と座学を組み合わせた授業も行われている。現場で様々な体験を重ね、楽しみながら深い学びができる人気だ



Profile

高知大学農学部栽培漁業学科卒。東京大学海洋研究所博士課程修了。専門は魚類生態学。2002年「島がまるごと博物館」構想のもと同センターを設立し、島の自然と人の暮らしが両立する持続可能な「里海」作り挑戦中!

Voice! 内定者の声



岡田 尚樹 (大阪府 私立初芝富田林高校出身)
フジッコ株式会社 内定 農学科4年

今、振り返って思うのは、高知大学は授業や単位に縛られず学びたいことが学べる大学だったなということ。自由な分、そこで何をやるかによって差が出るともいえます。1、2年生の時、僕は中四国の大学間連携プロジェクトに参加し、鳥取大学主催の大山“里山”フィールド演習や広島大学主催の瀬戸内海“里海”フィールド演習に参加。多様な自然に触れ、他大学の学生と交流したことがいい経験になりました。また、個人的には大学の勉強の傍ら、様々な資格を20以上取得。小型船舶、大型特殊、危険物取扱...

...と実際に役立つものはあまりないけれど(笑)、時間の使い方は覚えたと自負しています。

研究室では食品、特に微生物に関わる研究に携わり、卒論では人の体内に存在するエルゴチオネインという物質の量を微生物由来の酵素を用いて測定する実験を行いました。学んだことを活かしたいと思い、現在の会社を志望。将来は、子どもからお年寄りまでバランスのよい食で支えていけたらうれしいですね。

大学時代に「自分だけの何か」を見つけること。それが自分の将来において財産になると思うし、強みにもなると思っています。その意味で高知はぴったりの場所。思いきって飛び込んでみてください。

農学を目指すきっかけは、農業高校の教員をしている父親でした。親元を離れた4年間、感謝の気持ちも強く感じるように...



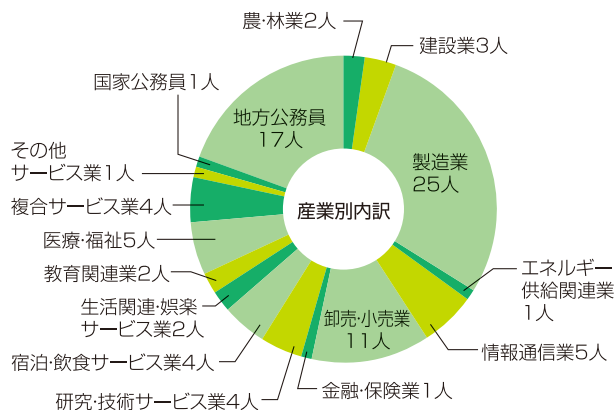
四国のお遍路も経験! 尊敬する父と一緒に

取得できる資格等

農学科

樹木医補 / 森林情報士2級 / 測量士補 / 測量士 [受験資格] / JABEE認定修習技術者 (技術士補相当) / 中学校教諭一種免許状 (理科) / 高等学校教諭一種免許状 (理科) / 高等学校教諭一種免許状 (農業) / 高等学校教諭一種免許状 (水産) / 食品衛生監視員 / 食品衛生管理者 / 学芸員 / 土木施工管理技士 [受験資格] / 中級バイオ技術認定 [受験資格] / 上級バイオ技術認定 [受験資格] / 家畜人工受精師 [受験資格] / 林業改良普及員 [受験資格] / 水産業改良普及員 [受験資格] / 甲種危険物取扱者 [受験資格]

就職データ 2011年3月卒業生



就職先一覧 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

アース環境サービス、阿波製紙、石川中央魚市(石川)、石黒製薬所、石原産業、石光商事、井関農機、伊藤ハム、AGF鈴鹿(三重)、岡山県食品(明治製菓グループ)、オタクソース、協和化学工業、キング醸造(兵庫)、クミアイ化学工業、グリーン航業、コアテック、興農園(熊本)、サカタのタネ、佐世保中央卸売市場佐世保青果、JAえひめ南、JA岡山中央会、JA香川豊南、JA共済(全国本部)、JA高知市、JA西日本くみあい飼料、JA東とくしま、四国化工機、四国中検、四国乳業、四国労働金庫、資生堂、新菱冷熱工業、スズキ自販高知、住友林業フォレストサービス、生活協同組合コープ神戸、全国農業協同組合連合会、タカ食品工業(福岡)、高田製菓(埼玉)、高松帝酸、武田薬品工業、WDBエウレカ、タマノイ酢、チチャス、中国種苗、中国精油、中部飼料、チョーヤ梅酒、名古屋製酪、南海プライウッド(香川)、日亜化学工業(徳島)、ニチレイフレッシュ、日本製菓、日本農産工業(神奈川)、日立ソフトエンジニアリング、ひまわり乳業株式会社(高知)、兵庫六甲農業協同組合、広島市信用組合、フジパングループ、北條製館所(大阪)、マキタ、益正グループ(福岡)、三木特種製紙、三菱製紙、明治製菓、山口県生活協同組合連合会、山崎技研、山崎製パン、山田養蜂場、雪印種苗、ランデス(岡山)、リコー中国、リブドゥコーポレーション、ロート製菓、和歌山県商工会連合会、農林水産省、日本政策金融公庫農林水産事業、茨城県庁、静岡県庁、福井県庁、京都府庁、高知県庁、長崎県庁、浜松市役所、尼崎市役所、三好市役所、四国中央市役所、土佐市役所、宿毛市役所、日田市役所、松茂町役場(徳島県)、警視庁、福岡県警、岡山県警、愛知県公立学校教員、熊本県公立学校教員、岐阜県博物館、神戸市立須磨海浜水族園、(財)岡山県環境保全事業団

▶大学院進学先

茨城大学大学院、名古屋大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院、鳥取大学大学院、広島大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、宮崎大学大学院

土佐さきがけプログラム

Tosa Innovative Human Development Program

目指せ！
平成の
坂本龍馬！

リーダー人材の育成を目指す、 全く新しい教育プログラムが 始動！

現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。

これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。このプログラムでは、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識（基礎力）とそれらを組み合わせて考える力（応用力）を養います。

コース

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

スポーツ人材育成コース

生命・環境人材育成コース（平成25年度スタート）

グリーンサイエンス人材育成コース



育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究（グリーンサイエンス研究）を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とし、学部から大学院まで、6年一貫の特別なカリキュラムの中で、広い知識と高度な技術を習得します。

卒業後の進路イメージ

- 大手企業（食品・製薬・化学・エネルギー産業）や公的研究機関の研究開発者や高度技術者を狙います
- 大学院博士課程（3年）に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指す

実践的「化学」への招待 柳澤和道教授

私たちの身の回りで起こっているさまざまな現象は、化学的変化として捉えることができます。ですから、「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための大切な糸口なのです。



カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	主な授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義Ⅰ・Ⅱ GS実験Ⅰ・Ⅱ
学部 3年	3年1学期から研究室に配属され、理学部の化学系コースの学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験Ⅲ・Ⅳ
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ 学術論文作成セミナー
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究

国際人材育成コース



育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっていく中国語及び日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生在が同じプログラムの中で共に学ぶことで、国や文化の違いを超えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間は語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間は社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留學生は国内留学や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。

卒業後の進路イメージ

- 本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業（総合商社、多国籍企業等）、報道機関（国際報道部門）、国際機関、政府関係機関、航空会社などで国際的に活躍する人材を目指す

日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ！ 谷口雅基教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するのに必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。



カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	主な授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉強方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	英語討論法、開発途上国論、実践中国語演習、国際講座等（JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり）
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研鑽を深めます。（日本語、中国語等）	英語コミュニケーション論、異文化理解対人コミュニケーション、国際講座等（JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり）
学部 3年	日本人は海外研修・インターンシップ、外国人は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。（日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人学生は日本国内でのインターンシップが必須です。）	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ等
学部 4年	留学の成果をさらに進展すべく、高度な言語表現力、コミュニケーション力を磨き、国際社会へ巣立つ準備を行います。	実践ビジネス英語、実践ビジネス中国語、海外研修・インターンシップ、報告会等

スポーツ人材育成コース



育成する人材像

人文学部・教育学部（スポーツ科学コースを除く）・理学部の推薦入試Iの合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習I～IIIを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。

文武両道を大学でも実現！ 駒井説夫教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意思をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。



カリキュラムのイメージ

	在籍学部学科の必修 124単位以上	スポーツ人材育成コース24単位
学部 1年	 並行して履修します	スポーツ生理学 トレーニング論 スポーツ栄養学 スポーツ心理学 などの スポーツ科学の 授業から自由に選択
学部 2年		
学部 3年		
学部 4年		

卒業後の進路イメージ

- 中学校や高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する（人文学部・理学部及び教育学部にて教員免許を取得した場合。本コースでは保健体育の教員免許は取得できません）
- 民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する
- 海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ（剣道など）の普及の一翼を担う

生命・環境人材育成コース

平成25年度から上記3つのコースに加え、生命・環境人材育成コースが始まります。詳しくは、高知大学のホームページ (<http://www.kochi-u.ac.jp/>) をご覧ください。

教員紹介

役員

理事	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	深見 公雄	海洋微生物の生態とそれを利用した海洋環境保全・修復
理事	小槻 日吉三	有機合成化学、高圧有機化学、天然物合成化学、不斉合成化学

人文学部 人間文化学科 人間基礎論コース

教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、神話学
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
教授	塩坪 いく子	空間認知の発達・言語獲得
教授	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
教授	高橋 克己	ドイツ思想詩・古代ギリシアと西欧・プラトーン主義と教父
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
准教授	西尾 美穂	統語範疇とは何か、またそれはどのように変化するか
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	増田 匡裕	様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション

人文学部 人間文化学科 地域変動論コース

教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大榎 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	萩 慎一郎	日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	清家 章	弥生時代～古墳時代を中心とした日本考古学
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史
准教授	小幡 尚	行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究
准教授	川本 真浩	イギリスおよびイギリス帝国の近代史にみる地域イベント
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究

人文学部 人間文化学科 言語表象論コース

教授	大西 宗夫	フランス文学・思想、特にラカンの精神分析の研究
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	山本 秀人	日本語学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関する研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学、おもに和歌・物語・日記文学の研究
准教授	宗 洋	19世紀末からモダニズムの時期にかけての英文学
准教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、大正期文芸思潮研究

人文学部 国際社会コミュニケーション学科

教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	岡本 克人	フランス語・日本語・英語の比較対照研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にあふくわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	上岡 克己	アメリカの自然・環境と文化・文学とのかわりについて
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国唐代の漢詩
教授	中森 健二	中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究
教授	丸井 一郎	言語相互行為研究、特に異文化間対照、比較文化学
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	LINGLEY, Darren Scott	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得論より考察する英語学習法および教授法、タスク
准教授	古閑 恭子	アカン語(ガーナ)の記述研究、ガーナの言語状況の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	遠山 茂樹	情報通信技術(ICT)を利用した地域づくりに関する研究
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	藤崎 好子	音声の自然性・第3言語習得・旧ソ連圏の言語政策と英語教育
准教授	持尾 伸二	英独の伝承文学、とくにバラッドについて
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
准教授	DOYLE, Howard Barry	言説とジャンル、リテラシー教育、外国語(第二言語)の研究
准教授	HARE, Joanna Dorothy	和英翻訳や解説(四国に関するテーマ・深沢七郎の文学等)
講師	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、ラオス地域研究
講師	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
講師	HUG Stefan	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	OTLOWSKI, Marcus George	英作文教授法、英語教授法

人文学部 社会経済学科 総合地域政策学コース

教授	上田 健作	非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
教授	大石 達良	日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
教授	鈴木 啓之	現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	石筒 覚	工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策
准教授	稲田 朗子	医事刑法
准教授	上神 貴佳	現代日本における選挙や政党の研究
准教授	緒方 賢一	地域・農業・農村・環境問題に関する法社会学的研究
准教授	霜田 博史	ドイツ統一後の連邦財政調整制度
准教授	肖 紅燕	チベットムスリム研究、日中家族研究、土佐酒造史・茶業史
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障制度の普遍化に関する研究
講師	岡田 健一郎	日独公法学における「国家による安全」の意義と問題点
助教	堀 美菜	漁村社会学、アジアの地域住民と漁業のかかわりに関する研究

人文学部 社会経済学科 経済企業情報学コース

教授	飯國 芳明	山間地域における活性化の分析、農業政策の国際比較
教授	池田 啓実	自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	田村 安興	流通経済史の研究、日本思想史の研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	頭川 博	高度な生産力形成と貧富の拡大という資本主義の二大特色を研究
准教授	円谷 友英	データのあいまいさに着目した区間解析に関する研究
准教授	中澤 純治	産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授	中道 一心	デジタルスチルカメラ産業における地域、国、企業の競争力の分析
准教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
講師	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース

教授	内田 純一	成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論
教授	馬場園 陽一	認知・メタ認知に関する理論的・発達の・実践的研究
教授	藤田 尚文	親子関係、学力問題、触覚・力覚の感性情報処理
准教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解
准教授	金山 元春	相手の「持ち味」を活かすコミュニケーションの工夫について
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース

教授	北川 修久	書写書道教育の学習方法と古典における表現研究
教授	渡邊 春美	国語科の授業活性化の研究、および国語科教育の歴史の研究
教授	久野 眞	日本語方言の記述的研究
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究
准教授	玉木 尚之	中国古代の芸術観(おもに音楽観)
准教授	北 吉郎	新美南吉童話の研究および児童文学教材の学習指導研究

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース

教授	市村 高男	中世日本社会を政治・経済・文化の諸側面から総合的に考察する
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快楽論、リラクゼーション論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤塚 吉浩	大都市衰退地区の再生と中心市街地の再活性化に関する研究
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人權について
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
助教	遠藤 尚	東南アジアの農村と農業の持続可能性に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース

教授	織田 進	可換代数の研究、とくに環の不分岐拡大、環上の多項式環に関する領域
教授	國本 景亀	生命論に立つ数学教育の理論構築と実践をテーマとしている
教授	佐藤 淳郎	可換代数、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	山口 俊博	やわらかい幾何学(トポロジー)の研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース

教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲ウミアメンボ研究
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション

准教授 伊谷 行 海洋生物(主に甲殻類、二枚貝類)の共生生態、環境教育
 講師 中城 満 理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
 講師 西脇 芳典 各種分析機器を用いた科学捜査のための微量成分分析法の開発

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース

教授 谷口 雅基 英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
 教授 那須 恒夫 英語の教授・学習過程、外国語教育の国際比較、異文化教育
 准教授 多良 静也 変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
 准教授 松原 史典 統語(文法)理論により様々な言語現象を解明すること
 講師 長谷川 雅世 チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

教授 小原 浄二 J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
 教授 宮田 信司 ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
 教授 山中文 音楽科の授業構成研究、音楽活動中の子どもの発話研究
 教授 脇岡 宗一(総一) オーボエを中心とした管楽器奏法及びロマン派作品の研究
 准教授 高橋 美樹 沖縄のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
 准教授 前田 克治 今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース

教授 金子 宣正 日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
 教授 土井原 崇浩 油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
 教授 吉光 誠之 木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
 准教授 吉岡 一洋 グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
 講師 阿部 鉄太郎 塑造による具象彫刻の研究
 講師 野角 孝一 日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース

教授 神家 一成 スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
 教授 刈谷 三郎 体育授業の日韓比較研究および陸上競技指導論
 教授 駒井 説夫 全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
 教授 野地 照樹 サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究
 教授 本間 聖康 生活習慣(とくに運動や栄養)と健康や体力の関係について
 准教授 矢野 宏光 スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
 講師 常行 泰子 運動・スポーツと社会の関連および生涯スポーツに関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース

教授 裏垣 博 超音波による工業材料や構造物の非破壊試験・検査
 教授 道法 浩孝 ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育
 教授 増尾 慶裕 児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭教育コース

教授 菊地 るみ子 家庭教育および生活環境教育に関する理論的・実証的研究
 教授 小島 郷子 家庭教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
 教授 田村 和子 被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
 准教授 森田 美佐 生活経営学・ジェンダー平等に関する研究
 講師 柴 英里 健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授 稲富 眞彦 障害児の教育方法、障害児の発達研究
 教授 寺田 信一 脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
 准教授 是永 かな子 北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
 講師 鈴木 恵太 学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部 生涯教育課程 芸術文化コース

教授 小原 浄二
 教授 北川 修久
 教授 土井原 崇浩
 教授 宮田 信司
 教授 吉光 誠之
 教授 脇岡 宗一(総一)
 准教授 玉木 尚之
 准教授 前田 克治
 准教授 吉岡 一洋
 講師 阿部 鉄太郎
 講師 野角 孝一

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 生涯教育課程 スポーツ科学コース

教授 神家 一成
 教授 駒井 説夫
 教授 野地 照樹
 教授 本間 聖康

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

准教授 矢野 宏光 研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 生涯教育課程 生活環境コース

教授 赤松 直
 教授 裏垣 博
 教授 田村 和子
 教授 普喜 満生
 教授 藤本 富一
 准教授 伊谷 行
 准教授 森田 美佐
 准教授 山崎 聡

研究内容は、学校教育教員養成課程と同様

教育学部 附属教育実践総合センター

准教授 古口 高志 ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
 准教授 田邊 重任 道德教育の方法に関する諸問題の研究
 講師 島田 希 授業研究、カリキュラム開発および教師の力量形成に関する研究
 講師 横山 卓 子どもの発達の社会学、逸脱行動の社会学、地域防犯活動の社会学

理学部 理学科 数学コース

教授 大坪 義夫 非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
 教授 下村 克己 安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
 教授 諸澤 俊介 複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
 教授 野間口 謙太郎 制約条件下の統計的推測、不完全データの統計的推測
 教授 逸見 豊 高次元多面体の研究、代数的方法を用いたポロゾーの研究
 教授 福間 慶明 代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
 准教授 池田 徹 3次元多様体論、結び目理論
 准教授 大浦 学 符号、不変式、モジュラ形式の境界部分
 准教授 小野寺 栄治 偏微分方程式、幾何解析
 准教授 小松 和志 準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
 准教授 土基 善文 非可換代数幾何学、非可換環論
 助教 三角 淳 相転移を含む確率モデル

理学部 理学科 物理科学コース

教授 飯田 圭 高密度物質の理論
 教授 津江 保彦 強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
 教授 西岡 孝 極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
 教授 松村 政博 核磁気共鳴・核四重極共鳴による磁性、超伝導の研究
 教授 中村 亨 超高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
 准教授 加藤 治一 遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
 准教授 島内 理恵 燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
 講師 北川 健太郎 超高圧下での核磁気共鳴技術の開発と固体電子物性・超伝導の研究
 助教 仲野 英司 理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など

理学部 理学科 生物科学コース

教授 石川 慎吾 植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
 教授 遠藤 広光 魚類の分類・系統学に関する研究
 教授 奥田 一雄 植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
 教授 佐々木 邦夫 魚類の形態学に関する研究
 教授 松岡 達臣 原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
 教授 種田 耕二 動物の生理学、動物行動のしくみの研究
 准教授 岡本 達哉 地衣学
 准教授 関田 諭子 渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
 准教授 松井 透 コケ植物の分類を中心に、系統、生態、形態等を研究
 准教授 峯 一郎 藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
 准教授 三宅 尚 花粉分析に基づく後期更新世以降の植生史の解明
 助教 加藤 元海 理論生物学、生命科学や生物学における現象を数学を用いて解明
 助教 児玉 有紀 ミドリゾウムシとクロレラとの細胞内共生成立機構の研究

理学部 理学科 地球科学コース

教授 石塚 英男 太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
 教授 臼井 朗 海底鉱物資源の形成過程、形成条件
 教授 近藤 康生 二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
 教授 吉倉 紳一 珪長質マグマ溜まりプロセスと大陸地殻の形成・発展過程の研究
 准教授 岩井 雅夫 南極氷床発達史と海洋生態系の形成・進化に関する研究
 准教授 中川 昌治 四国付加体のマンガン鉱床、資源鉱物の鉱物学鉱床学
 准教授 奈良 正和 フィールド古生態学野外調査にもとづく埋動物の古生態(生痕)に関する研究

理学部 応用理学科 情報科学コース

教授 岡本 竜 知識工学と学習科学
 教授 豊永 昌彦 組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
 教授 中込 照明 量子モナド論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
 教授 村岡 道明 電子情報機器やLSIの設計方法論の研究、データベースの研究
 准教授 伊藤 宗彦 層型空間の開基、多角形の位相的性質

教員紹介

准教授	塩田 研一	暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授	高田 直樹	高性能計算、GPGPU、計算電磁工学、電子ホログラフイ
准教授	本田 理恵	データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授	森 雄一郎	フジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師	三好 康夫	学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
助教	鈴木 一弘	離散数学とその応用(グラフ理論、離散幾何学、情報セキュリティ)

理学部 理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース

教授	藤山 亮治	反応速度および分子軌道計算による有機反応機構解析
教授	北條 正司	非水溶媒環境下における溶存化学種の同定と定量
教授	米村 俊昭	新規機能性錯体および生体系モデル錯体の開発と評価
教授	渡辺 茂	有機—無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
准教授	上田 忠治	新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
准教授	金野 大助	有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
助教	永野 高志	有機合成化学、有機金属化学、新規触媒的有機分子変換反応の開発
助教	波多野 慎悟	ブロック共重合体の合成と自己組織化を利用したナノ構造体作製
助教	松本 健司	天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

教授	市川 善康	天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
教授	川村 和夫	海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究
教授	鈴木 知彦	グアニジノキナーゼの構造、機能および進化
教授	藤原 滋樹	動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
准教授	中野 啓二	有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授	湯浅 創	酵素の生化学と分子進化
講師	宇田 幸司	酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師	砂長 毅	群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

理学部 応用理学科 災害科学コース

教授	佐々 浩司	模擬実験による竜巻・ダウンバーストの解明、メソ気象擾乱の観測
教授	田部井 隆雄	GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
教授	村上 英記	地震火山活動に関連する流体の研究、内月部構造の研究
教授	横山 俊治	斜面災害の野外科学、テーマ:四国山地は尾根から裂ける
准教授	橋本 善孝	沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用
准教授	松岡 裕美	浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
講師	村田 文絵	バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究
助教	藤内 智士	地質調査と数値解析を用いた断層周辺の応力場に関する研究

理学部 附属高知地震観測所

准教授	久保 篤規	斜め沈み込みによる四国周辺における地震発生の力学および媒質の研究
-----	-------	----------------------------------

理学部 附属水熱化学実験所

教授	柳澤 和道	水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分
准教授	梶芳 浩二	水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
講師	恩田 歩武	バイオマス資源から有用な有機化合物に変換する触媒化学

医学部 医学科 解剖学

教授	由利 和也	神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授	大迫 洋治	社会性発現における脳内メカニズムの解析
准教授	平野 伸二	神経回路形成および形態形成における細胞接着分子の役割
助教	内田 有希	中枢神経系におけるステロイドホルモンの作用機構
助教	Zinchuk Vadim S.	毛細血管における輸送体の解析
助教	山口 奈緒子	ストレス反応を調節する脳内分子の解剖学的研究

医学部 医学科 病理学・病理学兼病理診断部

教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
教授	李 康弘	発がんのメカニズムとその遺伝的修飾の研究
准教授	小山内 誠	古くて新しいビタミンの病理:ビタミンで癌を治療する?
准教授	竹内 保	腫瘍発生進行の分子メカニズムを病理学的視点より研究
助教	井口 みつこ	人体病理
助教	倉林 睦	人体病理
助教	戸井 慎	人体病理
助教	中嶋 絢子	人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授	梶 秀人	絆の神経生物学
准教授	奥谷 文乃	においや味の情報は脳でどのように処理されているか
助教	谷口 睦男	香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
助教	村田 芳博	化学感覚情報に基づく記憶形成のメカニズム

医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授	佐藤 隆幸	心臓病の新しい治療法の開発
----	-------	---------------

准教授	柿沼 由彦	細胞内アセチルコリン産生系の細胞代謝機能制御に関する基礎研究
助教	有川 幹彦	アセチルコリンの心筋保護作用の分子機構に関する研究
助教	野口 達哉	動脈硬化性疾患に対する薬物的な血管新生の誘導

医学部 医学科 生化学

教授	本家 孝一	遺伝子を超えた生命の不思議—生体膜のダイナミズムとはたらき
准教授	戸田 勝巳	エストロゲンの生理作用の解析
助教	久下 英明	神経分化に関わる生理活性脂質、中枢性尿崩症の病因
助教	宮原 馨	精子形成における遺伝子の発現調節

医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授	麻生 悌二郎	遺伝子発現調節と生命現象(発生、分化、発癌等)との関連の解明
助教	安川 孝史	転写伸長因子の発生・分化における役割の解明、タンパク質修飾

医学部 医学科 生体分子構造学

准教授	三木 洋一郎	よりよい医学教育方法の探究、タンパク分子の計算機シミュレーション
-----	--------	----------------------------------

医学部 医学科 薬理学

教授	横谷 邦彦	ストレスにおける交感神経—副交感神経系の脳内賦活機構に関する研究
講師	清水 孝洋	脳内大麻によるストレス反応制御機構の解明
助教	田中 健二郎	交感神経系賦活に関与する視床下部の脊髄投射性ニューロンの解析
助教	谷内 恵介	膵臓がんペプチドワクチンの開発

医学部 医学科 微生物学

教授	大畑 雅典	ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
准教授	松崎 茂展	バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教	今城 雅之	メルケル細胞ポリオーマウイルスに関する研究
助教	内山 淳平	バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教	村上 雅尚	腫瘍ウイルスによる発がんおよび癌転移抑制蛋白による制御メカニズムの解明

医学部 医学科 寄生虫学

准教授	是永 正敬	寄生虫学、寄生虫感染防御機構の研究
助教	熊澤 秀雄	有害節足動物、および節足動物が介在する寄生虫の生活史

医学部 医学科 免疫学

教授	宇高 恵子	悪性腫瘍に対する免疫応答の研究
准教授	清水 健之	免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明
助教	小松 利広	T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明
助教	藤本 理加	T細胞およびNK細胞の抗原認識

医学部 医学科 法医学

教授	橋本 良明	外傷病理病態、原因性合併侵襲、法アルコール学、自殺予防研究
助教	中西 祥徳	法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教	西村 拡起	体組織中薬物濃度を指標とした病態解析に関する研究
助教	古宮 淳一	自殺予防に関する社会病理学的研究、原因性合併侵襲

医学部 医学科 医療学

教授	菅沼 成文	産業医学と環境医学、とくに職業性呼吸器病
教授	安田 誠史	高齢者の健康維持に関連する要因、がん登録の精度向上
特任准教授	清澤 秀孔	蛋白質をコードしないRNAとエピジェネティクスに関する研究
講師	宮野 伊知郎	高齢者の生活機能維持に関連する要因
助教	柴徳 勝光	肺疾患とエピジェネティクスの関連性の研究
助教	弘田 量二	アレルギー刺激の少ない生活環境作りを目指した総合的予防医学的研究

医学部 医学科 医療管理学

教授	小林 道也	消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法臨床試験
講師	岡本 健	大腸、消化器腹腔鏡手術

医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

教授	阿波谷 敏英	地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的意義
准教授	松下 雅英	高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
特任助教	森尾 真明	健康促進における地域を基盤とする参加型アクションリサーチ

医学部 医学科 災害・救急医療学(寄附講座)

教授	長野 修	災害医学教育、救急医学教育、重症患者管理
----	------	----------------------

医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授	高田 淳	高齢者の心血管疾患に関する研究
----	------	-----------------

医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)・光学医療診療部

教授	西原 利治	肝癌抑止と生活習慣病研究
准教授	岩崎 信二	原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
講師	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療

助教	岡本 宣人	上部消化管の先進医療
助教	小笠原 光成	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
助教	耕崎 拓大	胆膵疾患の先進治療
助教	高橋 昌也	肝癌の集約的治療
助教	藤村 靖子	非アルコール性脂肪性肝疾患の分子遺伝学的研究
助教	東谷 芳史	下部消化管の診断と治療
助教	廣瀬 享	肝硬変の診断と治療
助教	水田 洋	小腸疾患の先進医療

医学部	医学科	内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)
教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授	藤本 新平	糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
准教授	西山 充	食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師	井上 眞理	動脈硬化進展機序と進展抑制についての研究
助教	井上 紘輔	造影剤症における尿中バイオマーカーの研究
助教	岡崎 瑞穂	長寿関連遺伝子サーチュインを活性化する因子の探索
助教	香川 亨	降圧薬の腎細胞保護効果と慢性腎臓病治療への応用
助教	高田 浩史	インスリン抵抗性の分子機序の解明と新規治療法の研究
助教	田口 崇文	ホルモン産生腫瘍に対する新規分子標的療法の確立
助教	次田 誠	生活習慣病発症における分子機序の解明と新規治療の開発
助教	西 勇一	糖尿病におけるインスリン分泌障害の機序の解明

医学部	医学科	血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)
教授	横山 彰仁	呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	池添 隆之	新規白血病治療法の開発および凝固異常症の病態解明
講師	砥谷 和人	造血器腫瘍の治療
助教	大西 広志	閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	酒井 瑞	呼吸器疾患の病態・治療
助教	竹内 麻子	新規白血病治療法の開発
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の治療
助教	宮本 真太郎	呼吸器疾患の病態・治療
助教	山根 高	呼吸器疾患の病態・治療

医学部	医学科	老年病・循環器・神経内科学・内科(老年病・循環器・神経)
教授	土居 義典	心筋症および老年者の心血管病に関する研究
准教授	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症
講師	古野 貴志	虚血性心疾患、心筋症
講師	松村 敬久	心エコー図学、心筋症
助教	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	谷岡 克敏	虚血性心疾患
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患
助教	山崎 直仁	心臓病の身体所見(心音、心機能)

医学部	医学科	小児思春期医学・小児科・周産母子センター
教授	藤枝 幹也	移植後の感染症とPTLDの発症に対する予防と対策
講師	久川 浩章	小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
講師	細川 卓利	小児の血管炎と動脈硬化での好中球関与についての病理学的検討
助教	荒木 まり子	造血幹細胞移植における二次性免疫不全の病態について
助教	大石 拓	小児気管支喘息長期管理のアドヒアランス向上の為の研究
助教	佐藤 哲也	ヘルペスウイルス感染と宿主免疫応答
助教	堂野 純孝	小児悪性疾患患者の免疫能について
助教	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
助教	満田 直美	乳児期の機会疫学と発達障害の関連性について
助教	山本 雅樹	先天性心疾患および不整脈、心臓電気生理に関する研究

医学部	医学科	神経精神科学
教授	井上 新平	統合失調症・うつ病などの心理教育的家族療法。地域精神医療
准教授	下寺 信次	精神疾患の心理療法和国際共同研究、中高生のメンタルヘルス
講師	上村 直人	認知症と自動車運転
講師	藤田 博一	統合失調症、気分障害の心理教育
助教	掛田 恭子	精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育
助教	永野 志歩	発達障害児への支援、女性心身医学
助教	藤 美佳子	一般精神医学
助教	諸隈 一平	気分障害の心理教育

医学部	医学科	皮膚科学・皮膚科
教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	樽谷 勝仁	乾癬、先天性角化症、表皮細胞生物学
講師	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機序の解明、上皮細胞の生物学
助教	高田 智也	白斑、乾癬性関節炎の画像評価、抗がん剤による皮膚障害

助教	中島 英貴	メルケル細胞癌におけるポリオーマウイルスの関与
助教	山本 真有子	関節症性乾癬
助教	横川 真紀	日光角化症、皮膚癌、皮膚美容

医学部	医学科	放射線医学・放射線科
教授	小川 恭弘	増感放射線療法KORTUCを開発しその臨床応用の拡大ならびに非手術乳房温存治療
准教授	西岡 明人	頭頸部癌・食道癌・膵臓癌等の放射線治療
講師	久保田 敬	画像診断、超音波診断(乳腺、甲状腺)
助教	大西 剛直	核医学検査、PET-CT検査
助教	刈谷 真爾	放射線による癌細胞死のメカニズム、前立腺癌の放射線治療
助教	田所 導子	心臓CT、心臓MRI
助教	田村 泰治	動脈性出血や悪性腫瘍に対するIVR(インターベンショナル・ラジオロジー)
助教	山西 伴明	放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発

医学部	医学科	外科学(外科1)・外科(一)
教授	花崎 和弘	肝胆膵、新しい人工臓器の開発、肝再生医療研究
准教授	杉本 健樹	乳腺・内分泌、新しいセンチネルリンパ節生検法の開発、マンモグラフィ遠隔診断
講師	岡林 雄大	肝胆膵
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術
助教	市川 賢吾	肝胆膵、一般外科
助教	尾崎 信三	乳腺・内分泌
助教	北川 博之	食道、一般外科、食道癌の胸腔鏡手術
助教	駄場中 研	乳癌、大腸、消化器一般外科

医学部	医学科	外科学(外科2)・外科(二)
教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
講師	西森 秀明	胸部大動脈手術の低侵襲化
助教	穴山 貴剛	肺癌薬剤感受性決定遺伝子に関する研究
助教	岡崎 泰長	内視鏡手術とロボット手術
助教	岡田 浩晋	超音波が下経気管支の穿孔吸引法による肺癌縦断リンパ節転移のEGFR遺伝子変異検査
助教	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み
助教	栗山 元根	遊離皮弁における再灌流障害について
助教	福富 敬	腹部動脈瘤手術時の血圧調節
助教	山本 正樹	心筋虚血再灌流障害のメカニズム
助教	吉田 行貴	乳房再建に関する形態学的研究

医学部	医学科	麻酔科学・麻酔科蘇生科
教授	横山 正尚	疼痛の機序、周術期管理、集中治療、局所麻酔薬
准教授	山下 幸一	周術期における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
講師	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
助教	廣橋 美穂	「麻酔の質」について、特に術後疼痛・副作用対策など
助教	矢田部 智昭	周術期血糖管理における人工臓器の有用性に関する研究

医学部	医学科	産科婦人科学・産科婦人科・周産母子センター
教授	深谷 孝夫	生殖・生理学・生殖内分泌学
准教授	前田 長正	子宮内膜症の発症メカニズムに関する研究
講師	池上 信夫	周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
講師	泉谷 知明	子宮内膜症に関する研究～基礎から臨床まで～
助教	國見 祐輔	子宮内膜症の癌化
助教	都築 たまみ	子宮内膜症の基礎と臨床
助教	松島 幸生	子宮内膜症の基礎と臨床、周産期(胎児超音波診断)
助教	渡邊 理史	脳脊髄液と子宮内膜症のサイトカインから痛みの機序を究明する

医学部	医学科	整形外科・整形外科
教授	谷 俊一	圧迫による脊髄麻痺・神経麻痺の電気診断法と治療法の開発
講師	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
講師	川崎 元敬	骨転移や運動器疾患に対するMRガイド下集束超音波治療法の開発
講師	木田 和伸	脊椎脊髄病、電気生理学的診断
講師	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
助教	谷脇 祥通	手の外科、マイクロ手術の臨床研究
助教	福田 剛一	股関節疾患の臨床研究

医学部	医学科	眼科学・眼科
教授	福島 敦樹	眼免疫疾患発症機序の解析
准教授	福田 憲	眼アレルギーにおける角膜障害の解明
講師	岸 茂	眼循環
助教	小松 務	緑内障
助教	角 環	前眼部疾患
助教	多田 憲太郎	前眼部疾患、網膜硝子体疾患
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、血管新生黄斑症の治療

教員紹介

医学部	医学科	耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科
教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態説明、睡眠時呼吸障害
助教	青井 二郎	頭頸部癌に対する集学的治療
助教	池永 弘之	嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教	西窪 加緒里	音声障害および嚥下障害の診断と治療
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中枢調節機能
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺におけるウイルス動態

医学部	医学科	脳神経外科学・脳神経外科
教授	清水 恵司	悪性脳腫瘍に対する分子標的・遺伝子治療、神経再生医療、てんかん、頭痛
准教授	中城 登仁	間脳下垂体腫瘍の臨床研究、脳血管障害の病態解析
講師	藤本 康倫	新たな神経内視鏡手術の開発、脳腫瘍の新たな治療法の開発
助教	川西 裕	悪性脳腫瘍に対する分子標的治療
助教	中居 永一	ヒトGlioblastoma由来の腫瘍幹細胞の分析
助教	東 洋一郎	脳内免疫応答におけるグリア細胞の機能解析
助教	政平 訓貴	再生医療への応用を目指した神経細胞運命決定機構の解析
助教	八幡 俊男	ゲノムの可塑性の制御に着目した発ガン機構の解明

医学部	医学科	泌尿器科学・泌尿器科
教授	執印 太郎	VHL病抑制遺伝子の異常の解析
准教授	井上 啓史	癌浸潤、癌転移、血管新生における分子生物学
講師	鎌田 雅行	腎細胞癌におけるVHL遺伝子の機能解析
助教	蘆田 真吾	悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの機能解析
助教	辛島 尚	癌の浸潤、転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
助教	佐竹 宏文	進行度、悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの探索
助教	西川 宏志	バクテリオファージを用いた感染症治療研究
助教	安田 雅春	バクテリオファージを用いた感染症治療研究

医学部	医学科	歯科口腔外科学・歯科口腔外科
教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
准教授	山田 朋弘	顎顔面の先天異常および変形症に関する研究
助教	大野 清二	口腔扁平苔癬の病因解明に向けての基礎的検討
助教	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
助教	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF-1αの機能解析
助教	吉村 友秀	口腔癌におけるマイクロRNAの解析

医学部	医学科	病態情報診断学
教授	杉浦 哲朗	循環器疾患における生理機能検査の意義
准教授	公文 義雄	生活習慣病と動脈硬化性疾患、およびリウマチに関する研究
助教	上岡 樹生	ウイルス発症・結核感染の検査

医学部	附属病院	検査部
講師	竹内 啓晃	ヘリコバクター関連疾患の病態解析、耐性菌対策、百日咳疫学調査
講師	山崎 文靖	低血圧、高血圧の診断、治療

医学部	附属病院	手術部
講師	山崎 一郎	CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究

医学部	附属病院	放射線部
講師	野上 宗伸	PETをはじめとする核医学的手法を用いた画像診断に関する研究
講師	濱田 典彦	カンコンキン CT 診断学

医学部	附属病院	救急部
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部	附属病院	輸血部
講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部	附属病院	集中治療部
講師	割石 精一郎	心臓血管外科における低侵襲化に関する研究
助教	井本 明伸	周術期管理におけるアミノ酸の有用性に関する研究
助教	福永 賢予	周術期の疼痛管理について

医学部	附属病院	リハビリテーション部
准教授	石田 健司	リハビリテーション医学と介護福祉機器の研究
助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部	附属病院	総合診療部
教授	瀬尾 宏美	臨床技能トレーニングにおける教授法や評価法に関する研究
准教授	武内 世生	感染対策、心のケア、HIV診療、医学教育、総合診療

講師	小松 直樹	肺癌における癌抑制遺伝子の新規候補の発見とその機能解析
助教	上原 良雄	細菌-細菌間の相互干渉に関する研究、市中黄色ブドウ球菌の疫学調査
助教	北村 聡子	総合診療、循環器不整脈治療、禁煙外来

医学部	附属病院	病理診断部
准教授	弘井 誠	造血器疾患の臨床病理学的研究
講師	松本 学	人体病理

医学部	附属病院	薬剤部
教授	宮村 充彦	臨床薬理学、天然物化学

医学部	医学科	英語
講師	ダニエルリプル	日本の古典音楽とアイルランドの民族音楽の比較

医学部	医学科	体育
講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部	医学科	分子細胞生物学
教授	富永 明	免疫担当細胞、サイトカインによる生体制御機構の解明、海洋生物資源による免疫応答の調節
准教授	久保田 賢	住民の健康づくりを支援する地域統合栄養ケアシステムの構築
准教授	田口 尚弘	ヒト癌遺伝子解析、霊長類・住血吸虫・サンゴDNAマーカー作製

医学部	医学情報センター	
教授	奥原 義保	医療情報システム、医療情報データの解析
准教授	畠山 豊	医療情報解析、医療画像処理に関する研究
講師	渡部 輝明	予防医学における医療情報データベースを利用した研究
助教	片岡 浩巳	医療情報データベースからの知識発見に関する研究
助教	中島 典昭	医療情報データベース解析、医療情報システムの研究

医学部	先端医療学推進センター	
講師	沈 淵	組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復
助教	飯山 達雄	トランスレーショナルリサーチ、EBM、臨床研究デザイン、腫瘍免疫
助教	王 飛霏	組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復
助教	山下 竜幸	組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復

医学部	看護学科	基礎看護学
教授	吾妻 健	環境と遺伝から見たヒトの健康。高齢者のQOL向上。糖尿病ケア
教授	栗原 幸男	保健医療分野でのIT活用と保健医療データベース解析
教授	坂本 雅代	地域に必要な看護技術、看護学教育に関する研究
准教授	池内 和代	超低出生体重児を持つ母親のナラティブとケアの意味に関する研究
准教授	森木 妙子	災害看護と看護の専門性に関する研究
講師	野村 晴香	便秘緩和の看護ケアおよび看護技術教育に関する研究
助教	岡田 久子	知的障害児・者のセクシュアリティ、養護教諭の児童生徒へのケアと教育

医学部	看護学科	臨床看護学
教授	尾原 喜美子	子どもの発達と看護、障害児の家族看護に関する研究
教授	高橋 永子	看護学生の自己受容性および医療安全に関する研究
教授	溝淵 俊二	自然免疫(身体の抵抗力)を活性化する食品の研究・開発
准教授	戸田 由美子	精神科熟練看護師の看護介入および精神看護倫理に関する研究
准教授	山脇 京子	がん患者のサポーティブケア
特任准教授	石上 悦子	子ども虐待の予防に関する研究
講師	青木 早苗	がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究
講師	川島 美保	子どもの居場所、小児家族看護における調和、コーチング、災害看護
講師	小松 輝子	助産師学生の感性に関する研究
講師	濱田 佳代子	妊娠、出産、育児の支援に関する研究
講師	高橋 美美	健康と看護職(保健師・看護師)について
助教	寺下 憲一郎	がん患者・高齢者の癒しにつながる看護ケアに関する研究
助教	村上 歩	看護学生の親性準備性に関する研究

医学部	看護学科	地域看護学
教授	片岡 万里	高齢者のQOLに関する研究
教授	高尾 俊弘	ストレスと生活習慣(病)に関する研究
講師	齋藤 美和	へき地に関する研究、看護管理学に関する研究
講師	杉本 加代	高齢者が地域で生活継続するための保健に関する研究
講師	藤田 晶子	病院から在宅への移行期の看護、チームケアと看護の役割
助教	小笠原 木綿	摂食・嚥下障害をもつ高齢者看護と評価の視点に関する研究
助教	林 昌子	脳卒中高齢者の在宅におけるケアに関する研究

農学部	農学科	暖地農学コース
教授	尾形 凡生	果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授	島崎 一彦	花卉の生長と発育の制御、植物の器官研究・県特産花卉の生産研究
教授	村井 正之	稲遺伝、良食味、米粉パン用極多収晩生品種、老人・病院用ご飯、鑑賞用稲
准教授	西村 安代	野菜の養液栽培・生理障害と対策・環境保全型農業に関する研究等

准教授	松川 和嗣	発生工学および分子生物学的手法による土佐赤牛の生産技術の研究
准教授	宮内 樹代史	省エネルギー温室の環境計測・評価、農産物生産・流通システムの最適化
准教授	宮崎 彰	水稲栽培における環境保全技術、水稲の環境ストレス生理
准教授	安武 大輔	植物の輸送現象・生理機能等の研究、園芸施設の省エネルギー化
講師	濱田 和俊	果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師	松島 貴則	労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師	山根 信三	スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

農学部 農学科 海洋生物生産学コース

教授	足立 真佐雄	赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授	大嶋 俊一郎	魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究
教授	關 伸吾	魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
教授	森岡 克司	養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
准教授	足立 亨介	魚介類色素の生化学的解析
准教授	深田 陽久	魚類の成長に関する内分泌学的研究、養魚飼料の評価
准教授	山口 晴生	海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
講師	中村 洋平	魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態

農学部 農学科 食料科学コース

教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授	康 崧梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授	八木 年晴	ビタミンの新規機能、酵素の構造と機能に関する研究
准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 丈弘	食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	乳製品の品質管理技術、食品成分間反応、生体調節機能物質の検索
准教授	村松 久司	産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発

農学部 農学科 生命化学コース

教授	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業開発
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探求
教授	葛西 孫三郎	哺乳動物の生殖細胞・初期胚の凍結保存法開発
教授	木場 章範	植物の防御応答・植物免疫の制御機構の解明
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探求と産業利用
教授	曳地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発

農学部 農学科 自然環境学コース

教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
教授	石川 勝美	パン・適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場
教授	河野 俊夫	流通食品のすり替え偽装防止技術の開発、食品流通資材のリサイクル技術の開発
教授	笹原 克夫	森林斜面からの降雨と土砂の流出、斜面崩壊発生メカニズム
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授	手林 慎一	生理活性物質化学、園芸作物の耐虫性、貯蔵害虫の化学生態学
准教授	福田 達哉	マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

農学部 農学科 流域環境工学コース

教授	大年 邦雄	雨水の挙動・河川に関する土木工学的研究、地下水、水防災
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業施設の構造設計、土木材料の新規開発
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進
准教授	原 忠	液状化や斜面崩壊などの地盤災害に関する工学的研究

農学部 農学科 森林科学コース

教授	大谷 慶人	きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材パルプ・紙
教授	後藤 純一	林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
教授	塚本 次郎	環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン
准教授	市浦 英明	機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授	柴山 善一郎	グリーンルネサンス、さし木ひのき、小さな小さな森づくり
准教授	鈴木 保志	林道の維持管理施設、木質バイオマス資源の収穫方法
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	野口 昌宏	森林資源の有効利用、木造ビルの開発、快適木造住宅
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業産業構造、集落構造

農学部 農学科 国際支援学コース

教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授	大谷 和弘	生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用
教授	益本 俊郎	魚が必要とする栄養素の動きを調べ、餌の開発に利用する研究
教授	山岡 耕作	黒潮圏における魚の生態と幸の形の関係に関する研究
教授	山本 由徳	熱帯有用植物の生理・生態学的特性と利用

准教授	池島 耕	沿岸の環境および生物資源の保全と持続的な利用に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木種子の発芽時の資源分配と定着特性、成長や繁殖に対する役割
准教授	田中 壮太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
准教授	松岡 真如	リモートセンシングデータを用いた陸域(土地被覆や植生)の解析

総合教育センター(人文学部担当)

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授	大槻 知史	持続的な地域運営ビジョンの形成支援・防災、地域活性、遺産保全
准教授	立川 明	化学教育における能動学習の効果・無溶媒脱色反応
准教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
准教授	永野 拓矢	高校と大学の教育接続(進学指導、評価制度等)に関する研究
講師	俣野 秀典	経営戦略、大学経営、高等教育、ナレッジ・マネジメント

総合教育センター(医学部担当)

助教	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
----	-------	-------------------------

総合教育センター(学芸員養成担当)

特任准教授	松島 朝秀	文化財における科学的手法を用いた調査・保存環境の研究
-------	-------	----------------------------

共通教育実施機構(人文学部担当)

教授	辻田 宏	日米スポーツ法、スポーツマネジメント、スポーツサービスマネジメント
----	------	-----------------------------------

総合研究センター(理・農学部担当)

教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
教授	上田 拓史	黒潮流域圏の動物プランクトンの分布、生産、分類
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

総合研究センター(理学部担当)

准教授	斉藤 知己	海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
-----	-------	--------------------------------

総合研究センター(医学部担当)

准教授	津田 雅之	発生工学的手法を用いたマウス生殖細胞確立機構の解明
准教授	坂本 修士	癌化や免疫調節に関与する非翻訳RNAの産生調節に関する研究
助教	都留 英美	自然免疫系細胞を中心とした感染防御システムの解析
助教	杉山 康憲	タンパク質リン酸化を介した細胞内情報伝達機構の解明

総合研究センター(農学部担当)

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
准教授	加藤 伸一郎	遺伝子工学的的手法による含硫化合物合成系の機能解析

総合研究センター

特任教授	岡村 真	津波堆積物および海底活断層から地震の長期予測を行う
------	------	---------------------------

国際・地域連携センター(人文学部担当)

准教授	石塚 悟史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
助教	エバ ガルシア デル サス	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

国際・地域連携センター(教育学部担当)

准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
准教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究

総合情報センター(理学部担当)

准教授	佐々木 正人	状況に適応したアプリケーションに関する研究
助教	石黒 克也	量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学
助教	斎藤 卓也	格子QCD理論を用いたハドロン物理の研究

海洋コア総合研究センター(理学部担当)

教授	小玉 一人	古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探索と開発
教授	安田 尚登	底生有孔虫を用いた深層水循環及び海洋環境変動の研究
教授	村山 雅史	同位体を用いた物質循環の解明と過去の海洋環境復元
准教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
准教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
助教	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

保健管理センター

教授	岩崎 泰正	ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	渋谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築
講師	北添 紀子	児童期・青年期の精神保健に関する研究

国立大学法人では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

履修の特徴

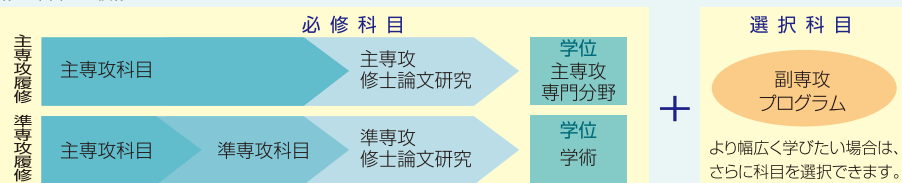
修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修
所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得
各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

修士課程の履修システム



<準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の2つの準専攻履修制度が設けられています。

■黒潮圏総合科学準専攻

黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により培った領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。

■植物医学準専攻

植物科学の広汎な知識を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

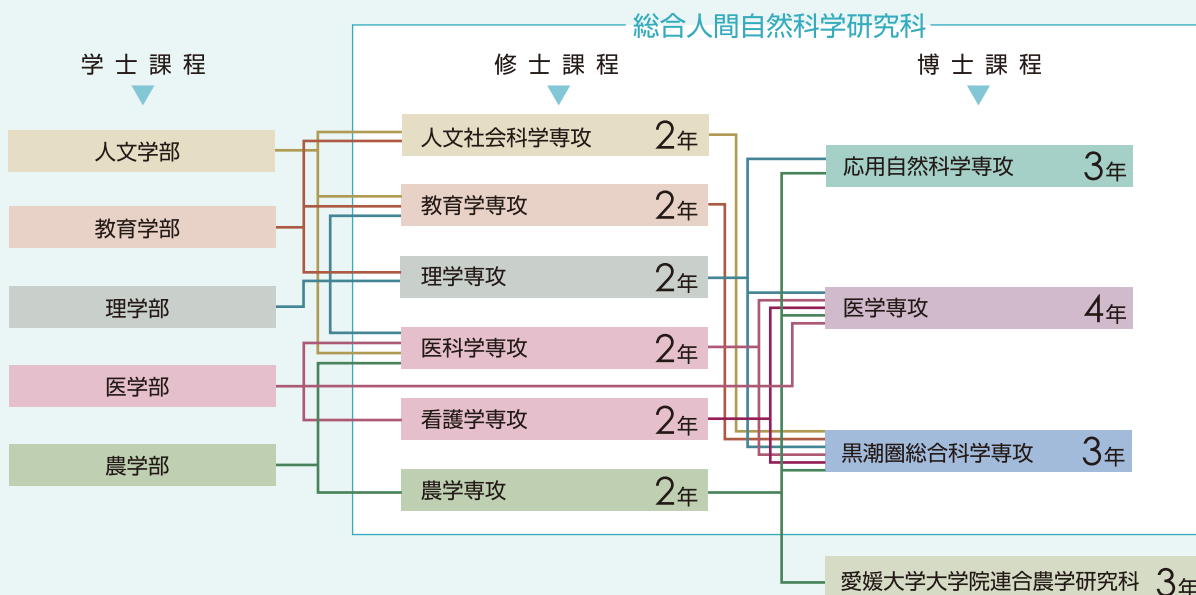
<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意されたレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例

「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学 (ISK)」「現代教育学」

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献しうる人材を養成します。

- 地域・日本研究コース
 - 国際交流研究コース
 - 人間学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校をはじめとする教育現場に数多くの複雑な問題を引き起こしており、教育に携わる専門教員にはそうした様々な課題に対応できる高度な実践的指導力が求められています。本専攻では、ひろく人間発達や教科内容に関わる学問的実践的な知識を有しながら、教育・学校現場の抱える課題を正確に判断して適切に対応するとともに、新たな教育実践を学習者と共に創造することができる省察的実践家としての教育専門職員を養成します。

- 学校教育コース
 - 特別支援教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員30名

理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学をつくり出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮できる人材を養成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

遺伝子療法・再生医療・生殖医療などの先端医療が形成される一方で、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。そうした状況に的確に対応するためには、自然科学のみならず人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。そこで本専攻では、自然科学系学部(理学・農学・薬学・工学など)や人文科学系学部(心理学・社会学・経済学・教育学など)を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者、更には社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を養成します。

- 医科学コース
 - 情報医科学コース
- } 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース
- 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術をあわせ持つ人材を養成します。

- 農学コース
- 定員59名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、自然科学と人間科学のパラダイムをも取り入れた教育研究体制を構築することにより、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
 - 情報医療学コース
 - 小児神経精神医学コース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 人間科学コース
 - 共生科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。高知大学は、大学独自の奨学金制度を設け、海外への留学・外国人留学生を支援しています。

国際交流協定校 2012.4.1現在

現在高知大学では、アメリカや中国など19の国と地域、68の大学、研究所と国際交流協定を結んでいます。

大学間協定



部局間協定

人文学部	韓国 中国	釜山外国語大学校日本語大学 東国大学校文科大学 天津科技大学経済与管理学院	農学部	タイ インドネシア 韓国	タイ 農林水産省水産庁 インドネシア科学技術省技術評価応用庁 国立忠北大学校農業生命環境大学 国立慶尚大学校農業生命科学大学院
教育学部	韓国 ベトナム スウェーデン	東国大学校文科大学 ロモノソフ初等中等高等学校 スウェーデン王国オイレショー特別学校	黒潮圏	中国	浙江大学生物系統工程及び食品科学学院
理学部	ボリビア イタリア オーストラリア タイ	ラ・パス大学理学部 パドバ大学理学部 モナッシュ大学グリーンケミストリー研究センター タマサート大学科学技術学部	海洋コア	フィリピン キューバ	フィリピン農業省漁業・水産資源局第2地域支所 ハバナ大学海洋研究所
医学部	中国 アメリカ 台湾	首都医科大学口腔医学院 ハワイ大学医学部 国立台湾大学	海洋コア	韓国 台湾 中国	韓国地質資源研究院石油海洋資源部 中央研究院地球科学研究所 中国科学院地球環境研究所

国際連携室

外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができるので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてください。

国際連携室からアドバイス

大切なのは、何のために留学するのか、どういうことを学びたいのかという目的意識です。それさえしっかり持っていれば、あとはスタッフが精一杯サポートします。まずは気軽に相談しに来てください。

留学生の派遣実績

6カ月以上の派遣	2009年度	2010年度	2011年度
公費留学	2名	2名	2名
私費留学	9名	10名	12名

6カ月未満の派遣(研修を含む)	2009年度	2010年度	2011年度
派遣数	86名	111名	123名

派遣国 オーストラリア、中国、カナダ、タイ、韓国、フィリピン、スウェーデンなど

外国人留学生の受入状況(2012.4.1現在)

受入学生数: 137名



外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。来日後間もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー(友人)となってアドバイスをするパートナーシップなどがあります。

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス(医学部)及び物部キャンパス(農学部)に設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

海外留学について

留学の形態

留学扱い ※

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定され、留学期間中の高知大学の授業料は免除されません。

※留学先の大学で修得した授業の単位は、協定校への留学のみ、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

休学扱い

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定されず、留学期間中の高知大学の授業料は免除されます。

留学費用

公費留学

私費留学

民間団体の奨学金による留学

私費留学

民間団体の奨学金による留学

留学の種類

短期留学

- 期間: おおむね半年~1年
- 留学先: 学生交流に関する協定などを結んだ大学
- 国が奨学金を支給

その他

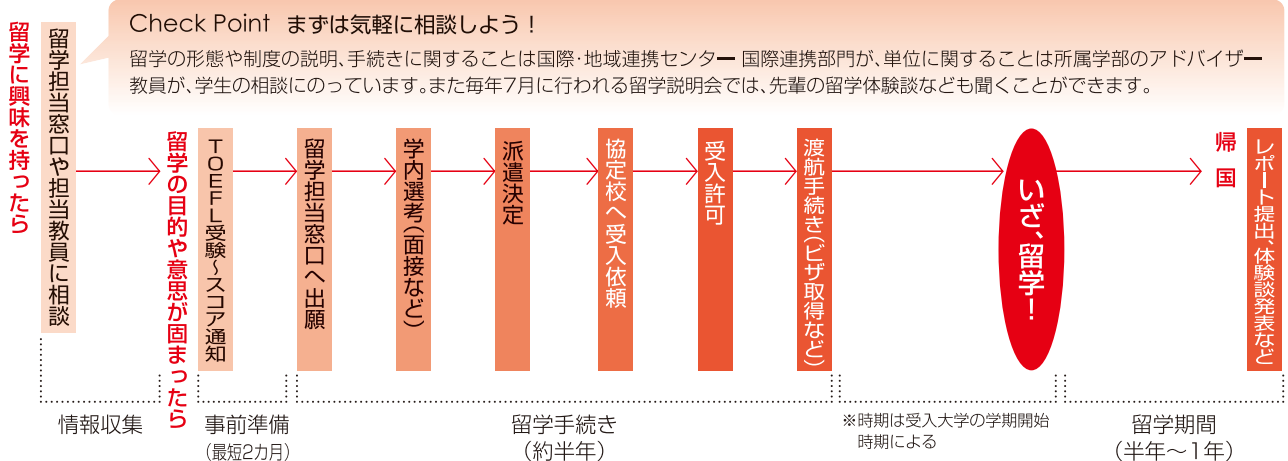
外国政府または政府機関などの奨学金によるもの

留学する際の条件

各大学によって、受け入れる学生に対する条件はまちまちです。特に外国語の能力については、留学を乗り切るものにするために、事前に外国語の能力を一定の水準にまで高めておくなど、十分な準備が必要です。

海外留学の流れ(協定校への留学)

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。受験日については、ETS(Educational Testing Service)または、CIEE(国際教育交換協議会)のホームページで確認してください。

留学における学び

異文化の中に身を置き学ぶことは、人生においてかけがえのない経験となります。ここでは、海外留学を体験した学生の留学レポートを紹介します。



3週間の語学研修クラスのメンバーと



週末に遊びに行ったサンシャインコーストのビーチ



St Luciaキャンパスの芝生広場にて

クイーンズランド大学に留学して

クイーンズランド大学(UQ)は、オーストラリア第三の都市、ブリスベンにあり、クイーンズランド州最古の歴史ある大学です。3つのキャンパス



St LuciaキャンパスにあるForgan Smith Building

があり、私は、一番大きいSt Luciaキャンパスで学びました。学部生の数はおよそ30,000人、大学院生は約10,000人で、これは高知大学のおよそ7倍にあたります。これだけ規模の大きな大学なので、大学の敷地内にはいくつもの図書館、映画館、レストランや本屋まであり、施設がとても充実しています。また、留学生が多く学んでいることもUQの特徴です。人数も多いため、英語のネイティブでないからといって提出物やテストの採点が甘くなることはありません。しかし、留学生のサポートも充実しています。学生は皆大学の勉強にとっても熱心で、図書館は学期中常に混んでいます。私は、1学期目は学術ライティングやオーストラリアの歴史、2学期目は言語学の授業を受講していました。1学期に取る授業の数は日本の大学よりも少ないですが、毎週出される課題の量はとても多く、テストも頻繁にあり、授業についていくのは大変でした。教科書の予習復習

やオンラインの講義を聴き直したりするのに、24時間開いている図書館に通い、よく夜遅くまで友達と勉強していました。1つの授業について深く勉強するので勉強の内容に興味が出てきて、面白くなってきました。

また、大学の寮に入ったことも、よい経験になったと思います。いろいろな国から来た学生と食事を共にしたり、一緒に勉強したり、週末に遊びに行ったりしたこと、この留学生活がとても楽しいものになりました。毎日、友達と喋ることがとても楽しくて、それが自然と英語の上達にもつながったのではないかと思います。寮で一緒に過ごした友達とは、それぞれの国に帰っても、連絡を取り合っています。

10か月の留学生生活を終えて思うことは、やはり留学に行ってもよかったなということです。交換留学がしたくて、高知大学に入りましたが、自分の英語力のなさに何度もあきらめようかと思いました。けれど、最後まで英語圏への留学にこだわったことで、英語を学びに留学するのではなく、英語を使って海外の大学で勉強することができました。自分が大学生活でやりたかったことができ、アドバイスを下さった先生方、いろいろとやさしい手続きを進めて下さった国際連携室の皆さま、いろいろな面でサポートしてくれた両親に感謝しています。

人文学部

国際社会コミュニケーション学科3年
谷 咲枝 (兵庫県立宝塚北高校出身)

クイーンズランド大学

1909年に設立されたクイーンズランド州最古の大学であり、オーストラリアの名門大学として、世界各国から学生が集う国際色豊かな大学です。

- 学部数 人文学部、商経法学部、工学/建築/情報工科学部、健康科学部、天然資源/農学/獣医学部、理学部、社会/行動科学部の7学部
- 学内施設 クイーンズランド大学4キャンパスには全部で15の図書館があり、約250万冊の本や、数万の電子書籍、電子雑誌が所蔵されています。また、体育館やテニスコート、オリンピック基準のプールといったスポーツ施設、レストラン、売店、本屋、銀行、郵便局、映画館などがあり、就学環境は大変整っています。
- 敷地面積 St. Lucia キャンパス(メインキャンパス)114ヘクタール

海外実習での学び

留学以外にも、世界の現状に触れる機会がたくさんあります。授業として行われている海外実習の一部を紹介します。

常夏の島ハワイでアメリカの医療を体験 ~臨床実習~

ハワイ大学医学部臨床実習 医学部 医学科・専門科目

ハワイ大学やKuakini Medical Center(ハワイ大学の臨床実習病院)で4週間の臨床実習を経験します。現地医師の指導のもと、はじめに米国式身体診察の研修を受け、その後、17日間の内科病棟実習、次に8日間の家庭医療実習プログラムに参加します。病棟実習では、数多くの症例を経験するとともに、日常的に組み込まれている教育講義を通じて学びます。家庭医療実習では外来診療に加え往診にも同行するなど、異文化が混在するハワイで、医療チームの一員として実践的教育を受けることができる充実したプログラムです。

担当教員:小林 道也教授
医学部 医学科



身体検診を学ぶ



他大学からの参加者との交流

熱帯・亜熱帯の農、林、水産の現場を巡る ~海外FS実習~

海外フィールドサイエンス実習 農学部 農学科 国際支援学コース・専門科目

この実習では、高知大学と交流協定を結んでいるアジアの大学を訪問し、農林水産業に関する実習を行いながら、その国の環境や文化についての知見を深めます。平成23年度は、国際支援学コース2年生18名がタイとマレーシアを訪問し、タイではカセサート大学、マレーシアではUPMの協力のもと実習を行いました。

担当教員:山岡 耕作教授
農学部 農学科 国際支援学コース



ワットアルンの急階段



キャンピーウォーク

学びの環境 — 教育研究施設

Educational Research Facilities

キャンパスには、学生の主体的な学びを支える様々な施設や設備が用意されています。また、自ら学ぼうとする学生の意欲やニーズに応え、利用しやすいシステムやサポートの体制を充実させています。



総合情報センター(図書館)中央館

あさくら
ASAKURA campus

メディアの森 図書部門／情報部門

近代的な外観が特徴的な「メディアの森」。ここでは様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっています。

図書部門



レファレンスコーナー

全館の所蔵図書約74万冊、学術雑誌約19,000種を超える膨大な資料は、オンラインで検索可能。学外の書籍や資料、論文も、ここで申請して取り寄せてもらえます。



開架閲覧室

蔵書は2階から5階まで分野別に整理されています。



雑誌コーナー

もちろん、話題の新刊や一般雑誌も豊富です。



キャレル



グループ学習室・個室

新入生アンケートでも毎年好評の1人用学習スペースです。3人から10人利用できるグループ学習室もあります。

情報部門



情報コンセントコーナー

高知大学ではノートパソコンが必携で、キャンパスのいたるところで学内LANに接続できますが、この端末を使えば、より高速で安定的にネットワークを利用できます。



教育端末室

主に各学部の専門授業で利用しますが、空いている時は自由に使用可能です。



貴重なコレクションも!

ジョン・万次郎が手がけた日本初の英会話入門書「英米対話捷徑」の原本や、18世紀フランスのデイドロとダランベール監修「百科全書」など、貴重なコレクションも所蔵しています。



キャレル



情報コンセントコーナー



勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは無料です。(年間上限枚数まで)



岡豊キャンパス内で目立つ時計塔



キャレルで勉強中







専門雑誌架



専門図書閲覧室

総合情報センター(図書館)医学部分館 **OKO** おこう campus

屋上の時計塔が目印になる岡豊キャンパスの図書館。学習量の多い医学部生のために、開館時間が長いことが特徴です。平日は朝9時から夜20時まで開館しています。夜間等は、許可制のカードキーを使用し、入退館することも可能です。昼夜を問わず情報を必要とする医療人を支援しています。

-  **開架閲覧室**
-  **情報検索コーナー**
-  **グループ学習室・個室**
-  **キャレル**

総合情報センター(図書館)農学部分館

MONOBE ものべ campus








レンガ調の落ち着いた外観



情報コンセントブラウズ室



農場が隣接する、ゆったりとした雰囲気 of 図書館。農学部の学生のみならず、共同研究の研究者や、近隣の農家の方もよく利用する地域に開かれた図書館です。学生のクエストにも積極的に応じています。

-  **開架閲覧室**
-  **情報コンセントブラウズ室**
-  **雑誌コーナー**
-  **グループ学習室・個室**
-  **キャレル**

総合研究棟

あさくら
ASAKURA campus



自学自習室

学部や研究科の枠を超えた教育研究活動の拠点として整備された総合研究棟。

1階の学生ゾーンには、いつでも自由に勉強ができる「自学自習室」や少人数での学習や演習ができる「グループ演習室」があり、いつも多くの学生が利用しています。



個別ブースに仕切られ、静かな環境で学習に取り組みると学生に人気です

オアシス

自律学習支援センター OASIS ASAKURA campus あさくら

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語が自律的に学習できるよう支援しています。



自習コーナー



マルチメディア教室

自習コーナー

メディアの森、総合研究棟と並んで利用度の高い学習スペース。全てのブースに情報コンセントが設置されており、学生のPC持ち込み利用はもちろん、備え付けのデスクトップPCや館内貸出し用のノート型PCの利用も可能です。映画DVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

個別学習室・ペア学習コーナー

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数で利用できます。

マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、TOEIC試験対策講座やグループ学習、授業などにも利用されています。



ペア学習コーナー



語学教材は6000点以上!

TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語と日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。

保健管理センター

あさくら **ASAKURA** campus おこう **OKO** campus ものべ **MONOBE** campus

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。

何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し*、整形外科や婦人科などの専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。

また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。

*物部キャンパスは看護師のみの常駐です

定期的な取り組み

- 健康診断: 全学生対象
- 特殊健診: 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査: インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査: 新生者が対象
- メンタルヘルス講演会

イベントなど

- お料理教室



朝倉



岡豊分室



物部分室



朝倉キャンパス 保健管理センター

二十歳はメタボの曲がり角?! ~今どき大学生の健康事情~

内科医である岩崎泰正センター所長に、最近の大学生の健康状態についてお聞きしました。「最近増えているのは『若年メタボ』。1、2年生のうちは運動量も多いけれど、実験や卒業で忙しくなる3、4年生になって急に太る学生が目立ちます。一方で、女子学生の『やせすぎ』も気になる問題です。保健管理センターには肥満度や筋肉量を計測する装置もあるので、スポーツジムのような感覚で気軽に利用して、健康なキャンパスライフを送って下さい」



共同利用・共同研究拠点

海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画(IODP)における世界3拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定されました。2010年度からも、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究を行い、我が国主導の地球掘削科学やその関連分野の拠点化・推進を図ることとしています。



学内施設

総合教育センター

総合教育センターには、「大学教育創造部門」・「入試部門」・「キャリア形成支援部門」・「社会協働教育部門」・「修学支援部門」の5部門が置かれ、本学における教育・入試・学生支援のあり方などについて研究・開発・試行・点検・評価を実施し、有為な人材を育成するための仕組みを総合的につくり出すことを目指しています。

大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、自己点検及びFDの企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどにも取り組んでいます。



キャリア形成支援部門

首都圏や関西圏の大学、また学外の諸団体と協働し、キャリア形成に関わる教育などの企画・実施を行ったり、県外での就職活動支援企画を立案・試行しています。



入試部門

入試部門では、入学者の入学後における動向を長期間にわたって追跡的に調査・解析することにより、アドミッションポリシーに基づく入学者選抜方法の妥当性について検証するとともに、それを踏まえた広報活動の方策に関する検討を精力的に推進しています。こうした研究成果を社会に公表することにより、入学者選抜方法に関する社会的説明責任を果たす努力を積み重ねています。



社会協働教育部門

社会協働教育部門では、社会協働教育プログラム及び社会と協働して行う学生支援などの調査研究・開発・試行に関する業務を行います。



修学支援部門

修学支援、正課外教育などの学生生活に関わる諸課題の調査研究及び企画立案を行っています。また、学生ボランティア活動等への支援にも取り組んでいます。



国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与し、高知大学の有する人的資源、知的資産、施設を活用して、地域との緊密な連携を推進することにより、地域における人材の育成、地域イノベーションの創出、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、地域の振興と維持・発展に資することを目的とします。また、アジア・太平洋地域を中心とした世界の国々との学術交流を通じた教育研究活動の活性化に資するとともに、外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し、積極的な支援等を行うことにより、国際社会への貢献及び地域の国際化に寄与することを目的とします。



地域連携・再生部門

高知大学が有する人的・知的資源を駆使することにより、地域との連携を推進し、現場のニーズに応じた課題解決及び地域における人材の育成に貢献するとともに、生涯学習の普及に努め、地域の振興と維持・発展に寄与します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官連携部門

企業、研究機関等との共同研究、受託研究を推進するとともに、教育及び研究の成果を通じて、地域イノベーションの創出、技術開発及び産業の活性化に貢献します。

国際連携部門

教育研究などの国際的な連携及び国際的な大学間交流及び学生交流を推進するとともに、留学生の支援や地域の国際化に寄与します。

総合研究センター

総合研究センターは、人的資源と知的財産を最大限に活用して、全学的な重点研究プロジェクトを支援ならびに推進するとともに、大型実験施設や機器の整備を図ることにより、本学の研究・教育の進展に寄与することを目的としています。このことにより、個性豊かな地域の大学をつくり出すことに貢献しています。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携の3つの機能を持っています。

海洋部門

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類のほかに海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。カルタヘナ法に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、遺伝子組換え実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割を果たしています。

■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化をはかり、本学における教育及び研究の向上、発展に貢献しています。施設には、生化学系、形態系、生理系、免疫系、バイオハザード系の5つの系があり、それぞれの研究に必要な大型機器が完備されており、大学内の研究者がいつでも利用できます。配属職員は、機器の維持管理のほか若手研究者、大学院生向けの技術研修会の開催、地域貢献の一環として毎年高校生を対象にしたサイエンス体験学習教室を開催しています。塩基配列測定などは、学内から送られて来たサンプルを測定し、データをWeb配信するサービスも行っています。

■ RI実験施設 放射性同位元素を用いた実験に関する研究、教育、安全管理を行い、医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊厳・命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



防災部門（南海地震防災支援センター）

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携をはかり、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。



高知大生 Presents

キャンパスライフ

年間スケジュール

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

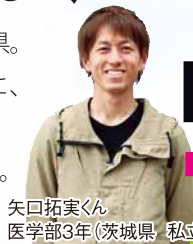
物部キャンパス

サークル紹介

生活費

ようこそ、“おらんく”のキャンパスへ

豊かな自然とあたたかい地域の絆が残る高知県。そのほぼ中央に位置する高知市と南国市に、高知大学の3つのキャンパスがあります。ゴトゴトと路面電車が行き交う学生の街・朝倉。長宗我部氏の城跡と桜が美しい岡豊。360度の空と太平洋が目の前に広がる物部。それぞれのキャンパスにそれぞれのよさや特徴があり、学生たちは充実したキャンパスライフを楽しんでいます。



矢口拓実くん
医学部3年 (茨城県 私立茗溪学園高校出身)

岡豊キャンパス

→ 67p.



田村望さん
医学部3年 (高知県 私立土佐高校出身)

朝倉キャンパス

→ 65p.

物部キャンパス

→ 69p.



糸瀬太志くん
教育学部2年 (長崎県立対馬高校出身)



菅谷満里絵さん
教育学部2年 (高知県立高知追手前高校出身)



水田一樹くん
農学部2年 (高知県立高知小津高校出身)



比江森春花さん
農学部2年 (高知県立高知南高校出身)

ボクたちが紹介します!

年間スケジュール

4

5

6

7

8

9

- 4月1日 学年開始
- 4月10日 1学期授業開始

7月上旬 四国インカレ

- 8月8日～31日 夏季休業
- 9月1日～30日 特別授業期間

4/3 入学式



4月 環境美化活動



こんな個性的なチームがいっぱい!



8/10・11 よさこい祭り(本祭)

鳴子を手に華やかな衣装で踊り歩く、高知の夏の一大イベント!「炎」や「旅鯨人」など多くの高知大学生のチームも、日頃から練習を重ねて祭りに参加しています。踊ったあとの達成感と爽快感はひとしおです!

学祭は 大学生生活の華!!

キャンパスライフの一番の楽しみ、大学祭。高知大学では、朝倉の黒潮祭、岡豊の南風祭の2つの学祭が開催されます。趣向を凝らした展示やイベント、お笑い芸人のライブなど楽しみどころがいっぱいです。



10月下旬~11月上旬 黒潮祭



11月下旬~12月上旬 室戸貫歩

1月上旬 寒中水泳
高知大水泳部主催の伝統行事。氷を抱えて、いざダイブ! 面白いゲームも開催しています!



10月中旬 南風祭

11月上旬 物部キャンパス一日公開

物部キャンパスで、年に1回地域にキャンパス内を開放するイベント。家族連れにも大変好評です。

10

●10月2日
2学期
授業開始

11

フレンドリーコンサート
(医学部附属病院にて)

12

●12月27日~1月6日
冬季休業

1

12月上旬
学長杯争奪駅伝大会

2

●2月8日~28日
特別授業期間

3

●3月1日~31日
学年末休業

3/22 卒業式



学生何でも相談窓口

どこに聞けばいいのか、誰に相談すればいいのか、そういった質問から学生の抱える多種多様な問題にまで幅広く対応するために「学生何でも相談窓口」を設け、窓口への相談の他に、キャンパス内に設置している相談箱や、相談メール専用アドレスにより受け付けています。

■相談窓口

- 朝倉キャンパス TEL 088-844-8149
- 岡豊キャンパス TEL 088-880-2259
- 物部キャンパス TEL 088-864-5116
- E-Mail(全学共通) gsoudan@kochi-u.ac.jp

気軽に相談
ください!

「意欲が持てない、周囲とうまくやれない、休学を考えている、進路で悩んでいる」「高額な契約をしてしまった、カルト団体の勧誘を受けた、人間関係で悩んでいる、アルバイト料を払ってもらえない、交通事故を起こした、経済状況がよくない」など、日常生活で起こるいろいろな問題など、親や友人、そして教員に相談しにくい事柄でも、とりあえず何でも相談できる窓口として利用してもらえます。



これで4年間の食事の 心配なし!!

1日1,000円まで食べ放題の食育ミールカード。2012年度はそれぞれ、178,000円(朝倉)、148,000円(岡豊)、160,000円(物部)で販売して、有効期間は1年間です。



(キャンパスにより営業日、営業時間が異なります) 例えば、朝倉キャンパスのカフェテリア食堂は、月曜日から金曜日は朝8時から夜10時まで、土曜日は11時から夜7時まで営業しているので、1日に何回も利用可能。あらかじめ、食費が確保されていますので、栄養バランスを考えながら食事を摂ることができます。親御さんには食事歴のレポートを1ヶ月ごとにお送りしているので安心ですよ。上手に利用してください。



朝倉 *asakura* キャンパス

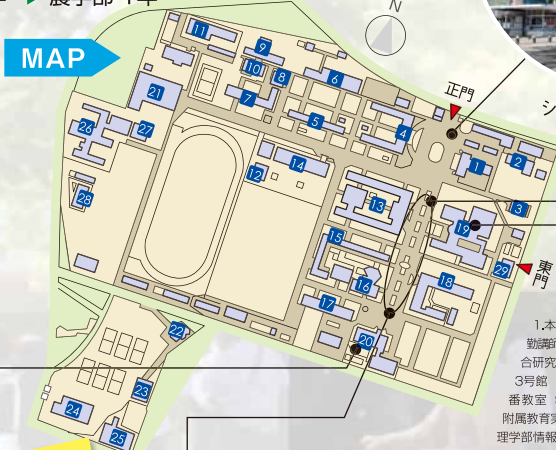


シンボルツリー「おうちの木」
※棟(おうち)=センダン

▶ 人文学部 1~4年 ▶ 教育学部 1~4年 ▶ 理学部 1~4年 ▶ 農学部 1年

充実キャンパスでのびのびライフ

高知市中心部から電車で20分ほどの朝倉キャンパス。人文学部、教育学部、理学部の1~4年生と農学部の1年生が学んでいます。敷地内には学食や図書館のほか、学生の憩いの場も多く、アットホームなキャンパスです。



- 1.本部管理棟(学務部入試課) 2.非常勤講師宿舎 3.保健管理センター 4.総合研究棟 5.教育学部2号館 6.教育学部3号館 7.教育学部4号館 8.教育学部51番教室 9.教育学部音楽棟 10.教育学部附属教育実践総合センター 11.プール 12.理学部情報科学棟 13.実験系総合研究棟・理学部1号館 14.理学部2号館 15.共通教育1号館・学生サービスセンター(学生支援課・就職室・学務課・共通教育) 16.共通教育2号館 17.共通教育3号館 18.人文学部管理棟 19.メディアの森(総合情報センター(図書館)) 20.学生会館(福利厚生施設) 21.北体育館 22.理学部附属高知地震観測所 23.理学部附属水熱化学実験所 24.国際・地域連携センター 25.南体育館 26.教育学部附属特別支援学校校舎 27.教育学部附属特別支援学校 日常生活訓練施設(くじらの家) 28.プール(附属特別支援学校) 29.国際連携室

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル紹介

生活費

おすすめポイント

高知大学生協 IKUS イクス

学生会館の中にある快適なIKUSは、ランチはもちろん授業の空き時間にも大活躍。メニューは週ごとに変わるから、毎日のお昼が楽しみです。

[営業時間]
平日8:00~22:00、土曜11:00~19:00
日曜・祝日休み



IKUSでは、高知嶺北地域の棚田米を使用し、地産地消を推進しています!



ホレンが広場



学生会館前の広場では、よさこいに参加するチームが踊りを披露していることも。

カフェテリア



ベーカリー



焼きたてベーカリーは女子学生に大人気! 季節ならではのアイデア商品も。

パソコン購入



書籍コーナー



パソコン必携です!



コンビニコーナー

ノートパソコンは授業で使うので必携です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート修理も受付。安心です。

お昼は行列ができるほどの人気の天気がい日は、パンを買って外のベンチで食べるのもいいですよ~





岡豊okoキャンパス

▶ 医学科 1~6年 ▶ 看護学科 1~4年

医学部生は 勉学も遊びも真剣!

地域の中核病院である高知大学医学部附属病院を備えた岡豊キャンパスでは、医学部の学生が学んでいます。広大なグラウンドや体育館がすぐ横にあるため、サークルを楽しむ学生が多いのも特徴。メリハリをつけて学生生活を楽しんでいます。



- 1.講義棟 2.実習棟 3.基礎・臨床研究棟 4.体育館 5.FI・動物実験施設 6.学生会館(福利厚生施設) 7.管理棟(学生課) 保健管理センター(医学部分室) 8.中央機械室 9.廃水処理施設 10.車庫 11.臨床講義棟 12.病棟 13.中央診療棟 14.外来診療棟 15.高エネルギー治療施設 16.食堂棟 17.総合情報センター(図書館)医学部分館 18.大学院研究棟 19.医学情報センター 20.職員宿舎 21.課外活動共用施設 22.武道場 23.非常勤講師宿泊施設 24.陸上競技場 25.テニスコート 26.プール 27.FI治療施設 28.弓道場 29.野球場附属施設 30. MRI・CT装置棟 31.国際交流会館(単身・共用棟) 32.国際交流会館(世帯棟) 33.看護学科棟 34.発電機棟 35.PETセンター 36.ホスピタルローン 37.スターバックス コーヒー 38.院内保育施設 39.レジデントハウス

Pick up! 岡豊okoキャンパス 勉学編

講義棟



総合情報センター(図書館) 医学部分館



医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大医学部の魅力です。

集中して勉強できます!



充実した研究施設

どんどん参加して、頼れる先輩や友達をいっぱいつくっちゃお!

イベントたくさん!!

南風祭

Pick up! 岡豊okoキャンパス 課外活動編

学祭のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭や1年生同士が交流をはかる室戸合宿などイベントがいっぱい。おかげで学部生みんなが仲良しです。勉強のストレスも発散できます!



体育祭



室戸合宿





ホスピタルローソン

スターバックス コーヒー

空気でボリュームも満点!

Pick up! 3 岡豊キャンパス 生活編



学食はメニューが豊富だから、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたスターバックス コーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です!



医学科ロビー



看護学科ロビー

キャンパスの周りは自然がいっぱい! かかせみや鴨もいて、散歩すると楽しいですよ

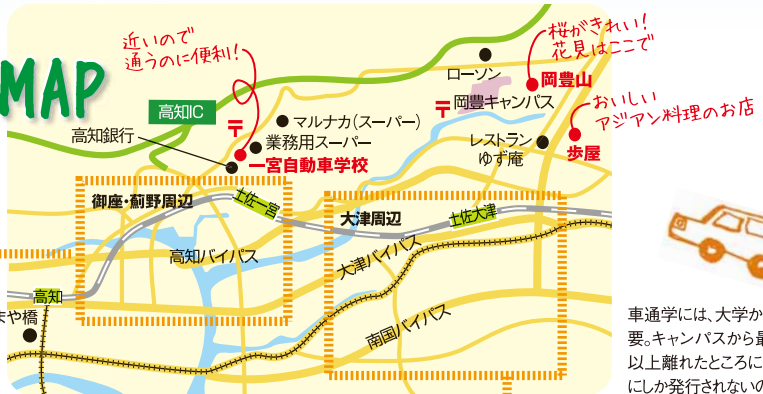


学生さんに聞きました!

キャンパス周辺MAP

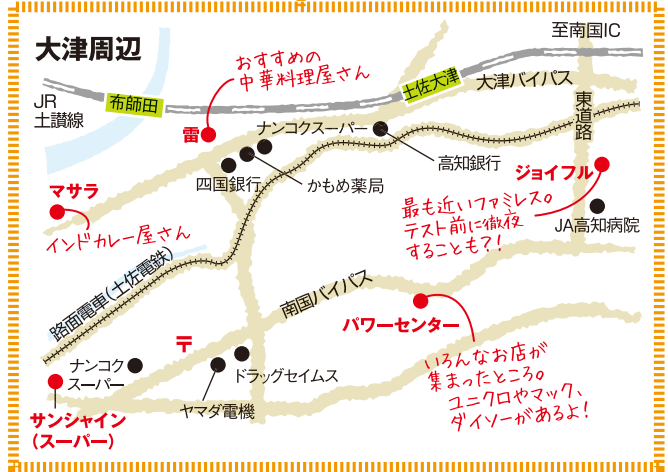
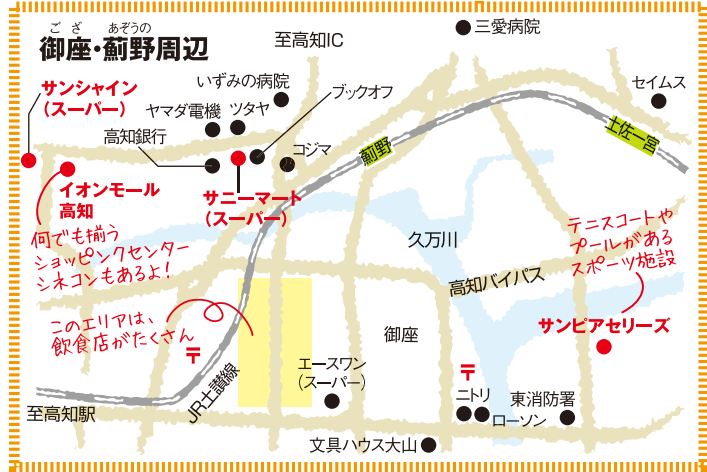
キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮(御座・薊野)周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。
▶ 詳しくは、物部キャンパス70ページ参照



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないの、ご注意ください。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。





物部 monobe キャンパス

▶ 農学部 2~4年

周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

高知龍馬空港のすぐ横にある物部キャンパスは、目の前に太平洋が広がるのどかな立地。敷地内には広大な農場があり、かわいい牛と触れ合えます。海、山、川と大自然に恵まれ、農学を学ぶには絶好の環境です。

1

ここが自慢! 物部 キャンパス 農場と牛



すぐそばにある
広い農場を
見るだけで
のびのび気分!



海洋コア総合
研究センター



遺伝子実験施設



1. 農学部1号館
2. 農学部2号館
3. 農学部3号館
4. 農学部4号館
5. 実験研究棟
6. 厚生会館
7. 総合情報センター(図書館)農学部分館及び講義室棟
8. 日華会館(福利厚生施設)
9. 農学部附属地フィールドサイエンス教育研究センター
10. 体育館
11. 日章寮
12. 留学生寄宿舎
13. 国際交流会館
14. 遺伝子実験施設
15. 共同利用機器分析室棟
16. 海洋コア総合研究センター
17. 黒潮圏総合科学専攻棟

研究室



生物が好きで農学部に入った学生も多い。研究室には設備が充実!

ここが自慢! 物部 キャンパス

2

学習・研究・厚生施設

図書館



福利厚生施設



グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使えるのでうまく使えばアクティブな生活が満喫できます!

野菜販売



農学部で栽培したお米や季節の野菜を、校舎内で販売しています。これが安くてホントに美味しい! そして校舎の前に広がる農場には、牛がいっぱい。敷地内に農場がある大学は珍しいと思いますよ!

パイナップルも栽培していますよ!!



牛さんはみんなの
アイドル的存在



朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル活動

生活費



ここが自慢!
物部 キャンパス

高知全体が
フィールド

林業塾



フィールドサイエンス

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶフィールドといえます。1年次必修のフィールドサイエンス実習や林業サークル林業塾など、自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

海でも山でも、とこど
現場に飛び込むで〜

Watching
MONOBE
campus

農学部 motto は
徹底した現場主義!



1年生のイチ押し授業といえば「フィールドサイエンス実習」。農場、森林、河川、海洋、ラボの5つの現場を回り、人と自然の関係を学びます。



学生さんに
聞きました!

キャンパス周辺MAP

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が上空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



キャンパス間の行き来には
大学バスが出ることも!

ボリューム満点、男子学生
御用達の店。大学乗車に
あるから「うらめし屋」!

近くの浜からは
びっくりするほどそばで
飛行機が見える!



サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦系とするならば、同好会やサークル活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横系のようなもの。高知大学では100以上あるサークルに学生の約半数が所属し、充実した毎日を送っています。

2011年度に活躍したサークルを紹介します!



2011 ニュース

NEWS!

サッカー部

全国制覇を目指し、合言葉は「総力結蹴」!

Data

教育学部教授・野地照樹監督のもと、約100名の部員が活動。総理大臣杯は11年連続21回、天皇杯は9年連続16回出場、インカレは18年連続27回出場と、全国大会の常連校として名を馳せている。過去5回の全国大会ベスト4、また2009年は総理大臣杯で過去最高の準優勝を果たした。2011年は、全日本大学フットサル大会で、準優勝とフェアプレー賞に輝いた。

「サッカーを通じての豊かな人間形成」がモットーで、サッカーと学業との両立を重視。また地域の小学生を対象にしたサッカー指導など、地域貢献にも力を注ぐ。



Jリーグとの練習試合も!

1~2月は、合宿に訪れた多くのプロチームと練習試合を行います。レベルの高いプロとの実戦は、またとない学びの機会。プロの目にとまる就活ならぬ「蹴活」のチャンスにも!



“地方の雄”、“国立大学の雄”として全国大会で輝かしい戦績をあげてきたサッカー部。2011年度は上位入賞こそ果たせなかったものの、総理大臣杯、天皇杯、インカレの連続出場記録を更新し、果敢な闘いぶりを見せてくれました。2012年度は念願の全国制覇を目標に、気持ちも新たに練習に取り組んでいます。



▼ 山部 晃
主将
教育学部3年
(私立岡山県作陽高校出身)

昨年の悔しさをバネに、全国制覇を目指しチーム一丸となっています。監督によく言われるのは「基本と自立」。サッカーはもちろん人間としての自立が大切で、食事や生活リズム、勉強との両立を心がけています。高知大学は自分次第で伸びている環境。より高いレベルでプレーできるよう、貪欲にやっていきたいですね。

少年サッカー教室で、地域にも貢献!

▶ 堀内 開 教育学部3年(大阪府立三国丘高校出身)

週2回、小学生対象のサッカー教室も開催しています。小学生がわかるように教えるのは難しいけれど、それが逆に自分のプレーに返ってきて勉強になるし、子どもたちの技術的、精神的成長を見られるのも喜びです。将来は、仕事の傍らサッカー指導に関われればうれしいですね。



サッカー教室には、小学生約150人が集まる

▶ PICK UP 監督に聞く | 野地 照樹 教授

サッカーで日本のスポーツを変える

指導において一番大切にしているのは「基本と自立」です。サッカーではプレーでも戦術でも基本がないと応用はありませんし、早寝・早起き・朝ごはんという基本的な生活習慣や、学業、家族、友人も大事。人間としての基本がしっかりあった上で、個々が自立することが大切なのです。学生は何のために大学に来ているか——それは自立した社会人になるためです。このことがわかると、自ずと自分がどうすればいいのかもわかる。高校時代に無名でも、高知大学に来てから伸びる選手が多いのはそのためです。もうひとつ大切なのは「フェアプレーの精神」。わ

ざと転んだり、見えないうところで引っ張ったりと、審判をだますようなプレーは絶対にいけない。スポーツはフェアプレーに徹すべきです。それが最終的には自分に返ってくる。学生には、人間として正直でありなさいと常に言っています。日本のスポーツ指導は、これまで精神主義や長時間練習という傾向がありました。けれどそれは本当のスポーツ文化ではない。学生たちには卒業後も、何らかのかたちでサッカーに関わってもらいたいと思っています。彼らがこれからの日本のスポーツ文化を変えてくれる。それを楽しみに日々指導をしています。

Profile 全日本大学選抜、ユニバーシアードのコーチ、監督を歴任。1982年よりJFA指導者養成講習会の講師となり、教え子には元日本代表監督の岡田監督をはじめ多くのJリーグ指導者がいる。

卓球部

Data

部の目標は、四国で2チームしか出場できない全日本大学総合卓球選手権大会(全国インカレ)に出場し、予選リーグを勝ち上がる。目標に向け、規定練習のほか、ほとんどの部員が毎日自主練習を積んでいる。春秋の四国学生卓球選手権大会や四国インカレをはじめ、地元の一般試合にも参加するなど、活動は積極的。2011年は、全国国公立大学卓球大会で男女とも団体戦2位に入賞した。



努力が実り、全国国公立大学卓球大会で団体戦2位入賞!

練習は真剣そのものですが、部の雰囲気は明るく、メリハリのある活動をしています。皆がよい意味で競い合い、やる気を持って練習に取り組んでいます。その努力が実り、2011年は全国国公立大学卓球大会で結果を残すことができました。これからも時間を有効に使って、学業と部活動を両立させていきたいです。



規定練習は朝倉キャンパス内の体育館で、週4回。全国国公立大学卓球大会や一般の大会は全員試合に出場できますが、インカレはレギュラー4名しか出場できません。そのため、部内でもレギュラー獲得に向けて切磋琢磨合っています。

▶ 西内 匠 主将 教育学部2年(高知県立高知小津高校出身)

中学校から始めた卓球を高校でも続け、さらに大学でも技術向上を目指し、ほぼ毎日練習に取り組んでいます。2010年は男女とも、2011年は男子チームが、全国インカレに出場できました。次は決勝トーナメント進出を目指し、一丸となって頑張ります。



吹奏楽団

Data

部員は約90名。中には未経験者もあり、学部・学年の枠を超えて楽しく練習に励む。通常練習は、週3回。大会前はさらに練習が欠かせないが、テスト期間中は休みを設けるなど学業を優先させながら活動している。年に1回、定期演奏会を開催するほか、合同演奏会など中四国の他大学と交流も図っている。



第59回全日本吹奏楽コンクールでの演奏

未経験者も歓迎。学業と両立しながら音楽を楽しむ



2011年、全日本吹奏楽コンクール四国支部大会 大学の部で金賞を受賞し、全国大会に出場しました。また、国立大学合同演奏会は、岡山、広島など9大学の学生1000人超を高知県に招いて開催。他大学の学生と仲良くなれたのは、大きな収穫でした。また、スポーツ大会や合宿など、演奏以外の楽しいイベントも行っています。

▶ 川喜田 直也 団長 理学部2年(三重県立四日市西高校出身)

高校から吹奏楽を始め、大学でも演奏を続けたいと思い、入団しました。担当はサクソです。大会前は合宿を行ったりしていますが、基本的に楽しい練習を心がけています。大会に出場するかどうか、また演奏会で何を演奏するかなどは話し合いで決めます。練習場所も自分たちで手配するなど、自主的な活動が吹奏楽団の特徴です。



演奏曲は、クラシックからポップス、映画やドラマの主題歌など、自分たちが好きなものを選択しています。練習は、授業が終わったあと18時半から2時間。年に1回、高知市文化プラザかるぼーとで定期演奏会を開催し、市民の皆様にも演奏を披露しています。もっと告知に力を入れて、多くの方に来ていただきたいと思っています。



ほかにも
こんなサークルや
同好会があります!



サークル・同好会紹介

数あるサークルの中から、いくつかピックアップしてご紹介します。

▶ サークル

硬式野球部

アピールポイント

大学野球の最高峰、全日本選手権大会(神宮球場)に過去3回出場し、名門チームとして知られている高知大学野球部。率いるのは就任30年以上となるベテラン小松清祥監督で、部員は約50名。チームの特徴は「考える野球」。監督の指導のもと、選手自ら試合の反省点を見だし、日々の練習に取り組んでいます。また「文武両道」を重んじ、野球と学業の両立も大切にしています。全日本選手権ではまだ勝ち星がないため、神宮で一勝を目指し、チーム一丸となって練習に励んでいます。

「神宮で一勝」が合い言葉



練習グラウンドはサッカー部との共用で、ハード面では決して十分とはいえない環境ですが、それを補う「考える野球」で結果を出してきました。試合の反省点や弱点は常に自分たちで分析し、練習メニューを考え、ていねいに取り組みます。その主体性と高いモチベーションがチームの持ち味。



プロリーグで大活躍!

ドラフト5位で横浜ベイスターズ入団した、OBの福田岳洋投手(教育学部卒)。写真は、小松監督と福田選手。

▶ サークル

ACLS南国 救急医療を学び合う!

アピールポイント

ACLSとはAdvanced Cardiovascular Life Supportのことで、私たちは救急医療について勉強しています。救急で大切なのは素早い対応。皆さんにその方法を頭で覚えるのではなく体で覚えてもらうために、年に2回ワークショップを行っています。また、ふだんの活動では勉強会をしています。



硬いイメージを持たれやすいですが、部の雰囲気はアットホームで、1年生大歓迎です。ぜひ目の前で倒れている人を救える人になりましょう!!

▶ サークル

剣道部 剣道を通して人とつながる

アピールポイント

男女合わせて30名で日々の練習に励んでいます。平成23年度の主な活動は、中四国、四国大会への出場、その他の試合への参加、他大学との合同合宿などです。イタリア遠征や食べ放題ツアーも企画し、部活動を主体に様々な人たちとの交流を経験。剣道を通して礼儀を学び、人と人のつながりの深さを知りました。



剣道部の特徴は、やるときにはやる、楽しむときには楽しむというけじめのある人が多いところ。私たちと一緒に汗を流しましょう。新しい仲間を待っています。

▶ よさこいチーム

高知大学医学部よさこいチーム 醫 - KUSUSHI -

アピールポイント

醫-KUSUSHI-は医学部の学生を中心としたチームで、学生だけでなく一般の方も多く参加してくださっています。くすでは、衣装や曲、地方車、振付なども学生が中心となって制作しています! 踊りに興味がある方だけでなく、物づくりに興味のある方もぜひご連絡ください。一緒に高知の夏を体感しましょう!



最高の一体感!!



県外出身者が多い高知大学なので、「入学して初めてよさこいを知った」、「初めて踊った」というメンバーも多い。

よさこい祭りって?

高知の夏の風物詩。毎年8月9~12日に開催されています。趣向を凝らした150以上ものチームが、踊りや衣装、個性を競い合います。高知に来たら、一度は踊ってみては?!



学生の暮らし

学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など個々の状況に応じて様々ですが、奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので気軽に担当課までお問い合わせください。

アパートで暮らす



岩澤 直也
教育学部3年
(香川県立三木高校出身)



小学校の教師をしている父から仕事の楽しさを聞き、僕も教師になろうと思い、高知大学教育学部に入りました。

大学生協KUSでキャンパスから近いアパートを探したところ、洗濯機、ガスコンロ、冷蔵庫がついている今のアパートが見つかりました。一人暮らしで大変なのは、掃除や洗濯といった身の回りのこと。しかし大学生のうちを経験しておくことが、自分のためになります。一人暮らしは、最初誰もが不安です。でも制約がなく、やろうと思えば何でもできるのが一人暮らしのよさでもあると思います。朝倉の場合、スーパーが近くにあり安い惣菜が買えますし、郵便局や病院も近く生活面においてとても便利です。僕も最初は一人暮らしが不安でしたが、1週間くらいで楽しくなりました。また、高知大学はキャンパス付近に住んでいる学生が多く、僕も近くに友人が住んでいるので、体調を崩したとき助け合ったり、テスト前に一緒に勉強をしたり、友人付き合いを大切にしています。勉強は大変です。教育実習も、指導案を手作業で作らなくてはならず、苦労しました。しかし、自分の授業に対して児童たちが思いがけない反応を示してくれるのがうれしかったです。子どもが好きなので、小学校の教師を目指して今後も勉強に励みたいです。

学生寮で暮らす

堀ノ内 春菜 (右)
教育学部2年(鹿児島市立鹿児島女子高校出身)

山下 綾貴 (左)
人文学部2年(広島県 呉市立呉高校出身)



堀ノ内:親に資金面でなるべく頼らず大学に通おうと決めていたので、入学が決まっすぐ寮に申し込みました。ときわ寮は寮費がとても安く、また個室なのでプライバシーも守れると思い、希望しました。

山下:寮暮らしのよさは、先輩や友達が周りにたくさんいることです。入学当初も、履修登録やレポートについて、先輩がやさしく教えてくれました。悩み事を相談し合ったり、春には新入生歓迎の茶話会を開いたりします。また、仲間と食事をしたり、遠方出身の学生が多いので帰省時のお土産を交換し合ったり、寮生同士のつながりを感じます。ときわ寮には留学生も入寮していて、幅広い交流ができるのが魅力です。また、各個室に机、椅子、ロッカー、ベッド、さらにヒーターと扇風機がついているので助かりました。

堀ノ内:ときわ寮では、寮長、副寮長、会計、厚生といった役員を半年ごとに持ち回りで担当し、自己管理をしています。共同スペースの掃除など協力してしっかりやらなければいけない点もありますが、部屋の編み物やDVD鑑賞など、一人の時間ももちろん楽しめます。

堀ノ内・山下:遠方から高知県にきましたが、寮生活なら寂しくありません。後輩の皆さん、自然が多くのおんびりと過ごせる高知大学で、勉強もプライベートの時間も一生懸命楽しんでください。

朝倉キャンパス

岡豊キャンパス

物部キャンパス

サークル活動

生活費

生活費の内訳例

1 アパートで一人暮らしの
男子学生の場合

収入

仕送り	50,000円
奨学金	50,000円
計	100,000円

支出

住居費	40,000円
食費・光熱費	35,000円
教材費(学費を除く)	2,000円
交通・交際費(携帯電話・インターネット含む)	18,000円
部活動費	3,000円
雑費	2,000円
計	100,000円



住居

下宿、アパートやマンションの情報提供は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部総務課学務室の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

アパート(6畳・8畳 1K・ワンルーム)は約25,000円～約50,000円となっています。

■高知大学生協ホームページでは、大学生のための物件情報をご案内しています。
<http://mycoop.jp/kouchi/sumai>

学生寮情報

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南溟寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約18,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車で約10分
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部(農学部)キャンパス に隣接

■学生寮に関するお問い合わせ先:学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8565

生活費の内訳例

2 学生寮に入寮している
女子学生の場合
※ときわ寮の例

収入

仕送り	20,000円
奨学金	30,000円
計	50,000円

支出

寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	6,000円
教材費(学費を除く)	2,000円
食費	20,000円
交際費(携帯電話含む)	7,000円
雑費	5,000円
計	40,000円
繰り越し	10,000円



南溟寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

入学料・授業料

入学料・授業料は下表の通りです。詳しくは、財務部経理課にお問い合わせください。

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	前期 267,900円	5月中(予定)
	後期 267,900円	11月中(予定)
	年額 535,800円	

※入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■入学料・授業料に関するお問い合わせ先

財務部経理課出納グループ

TEL 088-844-8125

入学料・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

学部生・大学院生を対象とした学業等成績優秀者授業料免除

大学院生で学業等成績が特に優れているものに対して、各専攻からの推薦により授業料年額の4分の1が免除されることがあります。また、学部生及び大学院生を対象とし卓越した学業等成績優秀者に対して、各学部・各専攻からの推薦により授業料の全額が免除されることがあります。どちらも推薦時期は9月を予定しており、各学部・各専攻で定めた選考基準により推薦者は決定されます。

■入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課(入学料・授業料免除担当)

TEL 088-844-8149

奨学金制度

学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者については、奨学金制度の申請が可能です。

奨学金制度には、日本学生支援機構奨学金(旧日本育英会)の他に、地方公共団体や民間育英団体の奨学金制度があります。また、本学独自の奨学金制度として、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額は下表に示した中から選択することができます。また、入学時特別増額貸与奨学金制度も利用できます。

(学部奨学生)

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円 } 選択 ②45,000円 } できる	①30,000円 } 選択 ②51,000円 } できる	無利子
第二種	①30,000円 ③80,000円 ⑤120,000円 } 選択 ②50,000円 ④100,000円 } できる		有利子

入学時特別増額貸与奨学金制度

初回基本月額に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の利息付奨学金を増額して貸与する制度です。

第1学年(編入学者の入学年次を含む)において奨学金の貸与を受ける者は、希望により第1回目振込み時の月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円を増額して貸与(利息付)を受けることができます。

ただし、入学年月を貸与と同期とした場合に限りです。

奨学金申込資格

第一種奨学金(無利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	高校2~3年の成績が3.5以上の者	907万円程度	421万円程度

第二種奨学金(有利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	① 高等学校等における成績が平均水準以上の者 ② 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③ 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	1,159万円程度	673万円程度

年収・所得の上限額について [家計の基準について]

- 家計支持者(父及び母、又はこれに代わって家計を支えている者)の年収・所得金額(申込の前年1年分)が対象となります。
- 表の「年収・所得の上限額」は平成24年度に奨学生に採用される場合の額です。
- 表の「年収・所得の上限額」はあくまで目安です。世帯の人数・事情により増減します。
- 「給与所得世帯」の上限額は、源泉徴収票の「支払金額(税込)」です。
- 「給与所得以外の世帯」の上限額は、「確定申告書等の所得金額(税込)」です。

■奨学金制度に関するお問い合わせ先

朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565

岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268

物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5113

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見だし、大きく羽ばたいていけるよう、総合教育センターキャリア形成支援部門と学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート

就職室を上手に利用しよう!

サポート 1 Support. 1

今すぐ役立つ、 オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



サポート 2 Support. 2

いつでも、どんなことでも、 専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。また就職相談員※への予約相談も上手に活用してください。



私たちが全力でサポートします!!

※P81に就職相談員からのメッセージを掲載しています

サポート 3 Support. 3

就活や人材育成に関する 話題の本や資料を貸し出し!

就職に関する専門書や専門月刊誌、新聞など、就職室には最新の資料や話題の書籍がいっぱい! 閲覧だけでなく貸し出しも行っています。また過去のセミナーを記録したビデオなども視聴できます。



サポート 4 Support. 4

インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 課題探求能力育成型インターンシップ(CBI)
▶詳しくはP11を参照
- 正課外で行うインターンシップ(企業研修(インターンシップ)として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

サポート 5 Support. 5

大学に来た求人情報も PCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

セミナーやガイダンスを活用しよう!

THINKING

何のための就職活動なのかを学生自身が考え、就職活動の目的、意義を見いだすことをテーマとしています。

ACTION

多彩な対策講座を開講しています。実際に経験し、そこで得た気づきを次の行動に活かせるようサポートしています。

就活力育成 セミナー

セミナーは外部から講師を招聘しています。講座に参加して“知る”だけでなく、続く演習で“確認”や“発見”を促します。

平成23年度のセミナー例

- 4月 「就職活動キックオフ」
- 5月 「多角的に自分を知ろう」
- 6月 「業界&企業を知ろう」
- 7月 「夏休みで差をつける」
- 12月 「面接対策合宿」など



就活力実践 ガイダンス

就活力育成セミナーと連動しながら、より実践的な対策を行っていきます。

平成23年度の実践講座例

- 6月 「職務適性テストそして自己分析」
- 6月 「就職活動報告(私たちの経験)」
- 10月 「就職のマナー・エチケット、着こなし・メイク」
- 11月 「エントリーシート作成講座」
- 12月 「実践 模擬面接選考」など



教職・公務員 ガイダンス

教員採用試験対策、公務員試験対策で実績のある外部講師を招聘し、ガイダンスを行っています。

平成23年度のガイダンス例

- 公務員** 「働いている人の話」「国家I種採用試験説明会」など
- 教職** 「高知県教育委員会による説明会」「人物試験対策」など



就活イベント

合宿形式での面接対策や他大学学生との研修など、多彩な内容のイベントを実施しています。首都圏・関西圏の合同会社説明会へのバスツアーや、プロカメラマンによる写真撮影会は学生に人気です。

平成23年度のイベント例

- 9月 「首都圏サポート企画コラボ合宿」
- 11月 「学内写真撮影会」
- 12月 「しごと・職種研究セミナー」
- 12月 「首都圏・大阪バスツアー」
- 1月 「合同会社説明会」



皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね!



就職活動 & A



就職室に聞きました

学生たちの就職活動を最も間近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 「就活」って大変そうなイメージがあるけれど、実際どうなのですか？

「働く」とか「就職活動」に対して、はじめは多くの学生が不安を持っています。けれどそれは、ニュース等から得たステレオタイプなイメージ。実際には様々な出会いや発見があり、就職後の具体的な目標も見えてきます。就活は、**社会との関わりの中で集中して自分自信を見つめ直す期間**。そこで逃げずに仲間と協力しながら乗り越えれば、必ず大きく羽ばたけます。

Q 先輩たちはいつぐらいから「就活」を意識しはじめるのですか？

具体的に行動を起こすのは3年生になってから。でも、「**キャリア形成**」という意味では**1、2年生から既に意識**している学生も多いですね。インターンシップに行ったり、就職室に来て話を聞いていく1年生も結構います。

Q 就職関連のセミナーやイベントはどうやって参加すればいいのですか？

セミナーやイベントの開催情報は、簡単な設定をするだけで携帯にメール送信されます。誰でも参加できるもの、定員があって事前申し込みが必要なもの、様々なので、不明な時は気軽にスタッフにたずねてください。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。あなたのやる気や思いを私たちに伝えてください。

Q 県外出身者ですが、地元や首都圏での就職サポートもありますか？

首都圏と大阪へは大学主催のバスツアーが組まれており(P79参照)、学生は格安で現地の合同会社説明会に参加できます。高知大学は学生の7割以上が県外出身者。近年は**地元志向**も高まっているので、都道府県ごとの情報収集や情報提供にも力を入れています。また県外で就職活動中に悩みや相談したいことが出てきた学生には、電話やメールで対応もしています。

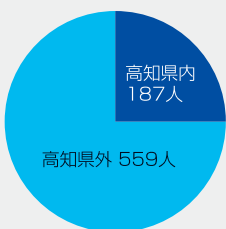


Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

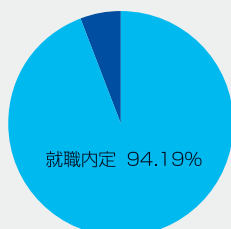
物部キャンパスでは学務室の中に就職担当がおり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行ったすべてのガイダンスやセミナーのDVDを物部で視聴できます。

就職関連データ

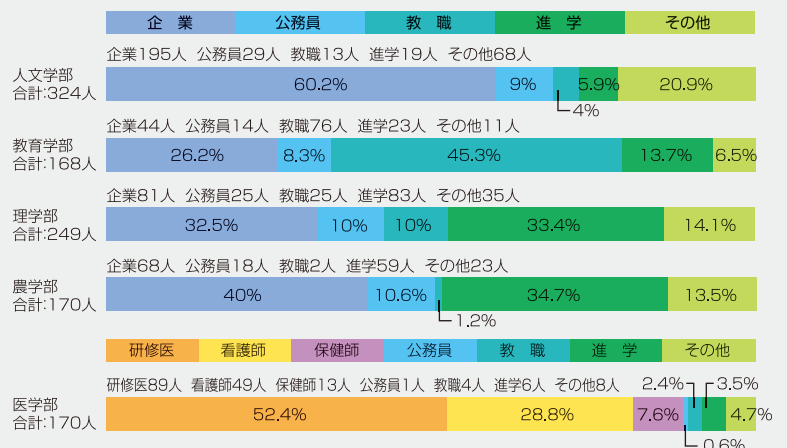
■グラフ1
就職先の県内外比率
(平成22年度卒業生)
合計:746人



■グラフ2
就職希望者数に対する就職内定者率
(平成22年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成22年度卒業生)



就職相談員からのメッセージ

私たちが相談にのります

▶ 就活全般についてあらゆるアドバイス

いつでも気軽になんでも

井上 智子 就職室事務補佐員



大学時代「大学は大学に来られなかった人のためにある」と教わりました。大学で学ぶことで多くの機会、選択肢を与えられるとすれば、より多くの人や社会へその能力を還元していく使命があると思います。就職活動は、自分を理解し社会を知る大きな機会です。「自分にこんな力があったのか」「社会にはこんなにも知らないことがあったのか」など感動や発見があり、積極的に取り組んだ分だけ楽しみも成長も大きいです。そして自分の軸を持ち、時に柔軟に謙虚に、信頼を勝ち取れる社会人へと成長することを期待しています。使命の進路を勝ち取るために、全力でサポートします。就職室で皆さんをお待ちしております！

エントリーシート

▶ 履歴書・ESなど“書く”アドバイス

「自分」の編集をサポートします！

国光 ゆかり 株式会社南の風社 編集長



自分のいいところ、経験から得た力、こう生きたという思いなど、自分が本来持っている素材を見つけ出し、整理し、組み立て直して、魅力的に表現する…こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分のことをアピールする自信にもつながります。キャリア系の授業「自分プレゼンテーション法」「ライティング養成講座」では、編集という手法を使って、「書く」「話す」などの表現力をアップするアドバイスをおこなっています。就職活動における自己紹介文やエントリーシートのサポートは、編集者という視点で、学生さん一人ひとりの「いいところ」探しと一緒にやっていく楽しい活動です。

▶ 教員志望の人へアドバイス

求めよ！さらば拓かれん

丹下 主教

高知県教育文化祭運営協議会 事務局長、元公立小学校長
ようこそ高知大学へ。皆さんのご入学を心より歓迎いたします。



入学は自立への第一歩、新卒採用に向けてスイッチONです。南国土佐でフル稼働、新しい自分の魅力を切り拓きましょう。切り札は、あなたの「人」と「なり」。専門分野、部活、ボランティア、地域貢献、短期留学、アルバイトなどで数々の体験をしましょう。よく動き、よく感じる。そして悩み、考えてまた動く。体験を通しての喜怒哀楽。それら全てがあなたをより醸成させます。

『求めよ！さらば拓かれん』学生から自立した真の社会人への道。教職歴38年の私が、あなたの『ささえさん』になります。——気楽にお訪ねください。就職室でお会いしましょう。

▶ 公務員志望の人へアドバイス

失敗を恐れず挑戦しよう

稲葉 和成 高知大学生協 学びと成長事業担当



大学ではいろいろなことに挑戦してください。私たちは無意識に失敗を恐れて、挑戦をためらう傾向があります。誰も失敗はしたくないものです。しかし、「失敗」は、真剣に取り組んだからこそであり、自分にとって貴重な経験になるのだと信じています。高知大学では、様々な体験ができるしくみが整っています。ぜひいろいろなことに挑戦してみましょう。私は就職支援の仕事に携わっていますが、これまでの先輩たちを見ていて、物事に真剣に取り組んだ方には人間的な魅力を感じてきました。自分の明確な軸を築けているからでしょう。これからの4年間、あなたの人生にとって貴重な経験を積んでください。応援します。

▶ 一般企業志望の人へアドバイス

学業と両立する 就活のすすめ方

渡辺 泰方

高知県経営者協会参与(前高知県経営者協会専務理事)



「3年生になると、就活に時間を取られて学業に集中できない」「就職先が決まらず、勉強どころではない」など本末転倒のような声を耳にします。学業と両立する就職活動は、勉強や研究で身につけた能力や特徴、それを活かす将来の進路を、常に意識しながら学生生活を送ることが大切です。そうすることにより、3年生の後半から始まる就職活動において、「数ある企業(業界)の中から、なぜその企業(業界)を選んだのか」「なぜその仕事をしたいのか」など、自らの意志を明快にアピールすることができます。企業での数多くの経験をもとに、採用する企業側の視点からの実践的なアドバイスを、そして、就職決定まで全力でお手伝いをします。

キャリア・コンサルタント等のアドバイス

ジョブカフェこうち(高知県就職支援相談センター)のキャリア・コンサルタントやハローワーク高知(高知職業安定所)の大卒ジョブサポーターの方々のアドバイス(仕事に対する相談、職業適性試験、就職に関する情報提供、履歴書の添削指導や模擬面接等)やサポートを学内で受けることができます。就職活動に迷ったりしたとき——ちょっとしたアドバイスで気持ちが楽になるかもしれません。多くの先輩たちも相談にのっていただけてきました。気軽に相談してみてください。

先輩たちの就活体験

▶ 内定学生

「自分だけの何か」に挑戦して

松本 彬

北海道電力株式会社 総合職内定
人文学部社会経済学科4年
(北海道 札幌市立札幌藻岩高校出身)

私は、人から必要とされる仕事がしたいと思い、金融とインフラという公共性の強い業界を中心に就活を行いました。保険や電力、ガス会社などを何十社も回る中、3.11の東日本大震災が発生。ニュースを見て、日本のインフラに関わる問題をいろいろと感じました。でももし問題があるのならば、自分の目で確かめ、しっかりと解決していきたい——そう考えて、北海道電力への入社を即断しました。私が就職活動を始めたのは3年生の秋。インターシップなどは特に行っていませんが、先輩から「これだけは誇れるという何かがあると強いよ」とアドバイスされ、授業以外にも資格の勉強と部活に力を入れていました。1、2年生ではTOEICとファイナンシャルプランナー3級、2級を取得。部活はバスケットで国体にも出場しました。特にバスケでは上達するために自分を客観視することができるようになったし、競技としても失敗から次、次、次……と何度で



もトライできるところがよかったですね。ゼミでは、マーケットシェアに関する考察や研究に取り組みました。毎年、同志社や立命館大学などと合同の発表会があるのですが、100人を超える大人数の前で発表したこともいい勉強になりました。卒論では出版業界に焦点をあて、企業の生き残り戦略について研究。ここで得た様々な経験が自分の宝になっています。大学生活も就活も、自分から積極的にいかなければ何も始まりません。やってみてダメでも自分を知る機会になります。まずは挑戦することが大切だと思いますね。

就活スケジュール



- 3** 年生
- 10月 就活サイトにエントリー開始
 - 12月 会社訪問や説明会に参加開始
(最終的に100社以上に参加)
- 足を運び自分の目で会社を見たかったので…
- 2** 月
- 入社試験開始
(受けたのは40社ほど)
- 単位はとれていたため、この時期は就活に集中!
- 4** 年生
- 4月 最初の内定で入社を決断

▶ 卒業生

4年間の積み重ねが、未来につながる

角田 美紗季 ヤフー株式会社 コンシューマ事業統括本部 勤務
人文学部社会経済学科 平成18年度卒業 (高知県出身)

私の勤めるヤフー株式会社は、“いつでも、どこでも”人生を豊かにするライフエンジンとなることをコンセプトに120を超えるサービスを提供している会社です。ここで私は「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」への出店に興味がある企業様に向けたセミナーの開催や、出店案内パンフレットの制作業務を行っています。私は生まれも育ちも高知県。現在の仕事に就くことになったきっかけは、大好きな高知の悲しい事実に向き合ったことでした。大学1年の冬に地元の酒蔵に取材をする機会があったのですが、そこで手間暇かけたい商品でも「商圏が狭いため売れない」「売り方がわからない」という話を聞いたのです。しばらくの間、どうにかできないかと考えていましたが、そんな時ゼミの先生からインターンシップ

の話がありました。当時はまだインターンシップに行く学生は少数でしたが、私は思いきってEコマースの大手ショッピングモールのインターンシップに参加。そこで学んだ2か月は、今までの人生の時間の使い方とは全く異なり、短期間で多くのことを経験し、成長のスピードを加速させることができました。その後、売れているネットショップの裏側の仕組みに興味を持ち、別の会社で約7か月間、店長としてショップを運営するインターンシップにも参加。売り上げアップのノウハウや運営の難しさなどを学びました。そしてこれらの経験から、「インターネットの力で地方の活性化ができる仕事がしたい!」と、やりたいことが明確になっていったのです。皆さんの中には就職活動に不安を抱いている方も



多いと思いますが、私も興味があることに一つひとつ取り組んでいったことが現在の仕事につながりました。大学時代の4年間は、意外にもあっという間に過ぎてしまいます。一生に一度しかないこの時間、自分の興味を持ったことに貪欲にチャレンジしてみてください!

データ

Data

■過去3年間の志願状況 全選抜方法（平成22年度～平成24年度）

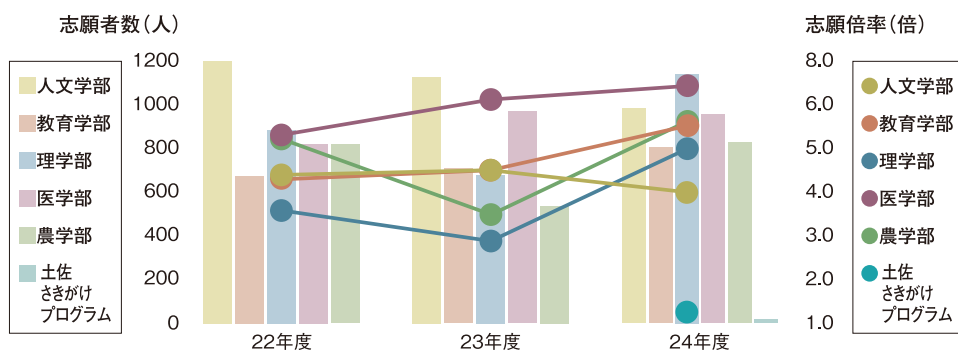
志願者数(人)

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	1,190	1,211	1,059
教育学部	668	701	866
理学部	877	673	1,228
医学部	813	962	1,027
農学部	811	532	890
土佐さきがけプログラム	—	—	14
合計	4,359	4,079	5,084

志願倍率(倍)

※志願倍率=志願者数/入学定員

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	4.0	4.1	3.6
教育学部	3.9	4.1	5.1
理学部	3.2	2.5	4.6
医学部	4.9	5.7	6.0
農学部	4.8	3.1	5.2
土佐さきがけプログラム	—	—	0.9
合計	4.1	3.8	4.7



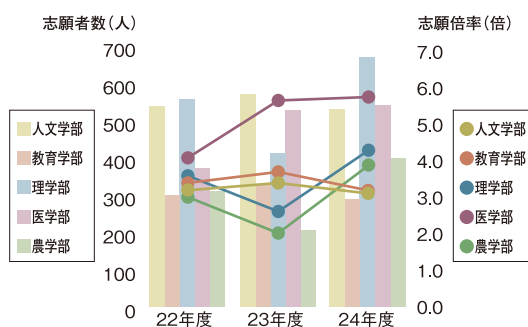
<詳細:前期日程>

志願者数(人)

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	549	586	542
教育学部	307	335	291
理学部	570	422	685
医学部	379	539	552
農学部	316	209	405
合計	2,121	2,091	2,475

志願倍率(倍) ※志願倍率=志願者数/募集人員

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	3.2	3.4	3.1
教育学部	3.4	3.7	3.2
理学部	3.6	2.6	4.3
医学部	4.1	5.7	5.8
農学部	3.0	2.0	3.9
合計	3.4	3.4	4.0



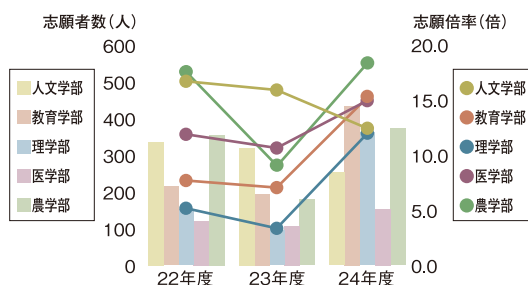
<詳細:後期日程>

志願者数(人)

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	339	323	252
教育学部	216	195	436
理学部	153	95	362
医学部	121	108	152
農学部	358	181	373
合計	1,187	902	1,575

志願倍率(倍) ※志願倍率=志願者数/募集人員

区分	22年度	23年度	24年度
人文学部	17.0	16.2	12.6
教育学部	7.7	7.0	15.6
理学部	5.1	3.2	12.1
医学部	12.1	10.8	15.2
農学部	17.9	9.1	18.7
合計	11.0	8.4	14.6



平成23年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										AO入試			推薦入試							
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ				
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)		
人文学部	人間文化学科	94	58	197	183	75	2.4	5	76	76	26	2.9					30	95	30				
	国際社会コミュニケーション学科	83	36	103	90	48	1.9	10	103	32	10	3.2	A選抜	20	57	22							
													B選抜	15	19	15							
													小計	35	76	37							
	社会経済学科	118	77	286	263	93	2.8	5	144	144	12	12.0	6	50	8	一般	15	48	19				
専門													15	33	18								
小計	295	171	586	536	216	2.5	20	323	252	48	5.3	6	50	8	95	252	104						
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	195	164	67	2.4	15	61	61	17	3.6								30	90	34	
	生涯教育課程	芸術文化コース	30	15	52	51	15	3.4	6	69	33	8	4.1				9	33	9				
		スポーツ科学コース	20	10	55	55	10	5.5	3	51	31	4	7.8				7	37	7				
		生活環境コース	20	10	33	31	15	2.1	4	14	14	6	2.3				6	11	6				
		小計	170	90	335	301	107	2.8	28	195	139	35	4.0				22	81	22	30	90	34	
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	106	100	47	2.1	30	95	95	30	3.2	数学分野	15	38	18						
			理科受験	110	292	277	138	2.0						理科分野	50	106	59						
			情報受験	10	24	23	10	2.3						情報分野	10	12	11						
	小計	270	160	422	400	195	2.1	30	95	95	30	3.2				75	156	88					
医学部	医学科	110	65	466	355	65	5.5						30	172	30					15	68	15	
	看護学科	60	30	73	71	32	2.2	10	108	40	10	4.0				20	75	22					
	小計	170	95	539	426	97	4.4	10	108	40	10	4.0	30	172	30	20	75	22	15	68	15		
農学部	暖地農学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				一般	4	24	6				
																専門	2	2	0				
																小計	6	26	6				
	海洋生物生産学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				一般	4	15	7				
																専門	2	3	0				
																小計	6	18	7				
	食料科学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5					6	29	6				
																小計	6	19	6				
	生命化学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5					6	19	6				
																小計	6	13	5				
自然環境学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5					5	13	5					
															小計	5	13	5					
流域環境工学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				2	11	3	一般	2	3	2		
															専門	2	2	2					
小計	4	15	5	42	127	42																	
森林科学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				2	4	2	一般	3	5	3		
															専門	1	0	0					
小計	4	5	3	4	5	3																	
国際支援学コース	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5					3	11	5	一般	3	11	5	
															専門	2	1	0					
小計	5	12	5	42	127	42																	
小計	170	104	209	174	127	1.4	20	181	49	20	2.5				4	15	5	42	127	42			
合計	1,075	620	2,091	1,837	742	2.5	108	902	575	143	4.0	36	222	38	216	579	241	87	285	91			

※□は募集なし

※帰国子女・中国引揚者等子女・社会人入試は志願者なし

※私費外国人留学生の選抜は、志願者=62名、合格者=25名

※実質倍率=受験者数/合格者数

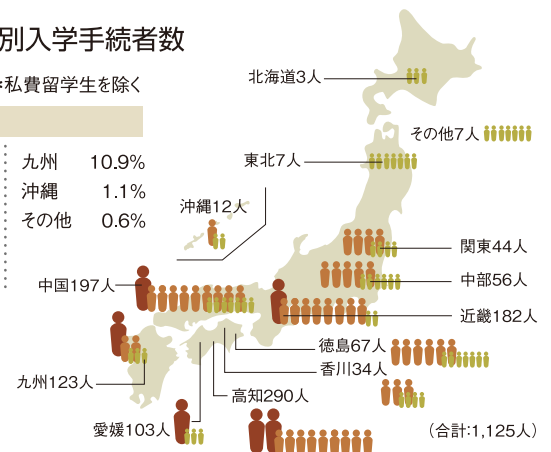
※医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数

平成23年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数)*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.3%	中国 17.5%	九州 10.9%
東北 0.6%	徳島 6.0%	沖縄 1.1%
関東 3.9%	香川 3.0%	その他 0.6%
中部 5.0%	愛媛 9.2%	
近畿 16.2%	高知 25.8%	



■平成24年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										A O入試			推薦入試								
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ					
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)			
人文学部	人間文化学科	94	59	193	169	77	2.2	5	104	104	5	20.8					30	106	30					
	国際社会コミュニケーション学科	83	38	74	69	50	1.4	10	102	34	10	3.4					A選抜	20	46	21				
																	B選抜	15	33	17				
																	小計	35	79	38				
	社会経済学科	118	77	275	262	95	2.8	5	46	46	5	9.2	6	25	8		一般	15	30	15				
	小計	295	174	542	500	222	2.3	20	252	184	20	9.2	6	25	8		専門	15	25	15				
																	小計	30	55	30				
																	95	240	98					
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	165	142	69	2.1	15	294	294	15	19.6									30	57	31	
	生涯教育課程																							
	芸術文化コース	30	15	45	43	15	2.9	6	81	39	6	6.5					9	29	9					
	スポーツ科学コース	20	10	44	41	10	4.1	3	38	17	4	4.3					7	38	7					
	生活環境コース	20	10	37	34	14	2.4	4	23	23	4	5.8					6	15	8					
	小計	170	90	291	260	108	2.4	28	436	373	29	12.9					22	82	24		30	57	31	
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	136	132	46	2.9	30	362	362	35	10.3				数学分野	15	56	19				
			理科受験	110	508	485	126	3.8									理科分野	50	94	53				
			情報受験	10	41	39	14	2.8									情報分野	10	30	14				
	小計	270	160	685	656	186	3.5	30	362	362	35	10.3				75	180	86						
医学部	医学科	110	65	485	310	68	4.6						30	192	30						15	60	15	
	看護学科	60	30	67	64	32	2.0	10	152	67	10	6.7					20	71	21					
	小計	170	95	552	374	100	3.7	10	152	67	10	6.7	30	192	30		20	71	21		15	60	15	
農学部	農学科	170	104	405	357	117	3.1	20	373	153	30	5.1									一般	4	16	6
																					専門	2	2	1
																					小計	6	18	7
																					一般	4	20	6
																					専門	2	2	2
																					小計	6	22	8
																					一般	6	14	6
																					専門	6	23	7
小計	5	7	3																					
一般	2	1	1																					
専門	2	4	2																					
小計	4	5	3																					
一般	3	6	4																					
専門	1	0	0																					
小計	4	6	4																					
一般	3	6	4																					
専門	2	0	0																					
小計	5	6	4																					
	小計	170	104	405	357	117	3.1	20	373	153	30	5.1				4	11	6		42	101	42		
土佐さきがけプログラム	国際人材育成コース	(10)											(10)	12	10									
	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)																			(5)	2	2	
	小計	(15)											(10)	12	10						(5)	2	2	
	合計	1,075	623	2,475	2,147	733	2.9	108	1,575	1,139	124	9.2	36	229	48		216	584	235		87	220	90	

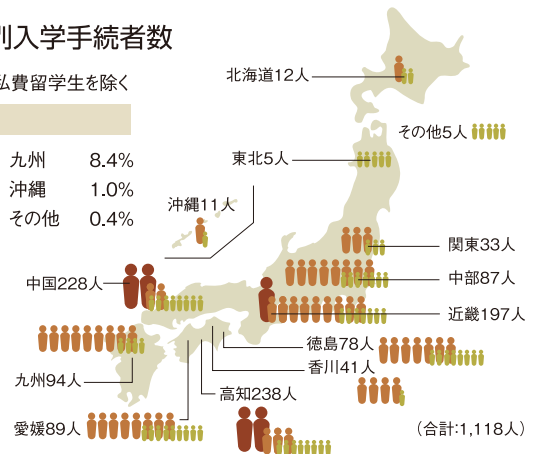
- ※□は募集なし
- ※帰国子女・社会人入試は志願者なし
- ※中国引揚者等子女入試は、志願者=1名、合格者=1名
- ※私費外国人留学生の選抜は、志願者=47名、合格者=18名
- ※実質倍率=受験者数/合格者数
- ※医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数
- ※入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない

■平成24年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数) *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 1.1%	中国 20.4%	九州 8.4%
東北 0.4%	徳島 7.0%	沖縄 1.0%
関東 3.0%	香川 3.7%	その他 0.4%
中部 7.8%	愛媛 8.0%	
近畿 17.6%	高知 21.3%	



2007~2012年度入学者出身校一覧 (2012年4月1日現在在学者) ※学校名は入学時の名称

北海道

札幌西、札幌南、千歳、札幌葉岩、小樽潮陵、岩見沢東、旭川西、北見北斗、苫小牧南、静内、帯広三条、釧路湖陵、釧路江南、中標津、北広島、帯広緑陽、旭川東栄、伊達緑丘、札幌稲雲、札幌国際情報、函館、札幌光星、札幌第一、函館大学付属有斗、函館ラ・サール、海星学院

青森

弘前中央、八戸北、五所川原、三本木、三沢

岩手

福岡

宮城

仙台向山、古川、泉、第一女子、仙台二華、泉館山、富谷、東北学院榴ヶ岡、聖ドミニコ学院

秋田

秋田

山形

山形西、長井、加茂水産、酒田西

福島

安積、会津、磐城、福島東

茨城

水戸第二、勝田、麻生、土浦第一、土浦第二、竜ヶ崎第一、下館第一、古河第三、竹園、牛久、水戸桜ノ牧、並木、中央、牛久菜進、茨城キリスト教学園、茨城、大成女子、水城、江戸川学園取手、茗溪学園、岩瀬日本大学

栃木

宇都宮、宇都宮女子、小山、栃木女子、佐野女子、足利、真岡、真岡女子、烏山、那須拓陽、黒磯、矢板東、宇都宮北、宇都宮短期大学附属、佐野日本大学

群馬

前橋(県立)、前橋女子、高崎、中央、太田、太田女子、沼田、富岡、中之条

埼玉

浦和(県立)、熊谷、春日部、松山、越ヶ谷、越谷南、狭小ヶ丘、浦和学院、春日部共栄、城北埼玉、西武学園文理、川越東、自由の森学園

千葉

千葉(県立)、船橋東、成田国際、佐原、佐原白楊、長生、君津、習志野、銚子(市立)、幕張総合、敬愛大学八日市場、千葉敬愛、市川、麗澤、東邦大学付属東邦、渋谷教育学園幕張、市原中央、秀明八千代

東京

筑波大学附属、お茶の水女子大学附属、筑波大学附属駒場、東京大学教育学部附属、井草、大泉、清瀬、小石川、昭和、新宿、八王子東、富士、町田、向丘、両国、城東、科学技術、日野台、国際、暁星、白百合学園、麻布、頌栄女子学院、海城、早稲田、桜蔭、順天、聖学院、開成、攻玉社、鴎友学園女子、科学技術学園、駒場東邦、東京都大学付属、和光、立教女学院、十文字、巣鴨、豊島岡女子、本郷、武蔵(私立)、八王子、創価、吉祥女子、成蹊

神奈川

横浜翠嵐、希望ヶ丘、川和、柏陽、生田、横須賀(県立)、湘南、秦野、東、横須賀明光、フェリス女学院、横浜雙葉、聖光学院、浅野、桐蔭学園、栄光学園、鎌倉学園、逗子開成、立花学園、桐光学園

新潟

新潟、新潟江南、小千谷、国際情報、柏崎翔洋、新潟明訓、北越

富山

魚津、八尾、高岡、高岡西、氷見、高岡南、呉羽、富山第一

山梨

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属、大聖寺、金沢錦丘、金沢泉丘、金沢桜丘、金沢西、羽咋、鹿西、小松明峰、星後

福井

高志、羽水、勝山、美方、若狭、丹南、武生東、仁愛女子

山梨

甲府第一、桂、吉田、富士河口湖、山梨英和

長野

須坂、長野、屋代、上田染谷丘、野沢北、諏訪二葉、岡谷南、伊那北、伊那弥生ヶ丘、飯田、飯田風越、松本深志、松本蟻ヶ崎、豊科、木曾青峰、松本第一、文化学園長野、上田西、東海大学付属第三、佐久長聖

岐阜

岐阜、長良、岐山、加納、岐阜農林、大垣北、大垣南、大垣東、大垣養老、武義、関、東濃実業、多治見、多治見北、瑞浪、恵那、中津、益田清風、斐太、美濃加茂、多治見西、高山西、帝京大学可児

静岡

下田北、伊東、葦山、三島南、御殿場南、沼津東、沼津西、富士、清水東、清水西、静岡東、藤枝東、藤原、掛川西、掛川工業、袋井、磐田南、磐田北、浜松北、浜松西、浜松南、浜松湖東、静岡市立、浜松市立、富士東、伊豆中央、浜北西、富士宮西、庵原、日本大学三島、加藤学園

愛知

名古屋大学教育学部附属、愛知教育大学附属、旭丘、千種、瑞陵、松蔭、昭和、熱田、鳴海、旭野、長久手、津島、津島北、五条、大府、横須賀、半田、刈谷、刈谷北、知立、西尾、西尾東、吉良、岡崎、岡崎東、豊田西、衣台、松平、国府、豊橋東、豊丘、豊橋南、蒲郡、成章、小坂井、天白、向陽、緑、一宮南、豊田北、高蔵寺、小牧南、豊田南、大府東、豊田、岡崎西、名東、春日井南、知立東、新川、常滑、名古屋大谷、大同工業大学大同、東海、東邦、名古屋、中部大学第一、南山、愛知啓成、聖壺、滝、春日丘、豊川、愛知産業大学三河、栄徳、豊田大谷

三重

四日市南、四日市西、神戸、亀山、津、津西、津東、名阪、宇治山田、伊勢、上野、木本、川越、松張西、眺、海星、鈴鹿、高田、皇學館

滋賀

膳所、東大津、石山、彦根東、八幡工業、八日市、水口東、米原、虎姫、草津東、河瀬、光泉

京都

京都教育大学教育学部附属、山城、洛北、朱雀、嵯峨野、桂、北嵯峨、桃山、向陽、東宇治、北桑田、亀岡、園部、須知、綾部、福知山、東舞鶴、西舞鶴、宮津、海洋、峰山、網野、堀川、日ヶ丘、紫野、洛西、西城陽、農芸、鳥羽、菟道、城南愛創、同志社、東山、洛星、洛南、立命館、京都文教、京都女子、京都共栄学園、福知山成美、京都成章

大阪

大阪教育大学附属天王寺、大阪教育大学教育学部附属池田、大阪教育大学附属平野、北野、池田、豊中、茨木、千里、三島、大手前、四条畷、高津、夕陽丘、布施、八尾、今宮、天王寺、住吉、東住吉、生野、登美丘、泉陽、三国丘、鳳、岸和田、東、大阪市立、北千里、狭山、山田、港南造形、追手門学院大手前、千代田、大阪学芸、開明、履正社、興國、明星、桃山学院、浪速、高槻、大阪星光学院、大谷、宣真、四天王寺、大阪薫英女学院、箕面自由学園、近畿大学附属、清風、摂陵、清風南海、金蘭千里、清教学園、関西創価、大阪国際大和田、追手門学院、帝塚山学院泉ヶ丘、東海大学付属仰星、大阪青凌、初芝富田林、大阪桐蔭、YMCA学院

兵庫

御影、神戸、兵庫、夢野台、長田、星陵、北須磨、舞子、伊川谷、神戸商業、西宮(県立)、鳴尾、西宮北、芦屋(県立)、尼崎(県立)、尼崎北、伊丹(県立)、宝塚東、川西緑台、猪名川、柏原、篠山、鳳鳴、明石、明石南、明石北、明石西、加古川東、加古川西、小野、西脇、社、三木、農業、西脇工業、姫路東、姫路西、姫路南、福崎、香寺、龍野、赤穂、上郡、姫路商業、太子、豊岡、八鹿、生野、浜坂、出石、洲本、津名、三原、洲本実業、宝塚西、相生、東播磨、箕合、兵庫商業、西宮(市立)、西宮東、尼崎(市立)、伊丹(市立)、姫路、琴丘、

尼崎稲園、須磨東、加古川北、伊丹西、網干、明石清水、高砂南、三木北、須磨友が丘、西宮甲山、川西北陵、神戸高塚、明石城西、播磨南、宝塚北、姫路飾西、伊川谷北、北摂三田、三田西陵、兵庫東立大学附属、三田祥雲館、武庫荘総合、国際、芦屋国際、神戸鈴蘭台、淡路三原、須磨翔風、灘、六甲、神戸龍谷、親和女子、神戸学院大学附属、神戸星城、滝川、須磨学園、愛徳学園、雲雀丘学園、神戸女学院高等学部、報徳学園、三田学園、柳学園、白陵、兵庫県播磨、賢明女子学院、淳心学院、東洋大学附属姫路、近畿大学附属豊岡、滝川第二、神戸国際、ウィズスナビ

奈良

北大和、奈良女子大学附属、奈良、生駒、郡山、橿原、桜井、高田、青翔、一条、高田商業、平城、香芝、高円、奈良北、奈良育英、帝塚山、天理、東大寺学園、智辯学園、奈良学園、育英西、西大和学園、聖心学園

和歌山

橋本、伊都、向陽、和歌山北、桐蔭、星林、海南、耐久、日高、南部、田辺、串本、新宮、串本古座、開智、和歌山信愛女子短期大学附属、近畿大学附属新宮、智辯学園和歌山、近畿大学附属和歌山、初芝橋本

鳥取

鳥取東、鳥取西、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、米子、境、鳥取中央育英、鳥取城北、倉吉北、米子松蔭

島根

安来、松江北、松江南、大東、三刀屋、飯南、平田、出雲、大社、大田、矢上、浜田、益田、隠岐、松江東、島根中央、開星、出雲北陵、出雲西

岡山

岡山朝日、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山工業、岡山東商業、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、倉敷中央、津山、津山商業、津山東、玉野、玉島(県立)、笠岡、笠岡商業、西大寺、井原、総社、高梁、新見、瀬戸、邑久、勝山、落合、林野、岡山一宮、倉敷古城池、玉野光南、総社南、岡山城東、備前緑陽、倉敷鷲羽、山陽女子、就実、明誠学院、関西、岡山理科大学附属、岡山県美術、岡山県作陽、岡山学芸館、清心女子、金光学園、おかやま山陽、岡山白陵、岡山、朝日塾

広島

広島大学附属、広島大学附属福山、広島観音、広島国泰寺、広島皆実、広島商業(県立)、海田、廿日市、大柿、賀茂、西条農業、賀茂北、五日市、安古市、広、呉宮原、尾道北、尾道北三原、西郷、福山誠之館、府中、油木、大門、福山明王台、庄原格致、三次、舟入、基町、呉、福山、広島井口、安芸府中、神辺、祇園北、安佐北、沼田、安芸南、美鈴が丘、東、因島、広島、修道、崇徳、広陵、山陽、安田女子、比治山女子、広島女学院、ノートルダム清心、広島国際学院、山陽女学院、広島文教女子大学附属、広島学院、広島城北、広島なごさ、武田、益進、福山、山陽の星女子、近畿大学附属福山、銀河学院、英数学館、如水館、近畿大学附属東広島、呉青山校

山口

岩国、柳井、光、下松、徳山、防府、山口、山口中央、宇部、小野田、厚狭、豊浦、下関西、下関南、大津、萩、新南陽、華陵、野田学園、宇部鴻城、宇部フロンティア大学付属香川

徳島

城東、城南、城北、徳島商業、小松島、富岡東、富岡西、新野、鳴門、鳴門第一、板野、名西、川島、阿波、脇町、辻、池田、徳島市立、城ノ内、徳島北、海部、徳島科学技術、徳島文理

香川

小豆島、土庄、三本松、高松東、高松、高松工業、高松商業、坂出、坂出商業、坂出工業、丸亀、丸亀城西、善通寺第一、高瀬、観音寺第一、観音寺中央、高松第一、高松西、高松北、香川中央、高松桜井、三木、英明、高松中央、

香川県大手前高松、坂出第一、香川県大手前、香川県藤井、尽誠学園、香川誠陵

愛媛

愛媛大学附属、川之江、三島、新居浜東、新居浜西、新居浜南、西条、西条農業、小松、丹原、今治西、今治南、今治北、弓削、松山東、松山南、松山北、松山工業、松山商業、東温、上浮穴、小田、大洲、八幡濱、川之石、三崎、三瓶、宇和、野村、宇和島東、宇和島南、吉田、津島、南宇和、新居浜商業、伊予、松山中央、今治東、松山西、宇和島南、今治明德、新田、愛光、聖カトリック女子、清美、清美平成、新田青雲、未采、帝京富士

高知

高知工業高専、室戸、中芸、安芸、安芸桜ヶ丘、山田、嶺北、高知農業、高知東工業、高知東、高知追手前、高知丸の内、高知小津、高知西、高知北、高知工業、春野、高岡、佐川、仁淀、須崎、橋原、中村、幡多農業、宿毛、清水、高知商業、岡豊、高知南、大方、高知若草看護、土佐、土佐女子、高知、高知学芸、明德義塾、土佐塾

福岡

京都、小倉南、小倉西、戸畑、八幡、八幡中央、東筑、筑紫、新宮、福岡魁誠、福岡、福岡中央、城南、筑紫、久留米、山門、三池、大牟田北、八女、田川、嘉穂東、鞍手、福翔、北筑、春日、小倉東、中間、武蔵台、筑前、須恵、柏塚、香住丘、博多青松、門司大翔館、門司学園、敬愛、明治学園、九州国際大学付属、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、西南学院、筑紫台、筑紫女学院、筑陽学園、東福岡、福岡女学院、福岡雙葉、大牟田、久留米信愛女学院、久留米大学附設、柳川、八女学院、九州産業大学附属九州

佐賀

佐賀西、唐津東、伊万里、小城、武雄、鹿島、鳥栖、致遠館、佐賀清和、弘学館、東明館

長崎

長崎東、長崎西、長崎南、佐世保南、佐世保北、佐世保西、佐世保商業、大村、諫早、島原、口加、川棚、道興館、松浦、五島、対馬、佐世保中央、長崎北陽台、西陵、長崎南山、西海学園、長崎日本大学

熊本

済々黌、熊本、第一、第二、熊本西、熊本工業、熊本農業、玉名、鹿本、大津、翔陽、御船、八代、人吉、球磨商業、天草、熊本北、東稜、熊本信愛女子学院、熊本学芸大学付属、熊本マリスト学園、真和

大分

国東、高田、杵築、別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分西、臼杵、佐伯鶴城、竹田、日田、中津南、中津北、安心院、大分南、大分豊府、宇佐、国東、大分東明

宮崎

高千穂、延岡、富島、日向、高鍋、妻、宮崎大宮、宮崎南、宮崎西、宮崎商業、日南、福島、都城泉ヶ丘、都城西、小林、宮崎北、佐土原、延岡星雲、日南振徳、鵬翔、宮崎第一、延岡学園、小林西、日南学園、日向学院

鹿児島

鶴丸、鹿児島中央、錦江湾、鹿児島南、指宿、枕崎、加世田、川辺、伊集院、川内、出水、大口、加治木、国分、志布志、鹿屋、屋久島、大島、古仁屋、鹿児島玉龍、鹿児島女子、鹿屋女子、松陽、武岡台、鶴翔、鹿児島実業、樟南、鹿児島、鹿児島情報、ラ・サール、鳳凰、れいめい、鹿児島第一、鹿児島中央、池田学園池田、屋久島おおぞら

沖縄

知念、那覇、首里、浦添、普天間、コザ、読谷、石川、宜野座、名護、北山、八重山、浦添商業、具志川、開邦、向陽、那覇国際、沖縄尚学、昭和薬科大学附属

理念

▶ わたしたちが目指すもの

[高知大学の理念]

本学は、教育基本法の精神に則り、国民的合意の下に、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進する。

[高知大学の使命]

- 1 豊かな教養と高度な専門性を旨とする教育の実現
- 2 高度で実証的な学術研究の推進
- 3 地域社会との連携の強化
- 4 国際社会への貢献の推進
- 5 活力ある大学の運営

▶ わたしたちの姿

[高知大学の特色]

高知大学は、地方にある国立大学として、地方文化や産業の進展に貢献するとともに、質の高い教育活動を展開し、地域から世界に発信できる高度な学術研究を推進する。統合を機に行う改革は、次の事項について実施する。

- 1 教育における先進大学を目指して、教養教育の充実と専門教育の高度化を達成する。
- 2 規模の拡大による研究基盤の強化と活性化、諸学の融合による新しい研究領域の開拓を図り、地域から世界に発信する高度な学術研究を展開する。
- 3 地域から世界へ発信する個性的な大学であるとともに、地域に開かれた大学としてその役割を果たす。

▶ 何を果たすか

[高知大学の目標]

高知大学は南国土佐の自然と風土に学び、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する「環・人共生」の精神のもとに、未来を展望した知の創造と学術の継承・発展を通して、国際・地域社会へ貢献することを使命とし、以下の目標を掲げます。

<教育>

高知大学は、幅広い教養と高度で実践的な専門能力を身に付け、地域社会や国際社会の健全な発展に貢献できる人材を育成する。とりわけ、地域が直面する諸課題を自ら探求し、学際的な視点で考えるとともに、「環・人共生」の精神に立ってその解決策を提案できる人材の輩出を今期中期目標期間の重点的教育目標とする。このために、学士課程教育では人文科学・社会科学・自然科学・生命科学にわたる普遍的で幅広い教養と各分野の専門基礎力及び社会で活躍するために不可欠な人間性・社会性・国際性を涵養する。また、大学院教育においては、自らの専門分野において、国際的に通用する知識・技術・表現力を持った人材を育成する。

<研究>

高知大学は、高知県を中心とした南四国や近縁の黒潮流域圏の地域特性に根ざした先導的、独創的、国際的な研究を推進し、そこで培われた知見やノウハウや人材を国内外の諸地域にも数販させることにより、地域社会、近隣社会と国際社会に貢献する。具体的には、自然及び環境保全と、住民の安全・健康とクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上を目指した研究を推進し、人と環境との調和のとれた発展に貢献する。研究のキーワードは、「海」、「環境」、「生命」とする。研究体制としては、個人個人の自由な発想に基づく個人研究をベースとしつつ、1) 研究拠点で行う研究拠点プロジェクト、2) 自然科学系・人文社会科学系・医療学系・総合科学系の各学系が行う学系プロジェクト、3) 海洋コア総合研究センターや総合研究センター等で行う組織的研究において、研究者間交流を活性化して研究水準の高度化を図る。

<地域連携・国際化>

高知大学が有する人的資源(教職員・学生)、知識、情報、研究成果などの知的資源を駆使することで、高知県を中心とした地域社会への貢献を深化・発展させ、地域に欠くことのできない大学として存立基盤を強化する。これまでに培ってきた教育研究上の成果をアジア・太平洋地域の諸国、特に、開発途上国へ還元することにより、国際社会への積極的な貢献を図る。また、地域に根ざした特色ある国際交流の推進を通して、高知大学の国際化のみならず、活力ある地域社会の発展にも寄与する。



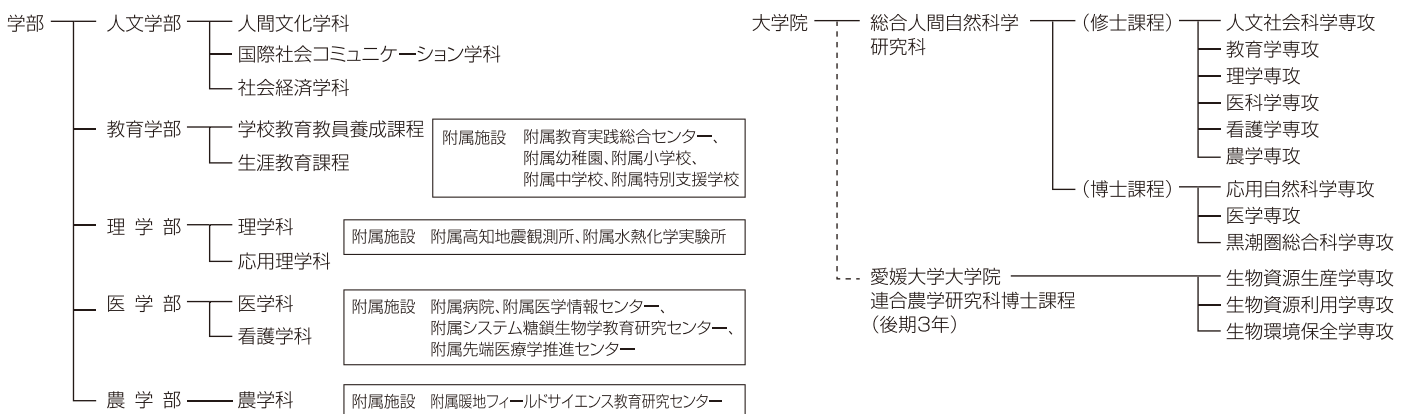
学章

未来に向かって飛躍する希望に満ちた高知大学のインシャル「K」をモチーフに、太平洋の波濤と黒潮を青色、若者の可能性と大空を空色でそれぞれイメージ。躍動感溢れた「高知大学」を表現しています。



本学は、平成19年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価において、大学評価基準を満たしていると認定されました。

▶ 組織図



オープンキャンパス



高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。

- 平成24年**
- **8月4日(土)** 10:00~15:00 朝倉キャンパス：人文学部、理学部
11:00~14:00 朝倉キャンパス：土佐さきがけプログラム
 - **8月5日(日)** 10:00~15:00 朝倉キャンパス：教育学部
10:00~12:30 岡豊キャンパス：医学部看護学科
13:00~16:00 岡豊キャンパス：医学部医学科
10:00~15:00 物部キャンパス：農学部



各学部とも盛りだくさんのメニューでお待ちしています!

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、施設見学
在校生の体験談/質問コーナーなど

[お問い合わせ先] 入試課

☎ **088-844-8766** FAX 088-844-8147

※申込方法及びその他詳細については大学HPをご覧ください。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

学祭情報

- **南風祭** 岡豊キャンパス 10月6日(土)・7日(日)
- **黒潮祭** 朝倉キャンパス 11月3日(土)・4日(日)
- **物部キャンパス一日公開** 物部キャンパス 11月3日(土)



南風祭



黒潮祭



物部キャンパス一日公開

学生募集要項の請求方法

1 本学のホームページから資料請求する場合
<http://www.kochi-u.ac.jp/>へアクセス → 入試情報 → 学生募集要項の公表及び請求方法

2  テレメール(インターネット・電話)にて資料請求する場合
<http://telemail.jp>
パソコン・携帯電話各社とも共通アドレスです。



バーコード

※携帯電話でバーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

インターネットアクセス・お問い合わせ先

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

高知大学ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <http://daigaku.jp/kochi-u/>

イベントトピックス情報、入試情報などを携帯電話から見ることができます。メールマガジンも配信中!

入学者選抜に関するお問い合わせ先 (ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています。 <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

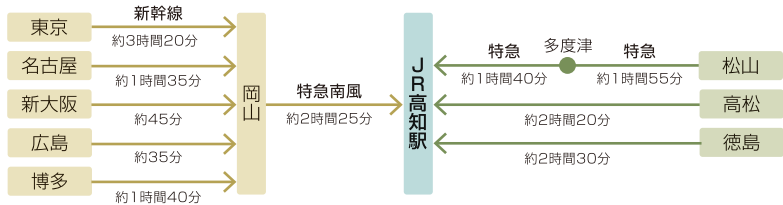
学務部学生支援課 TEL 088-844-8149 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail gs03@kochi-u.ac.jp



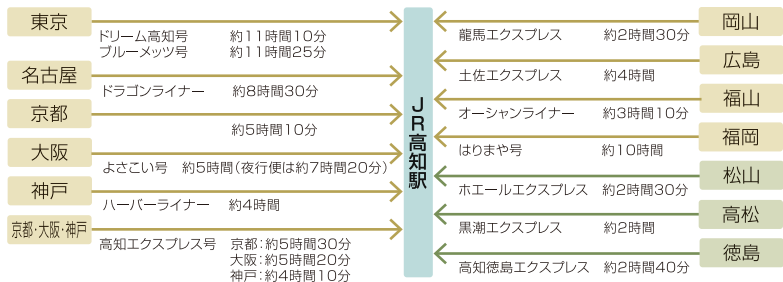


高知県までの交通アクセス

▶ JR ※乗換時間は含みません



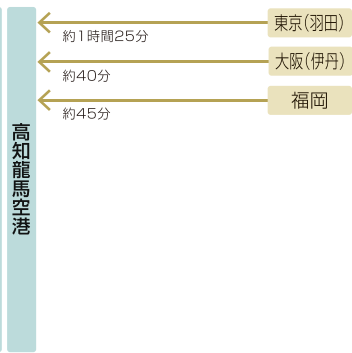
▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



■ 朝倉キャンパス(文学部・教育学部・理学部)/高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分
空港バスで約50分、「朝倉(高知大学前)」下車
- 高知駅から 車で約20分
バスで約25分
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

■ 岡豊キャンパス(医学部)/南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約30分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約15分

■ 物部キャンパス(農学部)/南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
空港バスで約3分「高知大学農学部前」下車
- 高知駅から 車で約30分
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分又は
路線バス(空港～植田線)で約20分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分又は路線バス(空港～植田線)で約20分